地方史情報

132 2017年5月

藩地域の村社会と藩政

渡辺尚志

(前略) こうした先行研究の影響を受けつつ、藩研究から近世社会の全体像に迫ろうというのが藩地域論の方向性であり、より具体的には以下の問題意識と方法をもつ。第一は、藩をもっぱら武士に関わる概念として狭く捉えず、藩領国・領民を含み、さらに藩領の外に拡がる概念として、幅広く捉え直すことである。これにより、藩領を場として、武士一百姓関係、村一町関係、身分関係などのあらゆる問題を解明の対象に据えることができる。

第二に、領主層を一括りにせず、藩主や藩士層内部の諸個人一家老から下士、さらに儒者・医師などまで一の思想と行動、藩制機構内での位置と役割を、ほかの藩士や領民との関わりのなかで考察することにより、藩政史をいっそう豊かにするとともに、藩研究と思想史との架橋を図る。

第三は、ミクロの分析とマクロの分析の統合である。すなわち、一方では、藩領の一つ一つの村、一人ひとりの人間にまで対象を絞り込んで、その個性を掘り起こすという方向でミクロの分析を深めていく。他方では、幕藩関係、藩相互の関係、藩と幕領代官所との関係、三都との関係など、藩領の枠を越えて視野を拡大していく。この両者を有機的に関連させつつ研究を行なうことにより、全体史に至る道を拓くことを目指す。

本書の各章は、いずれもこうした問題意識を共有している。本書は、『藩地域の村社会と藩政』と題している。そして、書名がそのまま、本書の核心的テーマとなっている。村社会と藩政との関連を重点的に追究しているのである。前述したように、藩地域論とは、地域社会論と藩政史・都市史・身分論・思想史などとの架橋・総合化の試みである。したがって、藩地域論自体が、村社会論・地域社会論と藩政史・思想史研究との統一的把握を目指すものなのだが、本書では「村社会と藩政」という課題をより意識的に追究した。(後略)

(渡辺尚志編『藩地域の村社会と藩政―信濃国松代藩地域の研究5|

2017.1、小社刊、「序章 | より)

1

地方史研究雑誌目次速報 飯澤文夫編

*本誌に掲載した雑誌に関するお問い合わせは、発行元に直接お願いします。

北海道・東北

◆アイヌ語地名研究会会報

〒001-0017札幌市北区北十七条西1丁目 1-1 TeL011-299-6834 年5000円

♦60 2016.8 B5 6p

第20回アイヌ語地名研究大会終わ

る 講演と対談/研究発表1 「さけますの生態とアイヌ語地 名」/研究発表2「タツコブ像の 再検討一夕張郡のタツコブをめ ぐって」明石一紀氏/研究発表 3「アイヌ語に彩られた山々」 寺口一孝氏

◇61 2016.10 B5 10p
石狩北西部のアイヌ語 難読地名
を探訪

百聞は一見にしかず佐藤 良子アイヌモシリたること疑いなし戸部 千春利尻島史にみるアイヌ語地名(3)

利尻山と利尻山に繋がる樺太の

山 西谷 榮治

◆標茶町郷土館報告

〒088-2261北海道川上郡標茶町塘路1-12 TRI-015-487-2332 1985年創刊

◇28 2016.8 A4 40p

少子高齢化時代の観光活性化を目 ざして一町内外資源の有効活用 から 構平

北海道東部における近世後期移出

向サケ類(サケ・マス)出荷量と

気候変動

小荷田行男

北海道東部における交易品として のエゾシカとヒトの関係史 小荷田行男

◆屯 田 北海道屯田倶楽部 〒001-0905札幌市北区新琴似五条5-3-11 ™011-761-8014 年2000円 1985年創刊

◇**60** 2016.10 B5 80p 1000円 巻頭言 今も残る屯田兵の畑

www2.ocn.ne.jp/~history/

一郷土史を語る新琴似大根 後藤 良二 屯田開拓の足跡を求めて

篠路・新琴似の兵村探訪記 梶田博昭記 特集 琴似屯田兵から大尉に昇進 三澤毅氏の日記 兵村の日常を

綴った「諸扣帳」全文(上)

屯田兵制度の創設に関わった人物

武石 詔吾

屯田兵ゆかりの方・郷土史家の皆 さまへ

屯田兵のデザイン考 カラカサ馬 回し 北海道開拓の村(札幌市 厚別区)

古地図の散歩道 「屯田歩兵第一 大隊旧第二中隊 給与地及公有 財産地」(作成年不詳・北海道 立図書館所蔵)

屯田の一鍬で始まった変転 宮内 隆一

一節抜粋 北国諒星著『北海道移 民史を知る!』 希望と挫折が 隣り合う開拓者の姿を追う、平 工剛郎著『北の漂泊者 飛騨屋 久兵衛』 クナシリ・メナシの 戦いの真の原因に迫る 北海道移民史を探る旅(6) 続・ 北海道庁時代 第2期拓計「人 口600万人」を打ち出す 北国 諒星 雑煮と板カルタ 一北海道的文化の形成 河野 民雄 コラム やめたい「お雇い外国人」 (河野)

◆文化情報 北海道文化財保護協会 〒060-0002札幌市中央区北二条西7丁目 かでる2・7ビル9階 TEL011-271-4220 hokkaido-bunkazai.jp

◇357 2016.9 A4 8p 博物館網走監獄 中央見張所を中 心に五翼の放射状舎房

松浦武四郎と北海道 高木崇世芝 サハリン州郷土博物館交流散見 舟山 廣治 北海道のワイン造りのルーツ 住吉 徳文 土づくり、草づくり、牛づくり

敬貴の足跡 町村農場100年 石垣 秀人 30周年を迎えた北見ハッカ記念館

阿部 勝義

郷土史伝える鰊番屋

積丹町の取り組み 阿部 剛

札幌国際大学縄文世界遺産研究室

の開設 越田賢一郎

伊坂重孝さんを偲んで 竹田 輝雄

♦358 2016.11 A 4 8p

タキカワカイギュウなど展示充実

滝川市美術自然史館 開館30周

年 小山 淳

道文化財保護功労賞 功績たたえ

一個人、二団体表彰 田中三郎 さん、川村カ子トアイヌ記念

館、月寒地区町内連合会・つき

さっぷ郷土資料館運営部

国立民族博物館名誉教授

加藤九祚先生 舟山 廣治

新琴似歌舞伎再び蘇る/郷土学習

「歌舞伎講座」 宮崎 義晴 旧番屋改修 はまます郷土資料館 ジオラマ「浜益鰊場物語」 登別の縄文文化 陥し穴など遺跡 34カ所 遺物に触れる出前講座

菅野 修広

「江差姥神大神宮」に魅せられて

写真屋のひとり言 為岡 進合田先生と亀太郎翁 松本 昇

さっぽろ市電・地下鉄周辺

名所巡りマップ配布中 山下 知学

◆北方民族博物館だより

北海道立北方民族博物館 〒093-0042北海道網走市潮見309-1 ™0152-45-3888 1991年創刊 hoppohm.org

♦ 102 2016.9 A4 6p

第31回特別展 北からの文化の波

―北海道の旧石器からオホーツ

ク文化まで 種石 悠 講座 人類の進化と北方への進出

本十分の訂拠よさ 誰師・巨辺

考古学の証拠から 講師:長沼

正樹氏 種石 悠

講座 北アメリカの先史文化の誕 生と北海道の旧石器文化

講師:中沢祐一氏 種石 悠

講座 アイヌの人たちの歴史・文

化に関する授業実践 山田 祥子

◆八戸地域史 八戸歴史研究会

〒039-1164青森県八戸市下長2-7-19 三浦 忠司方 TEL0178-38-7376 1982年創刊

◇53 2016.9 A5 68p 900円
羽仁もと子の自由学園とフランク

・ロイド・ライト 田代 優子

安藤昌益門弟の集会は開かれたか

大岡 達夫

開発領主滝沢家の由緒について

一櫛引八幡宮神事御用と知行地

経営 三浦 忠司 八戸藩領漁業村落について 田名部清一 書評 三浦忠司ほか著『現代に生

きる日本の農業思想一安藤昌益

から新渡戸稲造まで』 石橋由紀子

◆弘前大学国史研究 弘前大学国史研究会 〒036-8560青森県弘前市文京町1 弘前大 学人文学部日本史研究室内 1956年創刊 ◇141 2016.10 B5 112p 《60周年記念》 賜姓源氏の初叙位に関する一試論

江渡 俊裕

不染斎俊恕書状(根城八戸家宛)の

年代比定 熊谷 隆次

青森飛行場(通称油川飛行場)の誘

致をめぐる基礎的考察工藤 大輔幕末の条約について塚越 俊志書評と紹介

関根達人著『モノから見たアイ

ヌ文化史』 越田賢一郎

樋口知志編『東北の古代史5 前九年・後三年の合戦と兵の

博物館展示批評 弘前市立博物館

時代』 伊藤 博幸

高橋充編『東北の中世史5

東北近世の胎動』 滝尻 侑貴 畠山篤著『岩木山の神と鬼』 小山 隆秀

リニューアル常設展 瀧本 壽史

◆岩手県南史談会研究紀要

〒021-0023岩手県一関市銅谷町2-3 高橋龍 夫方 TEL0191-21-3706 1953年創刊 ◇45 2016.8 B5 78p 1500円 江戸時代の御用紙漉き金田家につ

いて 赤塚喜

襖の下張から発見された四種の東 山小島村「宗門人別帳 | につい

て(2) 岩渕 国雄

一関藩江戸上屋敷「浅野内匠頭切 腹の場図 | について一内匠頭御

預けをめぐる虚と実 大島 晃一 高橋東皐と東山文化の立役者 菅原 宏通 日形沼田 千葉家庭園の一考察

一「作庭記」の視点より 遠藤 東海 花陰樵語 佐藤 松雄

地域史余話(1)

「豊吉之墓」と長田勝郎 大島 晃一 書評 『父と暮せば』から『母と 暮せば』一米地文夫の近著を読

む 阿部 和夫

会長 遠藤輝夫先生追悼特集

お別れのことば 高橋 龍夫 遠藤会長さんを偲ぶがままに 鈴木 五助 遠藤輝夫会長の逝去を悼む 小野寺 啓 遠藤輝夫氏を偲ぶ 遠藤 東海 遠藤輝夫先生著作一覧

◆いわて文化財 岩手県文化財愛護協会 〒020-0102盛岡市上田字松屋敷34 岩手県立博物館内 『EL019-661-9688 1970年創刊

◇268 2016.9 A4 12p

遺物が語る郷土の歴史 「柳之御

所遺跡 温石」(重要文化財) 鎌田 勉 平泉の世界遺産登録から五周年を

迎えて 達増 拓也

「平泉 世界遺産登録五周年」に

寄せて 2011~2016 菅野 澄円

「平泉 世界遺産登録五周年」に

寄せて 平泉文化と世界遺産 千葉 信胤 色あせない啄木の魅力

 一130年の時を超えて
 森 義真

 赤塚喜恵子
 宮沢賢治生誕120年を迎えて
 牛崎 敏哉

昭和八年 三陸大津波と西塔幸子

赤澤 義昭

「県民のための、県民が望んでい

る博物館を」 髙橋 廣至

わが館の文化財 一関市博物館 『蘭学階梯』 板木 (岩手県指定

文化財) 相馬美貴子

被災地の発掘調査現場から(7)

荷竹日向 I 遺跡 溜 浩二郎

◆市史せんだい 仙台市博物館 〒980-0862仙台市青葉区川内26 ™1022-225-3074 1992年創刊 www.city.sendai.jp/Kyouiku/Museum/

◆**26** 2016.9 A5 108p 500円

表紙写真解説 『道の記』

伊達政宗筆(慶長20年3月6日) 佐藤 健治 第24回仙台市史セミナー「せんだ

い再発見!」

仙台平野の「考古学的中世」 田中 則和 近現代・仙台の歴史像一『仙台

市史』の特色と課題 安達 宏昭 『仙台市史』が語る仙台の歴史

像 平川 新 戦災復興史の再考 佐藤 信夫 沖野城跡出土徳利と奈良屋徳利 佐藤 洋 常陸入道念西の一族と鎌倉殿 三好 俊文 史料紹介

伊達政宗文書・補遺(10)

◆道鏡を守る会 道鏡を守る会 〒989-6156宮城県大崎市古川西館3-4-35 本田義幾方 №0229-22-7364 年3000円 1985年創刊

◆38 2016.9 B5 88p 1000円 新聞紙上から あまりに刺激的な

言葉をめぐって 大塚泰二郎 道鏡禅師供養祭 新顕正板設置/ 新顕正板文案に提言(大塚泰二

郎)/新顕正板文面

道鏡を語る

 生々流転で眺めるだけ
 田中 昭一

 物部氏に関し一考
 山口 久幸

 千姫にふれながら
 川島 恂二

 道鏡二題(巨根説他)
 田中 龍夫

 老人の虚言
 沢村 康男

 「アイの道」(調査報告)
 稲葉 光子

藤原氏の思惑 菅原道真の怨霊

阪井 昇道

道鏡をめぐって三題(道鏡は悪

僧か他) 森本 裕之

称徳女帝と道鏡・吉備・真備の

政治改革 大塚泰二郎 道鏡禅師の汚名を濯ぐために 故 善林仁 道鏡再評価のために 本田 義幾 和気清麻呂と河川工事 和気 正芳

道鏡禅師の仏教とはどのような

田中美好様を偲びながら 高橋 義泰 渡邊さんお元気とばかり思って

いました本田 義幾朋友昇天す船生 史郎久佐野さんまでもが本田 義幾小林吉一氏を悼む日野原 正

千葉・茨城探訪旅行

コース/見学・参拝箇所と説明

(写真:片岡秀雄)

皆様ご満足できましたか 小菅 大康 探訪の意義 高橋 道郎

◆歴 史 東北史学会

〒980-0862仙台市青葉区川内 東北大学大学院文学研究科 日本史研究室 TEL022-217-6064 年4000円 1949年創刊

www.sal.tohoku.ac.jp/nihonshi/t-shigakukai/

◇127 2016.10 A5 193p 2100円 「蝦夷 | 表記の成立 相澤秀太郎 「御見抜」と地域社会一仙台藩に

おける領主的需要と漁業政策 籠橋 俊光 多賀城創建期の瓦窯跡

一日の出山窯跡群を中心に 吉野 柳澤 和明 陸奥国府多賀城の万燈会 書 評

市川理恵著『正倉院文書と下級 官人の実像』 徳竹亜紀子 吉田歓著『日中古代都城と中世 都市平泉 十川 陽一 斉藤利男著『平泉 北方王国の

吉田 歓

『東北の中世史』全五巻を読む 入間田宣夫 関根達人著『中近世の蝦夷地と 北方交易一アイヌ文化と内国

1k-1 鈴木 琢也

◆秋田歴研協会誌

秋田県歴史研究者·研究団体協議会 〒010-0951秋田市川尻大川町2-8 秋田文 化出版内 1至018-864-3322 1996年創刊 akita-nct.ac.jp/~wakino/rekiken.html

♦62 2016.9 B5 18p 特集 春の歴史フォーラム「旅 I 陸の旅 | 江戸時代の庶民の旅

- 伊勢参宮の旅 半田 和彦 用語解説 人口一秋田藩の総人口

半田 和彦

歴史情報 新刊案内 男鹿半島史 Ⅲ『北浦誌』(磯村朝次郎著)

秋田文化出版編集部

♦63 2016.12 B5 32p 特集 春の歴史フォーラム「旅Ⅱ 海の旅

附船宿長浜屋旧蔵「歳々入船帳|

の概要

亀田藩領芦川村仁部家文書に見

る海難記録 半田 和彦 用語解説

人口一秋田藩の武士人口(上) 半田 和彦 歴史情報

幕府領小砂川の概要(1)

明徳館専門郷土史同好会 自著『秋田地方史の諸問題』を 語る 塩谷 順耳

◆鷹巣地方史研究 鷹巣地方史研究会 〒018-3302北秋田市七日市字山ノ上66 佐藤和博方 TeL0186-66-2018 年2000円 1977年創刊

◇72 2016.11 A4 66p 1000円 父との絆が結んだ「軍馬史| 小塚 嘉七 遺稿 川柳"鴨" 佐藤喜美男 明治七年米内沢村市場におきた問

題一明治十二年勧業課諸務係事

務簿を通して 庄司 博信 戦国武士が築いた比内地方の文化

小塚 嘉七

地方史の手帳

円空仏・木造阿弥陀如来座像 澤田 昌治 故長岐準吉記〈長岐貞治日記抄 録〉紹介(1) 明治二年~三年

佐藤 俊晃

総会講演会 鳥潟降三医博一ノー ベル賞(医学生理学)にノミネー ト(1939年)秋田県第一号/鳥潟 右一工博一ノーベル賞(物理学) に余命もう少しあれば日本第一

号? 講師:中嶋忠輝

現地研修 縄文に思いを馳せる

一現地研修会報告 中嶋 俊彦 歴史教室 環状列石を自分の言葉

で語るために 講師:根岸洋

新堀 道生 小猿部の神成千代治さん 澤田 昌治 祖父のおもいで一母の遺品から

山野内キミ子

二年目の歩みを振り返る一伊勢堂 岱遺跡ジュニアボランティアガ イド活動報告 中嶋 俊彦

◆東北学

東北芸術工科大学東北文化研究センター (発売:はる書房)

〒990-9530山形市上桜田3-4-5 1年023-627-2168 年10000円 2013年創刊

blog.tuad.ac.jp/tobunken/

♦ 2016.8 A5 272p 1852円 旅スケッチ(8) 空から見た東北 田口 洋美 巻頭対談 思考の轍を乗り越える

! 一変わるべきは、誰か

内山節/田口洋美

《特集 東北、明日の大地》 八郎潟・干拓地での米作り

一地に立つ農の追求 蛯原 一平 森人のくに

一猟場開拓のダイナミズム 田口 洋美 古文書と絵図にみる秋田藩の山林

芳賀 和樹

白神山地は手つかずのブナの原生

林か? 一森林資源の開発と保存

の観点から 長谷川成一 宮沢賢治作品と農村、その継承一

詩「住居」・真壁仁の受容から 大島 丈志 村上清太郎翁漁業記録(下)

解説・翻刻 川島秀一 阿武隈梁山泊外伝(最終回) たくきよしみつ 川原毛太郎滝と泥湯温泉 羽根田 治 ホンのひとこと―夢と現の狭間に たゆたう一冊 武田雅哉『星へ の筏―黄河幻視考―| (角川春 樹事務所、1997年) 阿部 朋恒 フィールドノート(7) ― サバンナ

に食用昆虫を追って ナミビア の昆虫食調査 藤岡悠一郎

アートフルワンダーランド(8)

一「塩の聖地」で先人を思い、海

のことを伝えていく

復興ダイアリー(8) 一新聞紙面に

みる復興(2015.9.11~2016.3.11)

第3期『東北学』休刊のご挨拶 田口 洋美

◆南陽の歴史 南陽の歴史を知る会会報 〒999-2232山形県南陽市三間通361-8 須崎寛二方 TeL0238-43-5299

♦214 2016.8 B5 10p

唐沢堤と千金良堤 須崎 寛二 北条郷諸村の農業用水 須崎 寛二 米沢藩郷村出役日記を読む(5) 須崎 寛二 第236回学習会から

♦215 2016.10 B5 14p

置賜・多摩 その点と線 板垣 昭次 米沢藩郷村出役日記を読む(6) 須崎 寛二 第237同学習会報告

♦216 2016.11 B5 10p

南陽の歴史を語る会の歩み 須崎 寛二 第238回学習会報告 須崎 寛二

◆米沢史学 米沢史学会

〒992-0025山形県米沢市通町6-15-1 山形県立米沢女子短期大学日本史学科内 Tel0238-22-7330

♦32 2016.10 B5 272p

中世後期の土豪屋敷と「構堀 | 落合 義明 米沢藩の自給自足政策と国益思想

原 淳一郎

宮城県白石市蔵本字鍋石の近世窯 業の研究一白石焼鍋石窯跡の表

採資料から 髙橋 拓

戊辰戦争朝敵藩旧領における旧藩 評価一明治中後期の山形県庄内 地方を例に 長南 伸治

近世事蹟の史蹟化と地域一史跡上 杉治憲敬師郊迎跡をめぐって 宮田 直樹

めぐる軍都と郷土の交流と置賜 武官養成会の成立一仙台陸軍地 方幼年学校設立における「地方」

日清・日露戦争期将校養成問題を

の意味と米沢教育会・米沢有為

会の武官養成観をふまえて 布施 腎治 丹波国山国荘における本印署判に

ついて 蘭部 寿樹 中料紹介

史料翻刻 明治二十年旧正月二

日金花山道中記 日本史学科第六研究室 『看聞日記』現代語訳(七) 蘭部 寿樹

◆えおひっぷす 相馬郷土研究会 〒976-0036相馬市馬場野字山越89 アムウ ェイハウス相馬内 1510244-32-0624 年3000円

www.geocities.jp/somakyodoken/

♦337 2016.9 A4 2p

夏目漱石と相馬の医師佐藤恒祐 菅野 俊之

◆フークトーブ通信 フークトーブ通信社 〒960-8021福島市霞町9-38 メゾン吉川12 山田英明方 2015年創刊

♦9 2016.8 A4 2p

福島県内で発行された郷土かるた

について

遠藤 曹

フークトーブ紀行(9)

小野小町伝説(小野町) 赤井 武史

♦10 2016.11 A4 2p

福島大学における歴史資料保全活

動 阿部 浩一

フークトーブ紀行(10)

福島大学(福島市) 赤井 武史 ◆福島県史料情報 福島県文化振興事業団

〒960-8116福島市春日町5-54

TeLO24-534-9193 2002年創刊

www.history-archives.fks.ed.ip

♦46 2016.10 A4 4p

信夫・伊達両郡絵図を描く

伊達郡・信夫郡両郡絵図 小野孝太郎

若松城修築に用いられた檜枝岐村

の木羽板 渡邉 智裕

武州田中村岩五郎らアウトローの

人相書 小野孝太郎 村人たちの戊辰戦争1 山田 英明 製炭伝習と大竹亀蔵 安田 稔

筆まめだった星一 渡邉 智裕

関東

◆近代史料研究 日本近代史研究会 〒305-8571茨城県つくば市天王台1-1-1 筑波大学歷史人類学系 中野目研究室内

TeLO29-853-4066 2001年創刊

♦16 2016.10 A5 87p

「近代史料学 | 構築のための基礎 的研究 「近代史料学」の構築

へ向けて 能本 中雄

「近代史料学 | 構築のための基礎 的研究 明治二十三年の地方官 官制改正と公文書管理一岩手県

庁における知事官房の創設を例

として 山田 英明

昭和二十年代秋田県における行政

委員会と事務局体制(下) 柴田 知彰

河原田盛美の国家的記録編纂構想

一『建議』所収「図書寮設立全

国書籍保存記録編纂之事ヲ建議 ス | 「記録課規則 | を事例にし

高江洲昌哉

三宅雪嶺の洋行一雪嶺・花圃往復

書簡を中心として 中野目 徹

◆水戸史学 水戸史学会

〒310-0852茨城県水戸市笠原町979-42 但野正広方 TeLO29-243-6910 1974年創刊 **♦85** 2016.11 A5 70p

中国における高度経済成長と中華

帝国の終焉 今岡日出紀

明治維新前後の群像

郷士小宅三左衛門と幕臣たち 仲田 昭一 藤田幽谷における一字一句の取り

扱いの意味 梶山 孝夫

「水戸城下屋敷割圖 | に水戸藩士

を追う 齋藤 郁子 改革以前の水戸藩 名越 時正

一庵先生詩伝(3)

名越 漠然

◆歴史文化研究(茨城)

歴史文化研究会(茨城)

〒270-0035千葉県松戸市新松戸南2-25-B 205 三石善吉方 1至047-345-5323 年5000円 2014年創刊

♦3 2016.7 A5 184p

巻頭言 ワイマル共和国の教訓

一三つの「もし」 三石 善吉

日本統治期台湾の同化教育と台湾

意識の形成と挫折 佐藤 守弘

大川周明の世界観と西欧近代の

「異端 | 思想(前篇) - C・G・ユ

ングの問題提起を通して 菅谷 務 都はるみと阿久悠の演歌 平山 朝治

プラハの春―武器なき国防の華麗 なる敗北 三石 善吉

「変革の十年」を迎えたアフガニ

スタンの現状と課題 高島 宏明

自己雇用生産者家計による景気変 動安定化作用について

丸山義皓/吉田精一

「一」「二」「三」の起源一漢字シ ステムにおける「数」とは何か 会員の新刊書の紹介

平山朝治著『憲法70年の真実』三石 善吉 鎌倉孝夫著『帝国主義支配を平

和だという倒錯一新自由主義

の破綻と国家の危機--』 桐原 邦夫

◆ぐんま地域文化 群馬地域文化振興会 〒371-0801群馬県前橋市文京町3-27-26 群馬県立文書館内 1至027-221-2346 1993年創刊

◇47 2016.10 A4変 36p

《上野村·神流町地域特集》

歴史を掘る 奈良三彩短頸壺 谷藤 保彦 神流川源流の村にて 内山 笳

発掘情報 上野国分寺の伽藍配置

橋本

加納 喜光

図録 ぐんまの文化財

「化石」の宝庫・神流町 久保田克博 ぐんまの歴史入門講座

第175講 奥多野の遺跡・奴郷2

遺跡の調査から 半澤 利江

第176講 山中領の中世 青木 裕美

第177講 「山中領」の村々と白

井関所の役割 岡田 昭二

第178講 上野村・旧中里村の石 造文化財 石造文化財の見方

秋池 武

古文書解読入門講座(34)一古文書 から歴史を読む 山中領におけ

る上州・武州の国境論争と国絵

鈴木 一哉

地域づくりと文化遺産

上野村

上野村の伝統文化と文化財 土屋 雅彦 神流町 歴史と伝統文化を生か

す神流の里 西澤 晃

ぐんまのくらしと民俗

奥多野の初絵売り習俗 鈴木 英恵 ぐんまの地方豪族 中世の山中・

秩父間交流と黒澤氏 築瀬 大輔 ぐんまの川と生活 神流川 澤口 宏 ぐんまの人物誌

至誠の人「黒澤丈夫」 今井 博之 ぐんまの郷土芸能

乃久里神社の太々神楽 武藤 直美 ぐんまの地名 上野村の地名 新井 栄 ぐんまの地名 神流町の地名 齋藤 憲衛 地域研究活動紹介 上野村での地

域史料の調査活動 佐藤 孝之 研究・学習サークル活動紹介

初九・子自り一クル伯動和刀 - 神法歴事を入

神流町青年会 黒澤 晃司 出版情報 地域の刊行物紹介

 上野村
 今井 博之

 神流町
 吉田 達

ぐんまの自然と風土

奥多野の哺乳類 姉崎 智子

- ◆群馬地名だより 群馬地名研究会 〒371-0835群馬県前橋市前箱田町2-9-8 小池照一方 1元027-251-7660 1989年創刊 ◇90 2016.9 B5 6p 川・沢・沢川 河川名の語尾 澤口 宏 平成28年度現地見学会参加記録 須田 茂 群馬県発足の伺 井野 修二
- ◆群馬文化 群馬県地域文化研究協議会 〒376-0011群馬県桐生市相生町2-995-2 宮崎俊弥方 年4000円 1957年創刊 blogs.yahoo.co.jp/gunmabunka/ ◆327 2016.10 A5 118p 《考古学特集》 考古学特集号の刊行にあたって 能登 気 六世紀榛名山の火山災害と復興過 程一古墳時代の土地利用と集落 動向から 日沖 剛5

中之沢室沢遺跡群出土の原始灰釉 陶器について

神谷佳明/桜岡正信/梅澤克典 和田城並びに興禅寺境内古絵図を

読み解く 清水 豊 天明三年浅間泥流下出土の守随秤

大塚 昌彦 「川曲大溝」と前橋台地の条里 永井 智教 発掘された溜井とその歴史性 小島 敦子 有馬条里水田の成立前提 能登 健 杉久保石器併行期の群馬県の旧石

器時代 山﨑 芳春

遺跡から出土するいわゆる「編物

石」について 原雅信/福田貫之 群馬県の環状石斧類再考-縄文時

代の出土事例を中心として 倉石 広大 両墓制の考古学検討一群馬県八ッ

場地域を例にして 藤巻幸男/能登健 遺跡探訪

矢瀬遺跡で社会の原点を見つめ

る 三宅 敦気 大室古墳群と大室はにわ館 前原 豊 口絵 本郷大塚古墳出土の内行花 文鏡一群馬県立歴史博物館蔵品 資料(128) 深澤 敦仁

◆群馬歴史散歩 群馬歴史散歩の会 〒379-2154群馬県前橋市天川大島町317-1 ℡027-223-2785 年4500円 1973年創刊 www16.plala.or.ip/kuzira226/

◇246 2016.9 A5 56p 埼玉県令白根多助のこと(下) 井野 修二 山崎一『群馬県城館址調査の手引

き』(16) 茂木渉・翻刻/飯森康広・割付 豪雪地魚沼 先人利雪の智「雪穴」 異変「災は忘れないうちにやっ

てくる」、魚沼の積雪 渡邉 隆 日沖 剛史 新たなる伝統、薬医門建つ 黒﨑 晴夫 図書紹介 玉村中世史研究会『群 馬県玉村中世史研究』第1号 飯森 康広 支部だより

藤岡支部(第82回歴史散歩)

上杉氏と親鸞ゆかりの地・上

越市 與水 泉 吉岡支部

秩父・甲府の歴史散歩 柴崎 博 渋川子持支部

上野三碑と自然史博物館 新井 敏夫 歴史散歩の報告(事務局企画)

龍潭寺と浜松城一「おんな城主

直虎」に因んで 山崎 豆 佐竹氏の城下と光圀 山崎 豆

◆武**尊通信** 群馬歷史民俗研究会 〒372-0031群馬県伊勢崎市今泉町1-1046-4 板橋春夫方 1979年創刊 ◇147 2016.9 B5 4p

八木家文書

豊臣秀吉朱印状について 青木 裕美 第35回 講演会の記録 池田哲夫 氏「朱鷺発見の旅――九二六年 前後を中心として一」 (や)

◆埼玉史談 埼玉県郷土文化会 〒350-0231埼玉県坂戸市泉町12-5 大圖口承方 TmL049-281-4983 年4000円 1929年創刊 ◇324 (63-2) 2016.9 A5 46p 幕末における商品流通の実態につ いて一岩槻馬による商品流通の 一考察 池田

 一考察
 池田 政弘

 秩父の長尾景春伝説
 栗原 一夫

 「長享番付」の検証(5)

一「三十三番水込」の故地 千嶋 ま 大名米津氏と旗本内藤氏に関する

 表紙写真解説 ときがわ町日影東 光寺 元和九年(1623)一石五輪 塔 (四方田) 口絵写真解説 天台修験山本坊開 基榮圓逆修供養塔 大圖 口承

◆我孫子市史研究センター会報

〒270-1132千葉県我孫子市湖北台5-15-17 岡本方 Tht.04-7149-6404

www.geocities.jp/abikosisiken/

◇174 (通481) 2016.8 A4 10p

Welcome to あびこ市民活動メッ

セー写真と地図で探す我孫子の

古い地名(大字・小字) 長谷川秀也 我孫子市郷土資料館の設立を…

一湖北郷土資料室訪問記 東 日出夫 「布佐村一件訴訟」の争点と結果 清水千賀子 井上家文書研究会

相島新田支配代官あれこれ 金成 典知 **◇175** (通482) 2016.9 A4 4p 相馬霊場札所参り 9(野々井、稲)

遍路記 吉池 紀夫 我孫子市に「郷土資料館」が欲し

い!! 我孫子市史研究センター ◇176 (通483) 2016.10 A4 8p

「市民のチカラ」あびこ市民活動

メッセへの参加逆井 萬吉将門神社の拝殿建立山本 包介我孫子の社寺を訪ねる(20)

中峠下根古屋の足尾山神社 近江 礼子 **◇177** (通484) 2016.11 A4 12p

〈古文書・新初心者講座〉開催 東 日出夫 感想文「古文書講座に参加して」

山口保子/脇明子/近松義昭

特集 史跡バス見学会「つくば市 の古代から現代までを訪ねる」

に参加して

史跡見学会に参加して 佐々木 豊

史跡見学会に参加して 大藤 充子 | 初めての博物館で楽しく! 小林 光代 史跡バス見学会に参加して〈雑 感〉 佐藤 隆

史跡見学会 小田城趾について

金山 順雄

11月歴史探訪部会 都電に乗って 旧中山道「板橋宿」へ 加藤 直道

鎌ヶ谷市立郷土資料館訪問記 東 日出夫

◆佐倉の地名 佐倉地名研究会会報 〒285-0864千葉県佐倉市稲荷台1-3-6 野村忠男方 1至043-487-1033 年2000円 2012年創刊

♦14 2016.10 A4 10p

志津の地名について(3) 田中 征志 コラム 萬年一さんのこと 宮武 孝吉 遥かなる「香取の海| 野村 忠男 新町名誕生 「寺崎北 | その(2) 伊藤 清 本土寺へ行く(佐倉とのかかわり)

松平喜美代

◆紙魚之友 房総史料調査会

〒113-0033東京都文京区本郷7-3-1 東京大 学文学部日本史学研究室 1985年創刊

♦37 2016.9 B5 6p

旭市泉川(旧泉川村)明内家文書 立石 了 史料調査参加記―旭市イ(網戸)玉

置家文書、泉川 明内家文書・

新光寺文書 調査 菅谷 祐輔

◆千葉史学 千葉歴史学会

〒263-0022千葉市稲毛区弥生町1-33 千葉大学文学部内 TELO43-251-1111 年4000円 1982年創刊

chibareki.blog.fc2.com

♦69 2016.11 A5 118p

2016年 展示を考える

一「折り鶴」と「赤とんぼ」 上村 清雄 中世史部会

「常陸名所図屏風」をめぐる「忘

却 | と 「発見 | 猪岡 萌菜

偶然のマルチサイテッド・エスノ

グラフィー―佐原・近江八幡・

塚原 伸治

市原市稲荷台遺跡の円丘祭祀一桓

武・文徳朝の郊祀との関係につ

いて 西野 周平

府藩県三治制期における藩の民政

と直轄県政一上総国松尾藩を中

小いに 堀野 周辺

大会講演 アンバ大杉の信仰 大島 建彦

書 評

渡辺尚志編『相給村落からみた

近世社会一上総国山辺郡台方

村の総合研究』 芦田 伸一

宮間純一著『戊辰内乱期の社会 佐幕と勤王のあいだ茂原藩相

給村落からみた近世社会―上

総国山辺郡台方村の総合研究』

大関真由美

新刊紹介

筑紫敏夫監修・土屋浩著『房総

と江戸の交流史』 松本キヱ子

松沢裕作著『自由民権運動~

〈デモクラシー〉の夢と挫折』上田 浄

牧民雄著『日本で初めて労働組

合をつくった男 評伝・城常

太郎』 池田 順

神奈川地域資料保全ネットワー

ク編『地域と人びとをささえ

る資料 古文書からプランク

第2回 全国史料ネット研究交流集

会 参加記 遠藤 菜摘

例会報告

谷口雄太/佐藤博信

近現代史部会 矢嶋毅之/和田健 |

◆房総石造文化財研究会会報

〒275-0001千葉県習志野市東習志野5-30-4-404 木原律子方 TELO47-473-3540 年3000円 1980年創刊

♦131 2016.10 B5 6p

7月~9月の事業報告 7月 勉強

会 テーマ「弁財天 | /8月 第 1回石仏ゼミナール テーマ「石

塔・石仏から何が見えるか―時

空を越えて語るもの─」/9月 勉強会 テーマ 「南房総市の石

造仏頭

シリーズ・木更津の石造物(12)

地蔵菩薩 稲木 章宏

◆松戸史談 松戸史談会

〒270-0021松戸市小金原7-10-20

松田孝史方 1至047-342-1764 年5000円

1961年創刊 www matsudoshidankai net

♦ 56 2016.11 B5 90p

松戸史談会のこれから 松田 孝史 金町松戸関所と将軍渡河の船橋 松田 孝史 秀海講の時代

明治四十三年ものがたり 古木 均 松戸と「更級日記| 花輪 茂道

高城氏に関わる大勝院と剣豪千葉

周作に関わる宝光院 塩尻 英児 地域の歴史に学ぶ

五香・常盤平・八柱を中心に 瀧川 敦子 天明から幕末まで松戸北方は「俳

句の国 | (復刻版) 編集委員

わたしの昭和二十年ころ

軍医の出兵とその後 國定美津子 私の昭和二十年ころ 木村 旭志 花輪 茂道

わたしの昭和二十年ころ わたしの昭和二十年ころ

中山 栄造 山里だより(25)

私の東京大空襲 ソウルで敗戦を抑えて 須田 誠 佐藤 智子

私の「昭和」の思い出 卓袱台(回想そして回帰)

田嶋 昌治 小野塚利雄

勝部 建一

異常多雨「避難準備情報」 4月総会講演 松戸宿について

―その歩みなど

松田 孝史

松戸市民参加の勉強会・要旨(パ

ートナー講座) 「千駄堀―大六

天遺跡発掘調査について| 講

師:教育委員会学芸員 関山純

会員勉強会 加曾利貝塚・見学記

松田 孝史

第67回文化祭風景 勝部 建一

第67回松戸市文化祭文化講演要旨

藻塩焼きの考古学 下津谷達男

短 信

栢日庵斗囿と流山寺の句碑 塩尻 英児 神尾 武男

町名地名の由来① 八ヶ崎 傳兵衛新田開発余話 編集委員

稲荷神社の「正一位」 塩尻 英児

町名地名の由来② 三日月 神尾 武男

◆あしなか 山村民俗の会

〒330-0854さいたま市大宮区桜木町4-201-2 塩野谷明夫方 TELO48-465-7818 年5000円 1939年創刊 www8.ocn.ne.jp/~sanmin/

♦307 2016.10 B5 22p

表紙解説 安藤広重画『江戸名所

百景』・「目黒元不二| 編集室 閉伊川上流 川内アクド顛末記

一北上山地を旅する 塩野谷明夫

近藤富士と華表一列仙伝繍像の丁

今威の図を捜す(1) 関 啓司

伊豆ヶ岳山名縁由私考一奥武蔵・

伊豆山・富士山頂内院 岡倉 捷郎

12

梅干しの歌一丹波美山町から 西浦 左門 丹那盆地と火山神

一函南町東部山地(1) 山立 虎魚 文献紹介

東京の川を歩く 飯野頼治著 (小海)

◆明日を拓く 東日本部落解放研究所 〒111-0024東京都台東区今戸2-8-5 Tri.03-5603-1861 1993年創刊 www.hblri.org

◇112 (42-2) 2016.1 A5 110p 1000円 特集1 精神障害のある人への差別

特集にあたって

編集部

精神障害のある人への差別につ

いて一精神科病棟転換型居住

系施設を阻止するために 増田 一世 精神科病棟転換型居住系施設問

題のその後

増田 一冊

特集2 復刻版全国部落調査事件を

めぐって

特集にあたって

ネット上の「言論」と司法的手

続き一復刻版全国部落調査事

件を素材に

河村 健夫

◇113 (42-3) 2016.2 A5 94p 1000円 特集 東日本の同和教育

第7回 東日本同和教育実践交流 会の報告

東日本部落解放研究所教育部会 繋げていきたい確かなもの・大 切な思い―祖母から母へ 母

孫たちへ 吉田あけみ

座談会 東日本の同和教育の現 在とこれから

から私へ私から子どもたち、

今井勝/岩崎貴子/岩崎正芳/ 小黒秀昭/桐畑善次/島田一生 /吉田浩司/松浦利貞(司会) 大師

新たな開示された逮捕当日の上申 書から見た、当時の石川さんの 言語能力と作文能力について 戸谷 克己

◆足立区立郷土博物館だより

〒120-0001東京都足立区大谷田5-20-1 Tel03-3620-9393 1996年創刊 www.city.adachi.tokyo.jp/hakubutsukan/ chiikibunka/hakubutsukan/

◇71 2016.11 A4 4p

開館30周年記念 文化遺産調査企 画展「アラサーみゅーじあむ モノがたり

文化遺産調査特別展「干ヶ崎悌六

一与謝野晶子を支えた歌人画家

一|/干ヶ崎悌六が描いた「与

謝野晶子臨終の像

郷土博物館Q&A

くん蒸(館内消毒)

◆足立史談

足立区教育委員会足立史談編集局 〒120-0001東京都足立区大谷田5-20-1 足立区郷土博物館内 TELO3-3620-9393

♦ 582 2016.8 A4 4p

舩津久五郎(文渕)の母、糸子の周

辺の事情 伊澤 隆男 四箇領二十一ヶ所と瓦大師(中) 小川 政秋 千住の酒合戦と闘飲図巻(3) 佐藤 秀樹

♦ 583 2016.9 A4 4p

北辰一刀流の源流、北辰夢想流に

ついて あさくらゆう

千柳館発行『PGSR = ALBUM』

一明治四十五年 北千住発地方

視察の思い出 佐藤 青浩

四筒領二十一ヶ所と瓦大師(下)

一四箇領二十一ヶ所霊場外の瓦

小川 政秋

♦ 584 2016.10 A4 4p

弘法大師御詠歌、二十一首 小川 政秋 明治四十五年北千住発 地方視察

「実業視察団 | 参加募集案内に

ついて 相川謹之助

♦ 585 2016.11 A4 4p

金子寿一氏撮影写真について

一昭和の花畑・足立の写真 佐藤 貴浩

「アラサーみゅーじあむ」出展資

料紹介 河鍋暁斎《能楽図屏風》

について 小林 優

足立の開発四百周年!

渕江領開発定書

♦586 2016.12 A4 4p

浮世絵師・歌川国貞(三代豊国)の

美人画 畑江 麻里

「アラサーみゅーじあむ」出展資 料紹介 青木萬吉作《旅枕》に

ついて 小林 優

千住掃部宿の「旧書留 | から(1)

掃部新田の草切り由緒 多田 文夫

◆足立史談会だより

〒120-0001東京都足立区大谷田5-20-1 足立区郷土博物館内 TeL03-3620-9393

♦341 2016.8 A4 8p

終戦直後の日本の教育改革の原点

米国教育使節団の報告書(4) 堀川 和夫

保存樹散歩 保存樹が見てきた町

の歴史 モッコク 栗原氷川神

衦 (矢)

千住の人「関澄桂子|

学童疎開体験記・上(千住第五国

民学校)「(ある日 ある時)」 (1)~(2)、「再疎開」、「(ある日

ある時)」(3)~(10)、「あとが

き こんな体験は私達だけで結

構です。」(平成28年3月18日) 宇田川欣作

学童疎開つれづれ 写真集「足立区の昭和」いき出版

◇341別冊 2016.8 A4 8p

体験者からのメッセージ》

《足立区の学童疎開展

繰り返させてはないけない 木嶋 孝行 疎開年表

足立区26校の学童集団疎開先

参考 各区児童疎開割り当て地域 一覧

「足立の学童疎開資料展 | 足立区 立郷土資料館協働グループ 足

立の学童疎開を語る会

信偲会誌から 学童集団疎開のも よう(西新井国民学校の場合)

磯野重郎記

♦342 2016.9 A4 8p

お知恵拝借・史談会創立五〇周年

事 務 局

堀川 和夫

横山佐吉氏を悼む 堀川 和夫

終戦直後の日本の教育改革の原点

米国教育使節団の報告書(5) 堀川 和夫

保存樹散歩 保存樹が見てきた町

の歴史 カヤ 六木三丁目 個

人字 (矢)

第10回区民研究発表会/研究発表

会を聞いての感想 区民研究発表会資料から 富士吉

田市の灯篭に刻まれた千住 「富嶽三十六景 | 三枚の千住浮

世絵から 櫟原 文夫

♦343 2016.10 A4 8p

終戦直後の日本の教育改革の原点

米国教育使節団の報告書(6) 堀川 和夫

保存樹散歩 ちょっとお休み 江 戸東京野菜・千住ネギ復活へ

「農業委員会だより」平成28年3

月 ~千住ネギとは?~

10月の史談会 護国寺から歩く
区民研究発表会資料から 全国学校給食甲子園大会に参加して 井上 祐子
◇344 2016.11 A4 8p
終戦直後の日本の教育改革の原点
米国教育使節団の報告書(7) 堀川 和夫
保存樹散歩 マキ

伊興二丁目若宮八幡境内 学童疎開体験記 学童疎開の片隅 で 宇田川欣作さん/集団疎開 体験記 信濃屋学寮の生活 故 野村秀夫さん

汐留・台場訪問案内:赤田直繁氏区民研究発表会資料から俳句で耕す子どもの心土田 明人

♦ \$45 2016.12 A4 8p

終戦直後の日本の教育改革の原点 米国教育使節団の報告書(8)

続編 堀川和夫

保存樹散歩 保存樹が見てきた町 の歴史 ユズリハ 堀之内一丁 目の民家

新宿御苑 菊花展/小林一茶と炎 天寺一茶まつり 区民教養講座 炎天寺一茶まつりの嚆矢を伝える 新聞 「読売新聞」昭和37年8月 22日 江東版 「炎天寺に一茶 の句碑 学生の考証でゆかりの 地とわかる」

区民研究発表会配布資料 「慰霊 碑と戦争遺跡」補足資料から 竹内 秀夫

◆あるむぜお 府中市郷土の森博物館 〒183-0026東京都府中市南町6-32 ™042-368-7921 1987年創刊 www.fuchu-cpf.or.jp/museum/ ◇117 2016.9 A4 8p 祝! 府中駅誕生100年(2)

甲武鉄道忌避伝説? 花木 知子 最近の発掘調査 鉄鉢形の緑釉陶 器が出土 片町二丁目 野田憲一郎 NOTE 飯盛旅籠をめぐる訴訟 花木 知子 たまがわ野鳥セレクション(2) 黒衣の軍団 カワウ 中村 武史 展示会案内 企画展 ちょっとむ

かしのくらし 佐藤 智敬 『県居井蛙録』にみる江戸時代の 庶民の生活(6) 稲作と用水路 佐藤 智敬

◆板橋史談 板橋史談会

〒174-0075東京都板橋区桜川2-27-3 大澤鷹邇方 1元03-5398-2682 1966年創刊 www.sites.google.com/stite/itabashishidankai/ ◇289 2016.8 B5 52p 表紙写真解説 「成増阿波おどり」

井上 富夫

板橋区の水車(3)

石神井川の水車(後) 小坂 克信 「我が家の行事と食」覚え書き(2)

一昭和三〇年代向原の農家を振

り返って三原寿太郎

板橋区史編さんと公文書館運営に 関わって(3)一板橋史談会と私

の縁 松浦 勉

板橋私の思い出写真(1)「石神井 川で魚とり」(昭和29年頃、栗

原橋付近) 石田 太郎

◇290 2016.11 B5 40p

表紙写真解説 西台大鷲神社「し

まいの酉の市」 写真と文 井上富夫 板橋区の水車(4)

その他の河川の水車 小坂 克信 「我が家の行事と食」覚え書き(3)

一昭和三〇年代向原の農家を振

り返って三原寿太郎

板橋区史編さんと公文書館運営に 関わって(4) ―板橋史談会と私

の縁 松浦 勉

板橋区立中学校産業教育共同実習

所の思い出 北島 義治

◆奥武蔵 奥武蔵研究会

〒175-0092東京都板橋区赤塚7-18-7

♦411 2016.9 B5 22p

山岳映画に想うこと小泉重光伊豆ヶ岳の秘話関口洋介

相模野基線の長さはどう測ったか

? 町田 尚夫 日本水準原点と周囲の基準点 町田 尚夫 花を愛でる、山旅(今年の夏山紀

行) 若月 龍之

◇412 2016.11 B5 18p
山と高原地図「奥武蔵・秩父 | 大

改訂に寄せて 小泉 重光 慈光寺の奥ノ院(上) 酒井 昌樹

奥武蔵・秩父の獅子舞(65)

一両神山麓、竹平の舞 関口 洋介

◆儀礼文化ニュース 儀礼文化学会 〒160-0012東京都新宿区南元町13-7 ™03-3355-4188

◇203 2016.9 A4 8p 催事スケッチ 鞍馬の火祭り 山 村の闇を赤く染める鞍馬伝統の 火祭り 京都市左京区鞍馬

写真·文 渡辺良正

儀礼文化セミナーの開催報告 儀 礼文化セミナー(平成28年度第1 回) 仏教 川崎大師春大祭参拝 (相澤和子)、儀礼文化セミナー (平成28年度第2回) 神道 須賀 神社 祇園祭見学(飯塚好) 特集 雅な遊技文化一投扇興、貝 合せ、貝覆い

会員を訪ねる

厳島神社/諏訪大社

儀礼文化講座(平成28年度第1回)

煎茶 「煎茶文化の特質と展開」

講師: 守屋雅史

儀礼文化講座(平成28年度第2回)

仏教 「密教の祈祷の意味」

講師:木内堯大

生活芸術講座(第1回) 礼法 「お

る・むすぶ一祝いの儀礼一」

講師:小笠原清忠

◆北区史を考える会会報

〒115-0052東京都北区赤羽北1-3-10 大澤栄美方 ™103-3907-0040 1986年創刊 ◇121 2016.8 B5 12p 第402回 月例研究会

豊島経家と鎮守府将軍源頼義 伊藤 一美

ルーツへの旅立ち(2) —小杉家の ルーツ(家系)をどのように調べ

たのか、調べているのかについ

て 小杉善一郎

小杉普一日

第401回 月例研究会

火打道具と切り火の習俗 領塚 正浩

♦122 2016.11 B5 14p

第406回 月例研究会

日本化薬(東京事業所)

一創業百年を学ぶ 山田美登里

第403回 月例研究会

荒川下流域にあらわれた低地集

落一豊島馬場遺跡とその周辺 牛山 英昭

第404回 月例研究会

北区飛鳥山博物館 古文書にみ

る江戸時代の豊島村 保垣 孝幸

第405回 月例見学会

新東京丸で東京港を巡る 林 健一

ルーツへの旅立ち(3)一小杉家の

ルーツ(家系)をどのように調べ たのか、調べているのかについ 7 小杉善一郎

◆個人誌 散歩の手帖 木村成生 〒197-0023東京都福生市志茂113-2 rakkodou cside com **♦30** 2016.8 A5 106p ケガレの起源と銅鐸 木村 成牛

◆寺院史研究 寺院史研究会 〒132-0031東京都江戸川区松島4-35-3-105 岡野浩二方 1980年創刊 **◇15** 2016.11 B5 100p 1800円 神宮法楽の展開と神宮周辺寺院 山本 倫弘 天野山金剛寺一切経の来歴につい

7 大塚 紀弘 いわゆる「鬼女紅葉伝説」の成立 事情をめぐる覚書 牛山 佳幸 東大寺龍蔵院橋本家文庫目録 有働 智奘 『寺院中研究』バックナンバー

◆石神井公園ふるさと文化館ニュース 練馬区立石神井公園ふるさと文化館 〒177-0041練馬区石神井町5-12-16 Tel.03-3996-4060 www.neribun.or.jp/furusato.html

◇22 2016.9 A4 4p 特別展「夢の黄金郷『遊園地』~ 思い出のメリーゴーランド~| 分室コレクション展「『柳生もの』 の系譜―時代小説へのいざない!

◆城郭だより 日本城郭史学会会報 〒174-8691東京都板橋区 板橋北郵便局私 書箱50号 151.03-3967-1948 1993年創刊 **♦95** 2016.10 A4 6p 松坂城大手表門の復元計画

地震と城郭―記録に残る城の被害

と耐震工夫 西ヶ谷恭弘 最近の各地の城郭ニュースから 都立中央図書館企画展 いざ江戸 城へ一白書院・黒書院にみる儀 式と年中行事

最近の注目される城郭関係図書か ら/各地の城郭研究会活動から /日本城郭史学会活動から

◆杉並郷土史会史報

〒167-0022東京都杉並区下井草3-12-9 新村康敏方 1973年創刊 www.sugi-chiiki.com/rekishikai/ ◇259 2016.9 A4 10p 400円 高井戸の地名の起源を探る/高井 上妻 絢子 山本覚院 高井家系図 参考までに 編集部 第537回例会記 "杉並の華族たち 嵯峨侯爵家の場合"講師:浅 見雅男先生 大場 良枝 平成27年度文化財 指定有形文化 財(考古資料) 向方南遺跡出土

縄文時代遺物(追加)、指定有形 文化財(書跡) 勝海舟筆荻窪八 幡神社大幟一対、登録有形民俗 文化財(信仰) 民間信仰石造物 三基

私の本棚から(51)

「近衛文麿 | 古川隆久著

◇260 2016.11 A4 10p 400円 甲武鉄道新八線~中央線(1) 木村 輝郎 第542回例会記 道灌と豊島氏の 戦い 講師:長島貴先生 小島 智 大正~昭和*荻窪辺りの原風景= ネット画像のご紹介= 石山太 柏作(日本画) 「夕暗の天沼弁 天」「近郊二景(井草野・荻窪)」

井口 俊明

荒井 泰樹

◆すみだ川 隅田川市民交流実行委員会 〒111-0042東京都台東区寿2-9-9 北村国男 方 TELO3-3844-2008 1987年創刊 年3000円 ce.it-chiba.ac.ip/shinoda/ **♦60** 2016.10 A4 18p 平成28年度 隅田川市民交流実行 委員会 総会報告 篠田 裕 隅田川総会・記念講演 荒川の紹介 大川 修 隅田川大学実践俳句講座 「俳句 を語ろう | 講師: 岡部恒雄 島さんの『隅田川展』、"終り"の "始まり"-17年目「東京浅草ス ケッチ展 最終展に臨んで 猪狩 達夫 「伝法院通り | を描いて 小野 勝海 2016東京浅草スケッチ展〈目録〉

交流コーナー 隅田川・四万十川 交流事業 奥四万十への旅

「奥四万十への旅 | に参加して 小堀 郁恵 奥四万十の滴り受けてこの絆 岡部 恒田 隅田川大学公開講座 フィールド ワーク(FW)『塩の道・行徳川 〈小名木川+新川〉』 小堀 郁恵

河川愛護月間関連行事『東京の川 を考えるシンポジウム2016』 馬場 永子

新刊のご紹介

絵本『あらかわ・すみだがわ』村松 望月副理事長を偲ぶ

望月崇副理事長ご逝去 篠田

◆西郊民俗 西郊民俗談話会 〒160-0016東京都新宿区信濃町17-1 大島方 年2000円 1957年創刊 seikouminzoku.sakura.ne.jp **♦236** 2016.9 B5 29p 神仏を叩く一民俗信仰の原形 小池 淳一

中国吉林省吉林市の道教廟信仰 川添 裕希 血盆経中料五点、及び血盆経石塔 について 近江 礼子 東覚寺の福禄寿 大島 建彦

川崎市宮前区神木の等覚院の不動

天狗経(1)―その現状と所在

尊の巡行習俗 清水 亨桐

高橋 成

◆全国歴史資料保存利用機関連絡協議会会報

〒330-0063さいたま市浦和区高砂4-3-18 埼玉県立文書館 TELO48-865-0112

♦100 2016.9 B5 12p 会報第100号の節目に

www.isai.ip

会報の誌面変更の頃について 高橋 実 全史料協会報編集を担当して 髙野

速報 熊本地震と被災文化財保全

の動向 深井 美貴

平成27年度公文書館機能普及セミ ナー in 熊本 「よりよい公文書 管理のために~何から始めるの

か、何にができるのか~ 宮田 克成

◆全日本郷土芸能協会会報

〒106-0032東京都港区六本木4-3-6 三河台ハイツ206 1m03-6434-9434 年2000円 1995年創刊 www.jfpaa.jp **♦85** 2016.10 A4 24p 庄内神楽 大分県由布市 市指定無形民俗文化財 東北の郷土芸能、リオデジャネイ

ロオリンピックに派遣!! TOHOKU & RIO 報告 リオ2016五輪公演大成功 無事に

帰国! 鬼柳剣舞保存会(岩手

県 菅原晃代表)

磐城じゃんがら彩志会 会田 仲桂

感動を呼んだドイツ公演

島根県 土江子ども神楽団 楫 義行 はみがき/三俣 平成28年度文化庁「増田の花取踊 | (愛媛県愛南町)現地調査/伝統 文化交流事業 in ゆとろぎ「有 福神楽 | 公演の開催

第58回 平成28年度ブロック別民 俗芸能大会/第65回全国民俗芸 能大会/「第65回全国青年大会 郷土芸能の部 | / 重要無形民俗 文化財国指定40周年記念「綾子 舞 | 現地公開(新潟県柏崎市)

「全日本獅子舞フェスティバル白 岡'16 を獅子博物館が開催!! 髙橋 裕一 インド・ブータン・シシオドリ 小岩秀太郎 地芝居見聞(22) 「第24回 土佐 絵金歌舞伎」、「秋川歌舞伎あき る野座 二宮神社生姜祭公演」北河 直子 会員紹介 藤野歌舞伎保存会「復 活25周年を迎えた藤野歌舞伎|

地芝居探訪(59) 彦五郎公演/大 桃の舞台公演/戸沢花湖蝶歌舞 伎/美濃歌舞伎納涼公演 空白の沖縄芸能史(14)

嗚呼!我青春の唄が聞こえる 中坪 功雄 秩父三社巡りと両神「中国農民画

展丨 (西田)

◆大道芸通信 日本大道芸・大道芸の会 〒157-0061東京都世田谷区北烏山2-3-9-101 光田憲雄 TELO3-3307-2146 www.k5.dion.ne.jp/~daidogei/ **◇294** 2016.8 A4 2p 100円 夷舞(えびすまい)と夷舞(えびす まわし) ◇295 2016.9 A4 2p 100円 耳垢取(耳掃除) むぜうれいはうかじきとう (無上

◇**296** 2016.10 A4 2p 100円 現在まで伝わるにほんの大道芸 現在日本に伝わる大道芸の数々 を一挙公開です あさり売り/ 納豆売り/かりんと売り/飴売 り/物産飴売り/わいわい天王 /すたすた坊主/阿呆陀羅経/ 虚無僧流し/南京玉すだれ/絵 解 地獄極楽/神霊術/女霊媒 師/一筆龍/ヴァイオリン演歌 /バナナの叩き売り

◇**297** 2016.11 A4 2p 100円 深川江戸資料館開館三十周年記念 日本大道芸・大道芸の会創立二 十周年記念 江戸資料館まつり 「にほんの大道芸 | 盛会裡に終了

◆多摩地域史研究会会報

〒207-0033東京都東大和市芋窪4-1735-1 梶原方 1991年創刊 tamatiken.web.fc2.com **♦122** 2016.9 B5 24p 第92回例会報告 百姓と武力―幕 末における多摩地域・江川代官 領の兵組織を中心に 行田 健晃 地域史情報室 伊奈石の会20年

一日講演会/会計報告 **♦123** 2016.11 B5 18p

第93回例会報告 青梅市·旧新町 村を歩く―吉野織部之助の開村

跡を辿る 鈴木 章久

第92回例会報告 近世前期の土豪 と譜代下人に関する基礎的考察

鈴木 直樹

史料紹介 青梅郵便局と横川貞八

近辻 喜一

◆多摩のあゆみ たましん地域文化財団 〒186-8686東京都国立市中1-9-52 Tel.042-574-1360 年600円 1975年創刊 www.tamashin.or.ip **♦163** 2016.8 A5 118p

《特集 多摩の獅子舞》

三匹獅子舞の見方

一装束、踊りの進行 中村 茂子 古記録と多摩地方の獅子舞 石川 博司 高水山の古式獅子舞と下名栗への

伝承 中島 貞夫 峰岸三喜藏 南多摩・北多摩の獅子舞 西多摩の獅子舞 金子 哲也

洋風建築への誘い(52) 或る浪漫 国立ル・ヴァン・ド・ヴェール

伊藤 龍也

建物雑想記(47)

洋館へと進化した文化住宅 酒井 哲 多摩の食文化誌(23) トウモロコ

シはご飯にもオヤツにも 増田 昭子 多摩のみほとけ(26) 日野市 百 草八幡神社 銅造阿弥陀如来坐

齊藤 経生

本の紹介

勝五郎生まれ変わり物語探求調 査団編『ほどくぼ小僧 勝五 郎生まれ変わり物語 調査報

告書 青山 英正

福生市教育委員会編『福生市の

鳥類』 田畑 伊織

狛江市史編集専門委員会編『新 狛江市史民俗調查報告書1

猪方の民俗 榎本 直樹

♦164 2016.11 A5 98p 《特集 江川代官と多座》

伊豆菲山江川家文書群の構造分析

に向けて 大友 一雄

江川家の歴史

一英龍と英武を中心に 橋本 敬之 代官江川氏による多摩郡嘉領支配

について 戸森麻衣子

江川代官と多摩の農兵 保谷 徹 菲山県の多摩郡支配 三野 行徳

洋風建築への誘い(53)

高尾山麓 旧浅川町役場 伊藤 龍也 建物雑想記(48)

浅川町の遺産・旧浅川町役場 酒井 哲 古文書は語る(44) 赤穂事件に関

わる記録―清水家所蔵文書「谷

合氏見聞録しより 馬場 憲一

多摩のみほとけ(27) 小金井市 閻魔堂 木造閻魔王坐像

齊藤 経牛 本の紹介

福生市古文書研究会編『巣枝翁

見聞夜話全』 多田 仁一

NPO法人まちだ結の里編『町 田市奈良ばい谷戸の植物調査

報告書』 内野 秀重

◆伝 え 日本口承文芸学会

〒150-8440東京都渋谷区東4-10-28 國學院大學 花部英雄研究室 TeLO3-5466-0224 年4000円 1987年創刊

♦ 59 2016.10 B5 14p

ko-sho.org

都市語りの可能性 野村 敬子

第70回日本口承文芸学会大会

研究例会報告 「言葉の文芸を

次代につなぐし 杉浦 邦子

公開講演報告

阿部敏夫氏「北海道の民間説

話を探る 丹聞 逸治

林晃平氏「亀甲の由来譚の二

池田 宏

公開講演 フンペシスターズ 「アイヌの伝統歌謡の実演と

霊宝加持祈祷)

解説」

研究発表報告

藤井倫明氏「高野辰之の童話 研究」、永島大輝氏「首無 し騎馬武者と日時について

の一考察」 米屋 陽一

玉水洋匡氏「福島県二地域に おける長者伝説」、山口建 治氏「蘇民将来説話再考」、 酒井正子氏「失われた歌を

求めて 関根 綾子

速志保氏「文化資源としての 伝説は寂れるか」、柗村裕 子氏「スウェーデンの昔話 の日本への紹介について」高木 史人 矢野敬一氏「観光まちづくり の中の「商う芸」」、熊野谷

葉子氏「マルチメディア資料集刊行に向けたフィール ドワークのデジタル・アー

カイブ作成モデル」 大嶋 善孝

富樫晃氏「地獄穴伝説に見る アイヌの他界観」、安田千 夏氏「アイヌ樹木神伝承に ついての再考」

大谷洋一氏「アイヌ口承文芸 で語られるカッパについ て」、北原次郎氏「アイヌ 口承文芸に見るシャマン儀

礼の再検討」 本田 優子

シンポジウム報告

シンポジウム報告「ユーラシアと日本列島:世界の中の

アイヌ叙事詩」 入江 英弥

3日目 エクスカーション ア イヌ口承文芸の現場を訪ねる一 平取町二風谷訪問

各地の語り・語り手・語りの場の

紹介(3) 新庄民話の会 渡部 豊子

◆東京産業考古学会 NEWSLETTER

〒174-0046東京都板橋区蓮根2-29-10 新蓮 根団地105 多田統一方/〒352-0011埼玉 県新座市野火止4-8-43 柚須紘一方 FAX048-479-7490 tias3.web.fc2.com

♦120 2016.9 A 4 6p

新刊紹介 『東京カイシャハッケ

ン伝ガイド』 多田 統一 講演会「京都鉄道博物館」 奥原 一三 書籍紹介 『多賀・八溝山地 小 型タービン水車の研究』一小水

調査 鈴木良一著 原田 喬 見学記「河口湖飛行館」 柚須 紘一 産業遺産を訪ねて(6) 倉紡記念

館一わが国綿紡の歴史を展示す

力自家発電と茨城県電気事情の

る企業博物館 平井 東幸 文献紹介 『平和祈念写真集 台

東原風景 町並みの中に息づく

平和』 佐藤洋一他編 多田 統一 茨城県石岡市の赤煉瓦建築物(1)

「羽成氏煉瓦煙突」 文·写真 八木司郎 ◇121 2016.11 A4 6p

見学会「たばこと塩の博物館」 多田 統一 講演会「桐生の繊維産業とそれに

関わる建物」 平井 東幸

新刊紹介 『東京カイシャハッケ

ン伝ガイド』 多田 統一

産業遺産の記念コイン 平井 東幸

産業遺産を訪ねて(7) 津山まな

びの鉄道館―わが国2番目の規

模の扇形機関車庫 平井 東幸 書籍紹介 『カラー版 東京鉄道遺

産100選』 内田宗治著 多田 統一

茨城県石岡市の赤煉瓦建築物(2)

「羽成氏煉瓦門」 文・写真 八木 司郎

◆練馬郷土史研究会会報

〒179-0072東京都練馬区光が丘5-2-3-806 鎌田茂男方 TeLO3-3977-3091 1956年創刊

◇362 2016.10 A4 4p西郷隆盛の肖像写真一大正十四年朝日新聞社アサビグラフ 日向康三郎練馬の城を往く(16) 海老名左近の居館(練馬区春日町三丁目附

近) 八巻 孝夫

石神井公園史年表(2)

葛城 明彦

◆ねりまの文化財

練馬区地域文化部文化・生涯学習課伝統文 化係 〒176-0012練馬区豊玉北6-12-1 Tm:03-5984-2442 1988年創刊

◇98 2016.9 A4 4p 東京文化財ウィーク2016 企画事業 尾崎遺跡の展示解説会一練 馬の中世遺跡

公開しています! 国指定・登録、 都指定の文化財 練馬白山神社 の大ケヤキ(国指定天然記念物) /三宝寺池沼沢植物群落(国指 定天然記念物)/石神井城跡(都 指定史跡)/牧野記念庭園(牧野 富太郎宅跡)(国登録記念物)/ 小野蘭山墓及び墓誌(都指定有 形文化財)/池永道雲墓(都指定 旧跡)/東高野山奥之院(都指定 史跡)/丸山東遺跡方形周溝墓 出土品(都指定有形文化財)

白山神社囃子の締太鼓

◆東村山ふるさと歴史館だより

〒189-0021東京都東村山市諏訪町1-6-3 ℡042-396-3800 1997年創刊 ◇55 2016.10 A4 4p **一**狩猟儀礼 (千葉)

江戸農村とイノシシとシカ

特集 イノシシ・シカ

下宅部遺跡のイノシシとシカ

一害獣駆除 (寺西)

(川川)

現在、市内で会えるかもしれない 哺乳類 タヌキ、ハクビシン、 モグラ、コウモリ、ネズミ類、

ノウサギ (村松)

文化財探訪 歴史資料・郷土資料

としての写真 (松崎)

◆民俗芸能研究 民俗芸能学会

〒169-8050東京都新宿区西早稲田1-6-1 早稲田大学演劇博物館内

TelO3-3203-4141 年6000円 1985年創刊

♦61 2016.9 A 5 113p

〈平成27年度民俗芸能学会大会シンポジウム 震災から五年一被災地芸能の現状と展望〉

映像による基調講演 阿部 武司 シンポジウム 古水力/久保田裕道/茂木栄

創り上げられる「山の芸|一長浜

曳山祭・奉納子供歌舞伎にみる

町衆の心意気 浅野 久枝

司会 小島美子

特別企画 無形文化遺産特集 現 場から考える無形文化遺産保護

一中国山地の囃し田と壬生の花

田植を事例に 松井今日子 評議員のページ

熊本県における民俗芸能の現況

一熊本地震をうけて 福西 大輔 舞台復活の先に何が見えるか

一茨城県北部の現状と課題 石井 聖子 青森県の民俗芸能の現状と研究

や調査の動向 外崎 純一 書評 大石泰夫著『祭りの年輪』福持 昌之 新刊紹介 斎木崇人監修 杉浦康平企画・ 構成『霊獣が運ぶアジアの山 車 この世とあの世を結ぶも の』 福原 敏男 『東栄町の盆行事 ハネコミ・ 手踊り・大念仏 調査報告書』

入江 宣子

◆民俗建築 日本民俗建築学会
〒162-0843東京都新宿区市谷田町2-33
法政大学デザイン工学部建築学科内
Im:03-5228-1496 年9000円
www.folkhouse.org
◇150 2016.11 B5 122p
巻頭言 トレス海峡の真珠貝ダイ
バー 藤井富太郎 杉本 尚次
大会発表研究論文

南西諸島の住まいにみるクチー オクの秩序 森 隆男 大阪府能勢町の民家における式 台の実態と変容―旧家と新興 の家の比較から 出口絵莉子

食い違い型間取りの町家の利便

性 椿原 佳恵 福美神社の祭りと長床の研究 白井 正子素材による調湿効果把握のため

の吸放湿絶対量に関する研究

一調湿実験に基づく調湿水量

の算出 金田正夫/出口清孝 宗像神社辺津宮本殿の沿革

一新出の絵図をもとに 佐藤 正彦 岐阜県白川村合掌造りの民家の柱

間寸法 菊地 憲夫

中国地方の茅葺き屋根と職人の諸

相 坪郷 英彦

2016年度大会見学会報告 山陰の 原風景の町並みを訪ねる

金澤雄記/安達佳菜/高橋汐満

民俗建築アーカイブ(11) 昭和27 年の岡山県苫田郡富村一その三 お祭りの日 民俗建築アーカイブ担当 One Shot Minka(18) 琉球第一 の聖地 斎場御嶽 (沖縄本土、 知念村) 朴 賛弼 2015年度日本民俗建築学会賞 (竹内芳太郎賞) 選考委員会 日本民俗建築学会後援報告書 ソウル講演会および見学会 朴替弼/市村康子 紙碑 佐伯安一名誉会員の逝去を 値む 津山 正幹 新刊紹介 『奄美の人・くらし・ 文化一フィールドワークの実践 と継続―』植松明石監修、福岡 直子・末岡三穂子ほか執筆 津山 正幹 文献紹介 単行本・報告書・論文

事務局

◆郵便史研究 郵便史研究会
〒112-0011東京都文京区千石2-42-7 田中
寛方 ™03-3945-2497 年3500円
1995年創刊 www.yuubinshi.sakura.ne.jp
◇42 2016.9 B5 58p 2000円
郵政博物館の「試作原画データ」
について 星名 定雄
「フランス横浜郵便局」研究史(4)

松本 純一

鈴木 克彦

資料紹介

郵政博物館資料紹介(22) 簡易 生命保険誕生100年記念扇面 原画展一竹内栖風から東山魁 夷、平山郁夫まで一 美をあ ふぐ華麗なる巨匠たちの扇の 世界 井上 卓朗 旧刊紹介(16)

『絵はがきの時代』

近刊紹介

Devin Leonard Neither Snow Nor
Rain: A History of the United Stat
es Postal Service

畢名 定雄
郵政歷史文化研究会編 郵政博
物館研究紀要 平成27年度
第7号

◆小田原史談 小田原史談会
〒250-0003神奈川県小田原市東町1-21-18
平倉正方 Ten0465-34-8363 年3000円
1961年創刊 odawara-shidan.hustle.ne.jp
◆247 2016.10 A4 28p
講演録 明石人骨の発見者・直良
信夫を語る 松本清張「石の骨」
のモデル 杉山博久(幾一)
徒然なるままに一忘れられた地名

(2) 「袋町」 杉山 虔一 小田原の郷土史再発見 敵将を祭 神に祭った北條氏綱と居神神社

石井 啓文

雪村周継と小田原 深野 彰 吉田島にあった「喜楽座」 藤平 初江 小田原桐座について(7) 一由緒書の検討を中心に 荒河 純 小田原史談会セミナー「小田原の 歴史を掘る」要旨 「江戸時代 の小田原」講師:山口剛志氏 (山口)

◆神奈川県立公文書館だより 〒241-0815横浜市旭区中尾1-6-1 TmL045-364-4456 1994年創刊 www.pref.kanagawa.jp/cnt/f1040/ ◇35 2016.10 A4 4p 写真でみるありし日のシルクセン ター 蚕業センター 企画展示 蚕とかながわの人々 記録で見る相模鉄道の百年一アー カイブズ講座で取り上げた事例 から ミニ展示 入営へのそなえ一徴兵保険

◆金沢文庫研究 神奈川県立金沢文庫

〒236-0015横浜市金沢区金沢町142 1m045-701-9069 1955年創刊

◇335 2015.10 B5 48p 戦国期日蓮宗寺院における贈与の
一形態一安房妙本寺日侃注文の
分析 佐藤 博信
『温古集録』収録の龍華寺棟札写 盛本 昌広
資料紹介
称名寺本『華厳経問答』につい
て 道津 綾乃
金沢文庫の中世神道資料『諸社
□決』一結び一翻刻 高橋 悠介
建長寺創建本尊地蔵菩薩像と北条
時頼の信仰をめぐって(下) 瀬谷 貴之

◆鎌倉 鎌倉文化研究会 〒248-0016神奈川県鎌倉市長谷3-11-2 観音ミュージアム内 TELO467-22-6100 1959年創刊

◇121 2016.8 A5 118p 1500円異説・明王院五大堂考─創建とその所在位置をめぐって 鈴木 良昭一斎居士顔汝勲と南宋末禅林(中)一建長寺開山蘭渓道降と同門に

当たる在俗居士 佐藤 秀孝 「津久井光明寺文書」の原胤房 外山 信司 鎌倉蒔田善右衛門家の近世的展開

ー「地方名主」・「旧家」への道 佐藤 博信 『鹿山公私諸般留帳』(47) 三渕美恵子 神奈川の窓(38)

一「地方史研究」から 井上 隆男

◆かまくら女性史の会 Newsletter 〒248-0012神奈川県鎌倉市御成町18-10 NPOセンター鎌倉気付 メールボックス 26 2013年創刊

♦36 2016.9 A 4 2p

子ども・ひとり親家庭の貧国ニッ

ポン 郡司 春乃

図書紹介 『私の「あの頃のこと| 七十年前の戦争の記憶をたどっ

て』むれの会発行 (横松)

『十二所 小長井日記』を読む(6) (高階)

♦37 2016.10 A4 2p

横浜大空襲体験談

~小野静枝さん証言記録より 浦野 昭子 『十二所 小長井日記』を読む(7) (高階) 図書紹介 『会津学』 Vol.7 会津

学研究会/奥会津書房

(曾原)

♦38 2016.11 A4 2p

F☆L かまくら女性史の会・発

表会「対話する資料」から

曾原糸子/高階志津江/多和田真理子 鎌倉近現代史資料講演&ワークシ

ョップ (郡司)

♦39 2016.12 A4 2p

63年目の鎌倉婦人子供会館 植松佐智子

「旧鎌倉図書館の活用について」

陳情書を12月5日提出

小野静枝さん証言記録1「横浜市

立女子高等専修学校について

一横浜郷土研究会会報№103 (浦野)

◆コロス 常民文化研究会

〒254-0016神奈川県平塚市東八幡2-8-20 西海賢二方 年1000円 1979年創刊

♦146 2016.8 B5 6p

自国の史料を読めるということ 時枝 江戸・東京・東京の祭礼文化に民

俗を読む(1)

西海 腎二

♦147 2016.11 B5 6p 江戸・東京・東京の祭礼文化に民 俗を読む(2) 西海 賢二

◆寒川文書館だより

〒253-0106神奈川県高座郡寒川町宮山135-1 TELO467-75-3691 2007年創刊

www.lib-arc.samukawa.kanagawa.ip

♦ 20 2016.9 A4 8p

資料紹介 旅行案内書に登場する

一之宮の旅籠 大日本再見道中

記(福井県文書館所蔵) 息養 圭美

第21回企画展「相模線 駅ものが

たり | / 神輿まつりに出展/絵 はがきシリーズ第7集 一之宮

の風景

茅ヶ崎市・寒川町広域連携事業「茅 ヶ崎と寒川の大山道 |

◆市史通信 横浜市史編集室

〒220-0032横浜市西区老松町1 横浜市 中央図書館地下1階 1至045-251-3260 2008年創刊

www.city.yokohama.lg.jp/somu/org/housei/sisi/

◇27 2016.11 A4 12p

記念絵はがきの世界

- 小澤コレクションから 平野 正裕 軍事郵便と軍隊手帳を読み解く 羽田 博昭 高松宮賜杯のゆくえ一昭和二○年

代後半の市民体育大会 百瀬 敏夫

写真で見る昭和の横浜(8)

昭和初期の個人均一店 百瀬 敏夫

開架資料紹介

開港五○年祭記念絵はがき 平野 正裕

◆首都研ネットワーク 首都圏形成史研究会 〒231-0021横浜市中区日本大通3 横浜開 港資料館気付(吉田律人・西村健)

Tel.045-201-2169 年2000円

♦ 74 2016.10 B5 4p

会員インフォメーション

郡司美枝『東京商人の生活と文

化一宮内家三代の一五〇年』平野 正裕 手島仁『楫取素彦と功徳碑』 松本 洋幸

大豆田稔編『近江商人の酒造経

営と北関東の地域社会』 松本 洋幸

◆湘南考古学同好会々報

〒251-0044神奈川県藤沢市辻堂太平台2-3-19-104 寺田兼方方 1980年復刊

shounankouko.iimbo.com

♦144 2016.8 B5 20p オープン・データ・サイエンス

一新しい学問の潮流 榊原 智之

卒論要約 神奈川県内出土の単鳳

環頭大刀について 加賀谷眞良

心の考古学まで(13) 前方後円墳

の築造に関する考察(1) 古要 祐慶

平成28年3月臨時例会 「国史跡

"下寺尾官衙遺跡群"をめぐる|

見学記 加賀谷眞良

『第11回 若手研究者を囲む勉強会』

に参加して 金海 義郎

「東博平成館・考古展示室 | 見学 堀場 良一 『黄金のアフガニスタン』を見て 赤桐 邦子

◆戦争と民衆

戦時下の小田原地方を記録する会 〒250-0011神奈川県小田原市栄町3-13-21 井上弘方 1980年創刊

♦ 77 2016.8 A5 16p

聞き取り 遺族として戦後を生き

て 話し手: 石綿義弘

続・地域で戦争を伝えるものを調 べて(5) 東泉院にある間中喜

雄の平和碑 井上 弘 交流報告 5.29横浜大空襲祈念の

集い参加記 矢野 恒一

資料紹介 足柄史談会「太平洋戦 争下における南足柄の状況調

杳|

最近の『戦争と民衆』 目次 (第72 号~第76号)

出版のご案内 井上弘著 小田原 ランブラリー23『知られざる小 田原地方の戦争』

◆日本地名研究所通信

〒213-0001川崎市高津区溝口1-6-10 川崎市生活文化会館 4 階 TELO44-812-1106 1993年創刊 www8.ocn.ne.jp/~timeiken/

♦85 2016.8 B5 8p

地名と暮らす生活 谷川 彰英

熊本地震と塩井地名 永瀬 尚武

第35回全国地名研究者伊那谷大会

伊那谷から全国に発信 董 伊那谷大会参加の記 長谷川 勲

藤本

全国地名研究者大会伊那谷大会に

参加して 水津 幸一 地名散歩 桐井 聰男

♦86 2016.11 B5 8p

熊本地震と伊那谷大会

地名を受け継ぐ人々へ 和彦 広瀬川 桃木川そして風呂川 阿佐美良雄

III + にて~ 太宰 幸子 遥かなる「香取の海| 野村 忠男

筑後の歴史を訪ねる―秋のバスツ

沓縫一発音も採集 ~大崎市岩出

アーから 藤野芳太郎

◆日本の石仏

日本石仏協会(発売:青娥書房) 〒224-0037横浜市都筑区茅ヶ崎南1-3-10-409 TelO452-943-4409 年8000円

1977年創刊 ur0.work/su9s/ **◇159** 2016.10 A5 64p 2000円 表紙写真 当尾の「笑い仏」 黄瀬 三朗 継続こそ力・それは時の贈物 坂口 和子 《特集 道祖神の粗型》 石祠型墓石内の双体仏に僧形双体

道祖神の粗型をみる 田中 英雄 山梨県の丸石道祖神

一首相神の粗型を求めて 岡田 均 創立40周年に寄せて

「私と石仏」(続)

近世石仏の作り手「石工」

一石工調査40年の一断面 小松 光衛 西教寺二十五菩薩との出遇いか

Ď 殿南 直也 石仏と共に歩んで 門間 勇 破草鞋40年 金井 竹徳 石仏研究の歩みと 尾田 武雄 全ての、物質は元素から始まり

ます 新田 倖石 未知の世界~石仏との出会い 荒井 昭 石仏入門(13) 弁才天 名号塔の知識(25)

北四国の名号塔 岡村 庄造 「石|を知る(47) 九州の「石文

化 | / 九州の「石材 | 小松 光衛 石仏写真と私(46) 石仏の素朴さ

本石仏協会主催・第109回石仏見学

と慈愛に魅せられて… ゲスト 前川勲さん 杉本 康希

会報告 埼玉県東川口の石仏 大久保 修 千葉市金光院の庚申塔 三明 弘 聰子観音二十八年目 関根 文節 武内神社 遠藤 康子 高遠石工研究センター発足 竹入 弘元 第38回石仏公開講座を終えて

帰ってきた肥前狛犬 中野 高通

◆扣之帳 扣之帳刊行会 〒250-0021神奈川県小田原市早川60 青木良一方 TELO465-22-8852 年2500円 2003年創刊

hikaenochou.world.coocan.jp/mysite/ **◇53** 2016.9 A5 96p 500円

小田原城ガイド寸畳 石川 和彦 おあんさま昔物語りなされませ 今川 徳子 金次郎の食べた小田原と桜町の豆

屋上 武 ある父と子―室伏高信の『親と子』

岸 達志

大名家の墓所を訪ねる 田中 豊 「木村民俗」管見(6)一年取りの境

青木 良一

新刊紹介 『足柄を散策する一文

学遺跡を訪ねて一』 杉山 博久

◆民具マンスリー

神奈川大学日本常民文化研究所 〒221-0802横浜市神奈川区六角橋3-27-1 Tel045-481-5661 年3500円 1968年創刊 ◇**581** (49-5) 2016.8 A5 24p 350円 民具の終焉の作法

一澁澤敬三の民具観(1) 小島 瓔禮 学校内歴史資料室の抱える課題一

企画展「よみがえる学校の文化

財 | の開催によせて 羽毛田智幸

学校内歴史資料室の調査と現状一 千葉県市川市内公立小学校の事

三村 官敬

書籍紹介 『もっと博物館が好き っ!一みんなと歩む学芸員一

四国ミュージアム研究会編 磯本 宏紀

岡田均/中野高通 ◇582 (49-6) 2016.9 A5 24p 350円

前川勲/中森勝之 国登録有形民俗文化財「志摩半島

西林忠八の早すぎた発明―明治―

○年発明の正条植用「田草取器

械| 桂 真幸

民具短信

硝子製の刃を持つ鰹節削り器 松本 友里 **◇583** (49-7) 2016.10 A5 24p 350円 民具の終焉の作法

一澁澤敬三の民具観(2) 小島 瓔禮 柳田民俗学における図像の資料的 価値の検証―『風俗画報』と『年

中行事図説』の比較から 石井 和帆 民具短信 「進藤進氏 コレクシ

ョン見学会 | へ参加して 塚原 順子 ◇**584** (49-8) 2016.11 A5 24p 350円

和歌山県下における捕鯨活動

一突きん棒漁業に操業実態 今川 恵 民具短信

新潟市所蔵の手回し脱穀機につ

いて一資料紹介編 森 行人

野部における脱穀機製造販売の

動向 岩野 邦康

実践民俗学(2) 山村振興の計 画書―山村という新たな価値

杉山 是清

◇585 (49-9) 2016.12 A5 24p 350円 国登録有形民俗文化財一倉吉の千

歯扱きと関連資料について 関本 明子 民具の終焉の作法

一澁澤敬三の民具観 その三 小島 瓔禮 民具短信

岡山県笠岡市に伝わる江戸時代

横田 美香 の京屋唐笙 十津川村の丸窓唐箕について 吉見真理子 書籍紹介

『飛行機、浦町、ディープなマ チ場』所沢市教育委員会編集

の生産用具及び関連資料」につ ・発行 宮本八惠子 『八王子写真民俗誌』八王子市 史叢書5 八王子市編集専門 部会民俗部会編 石井 和帆

◆悠 久

鶴岡八幡宮悠久事務局(発売:おうふう) 〒248-0005鎌倉市雪の下2-1-31 Trt.0467-22-0315 1980年第二次創刊

♦146 2016.8 A5 94p 680円 《特集 古代瀬戸内の海の信仰》

エッセイ 父の背中 山谷えり子 古代の瀬戸内海一苦難の国土軸 千田 稔

万葉集にみる瀬戸内 瀬戸内の人びとの生活に息づく大

山祇神社への信仰 松田 睦彦 八十嶋祭 加茂 正典

菊地 義裕

仁徳記53番歌と国生み神話 谷口 雅博 瀬戸内漁民の信仰

一古代につながる漁民の信仰 印南 敏秀

口絵解説 大山祇神社の古鏡 八幡宮紹介 草津八幡宮(広島県 広島市西区田方)

◇147 2016.10 A5 84p 680円

《特集 古代若狭の海の信仰》

時空を超えて 宮内 淳 若狭一長生と海 千田 稔

『古事記』『日本書紀』の「角鹿」

の位置付け 谷口 雅博 若狭彦・若狭姫神の神像 嵯峨井 建 御食国若狭 舘野 和己 古代における日本海交流 酒寄 雅志

八幡宮紹介 鴻八幡宮(岡山県倉

敷市児島下の町) 河本 貞紀

◆歴研よこはま 横浜歴史研究会

〒245-0053横浜市戸塚区上矢部町1624-21 加藤導男方 1984年創刊

♦ 75 2016.11 B5 63p 《特集 テーマ「歴史上の敗者の言い分」》 平成28年度上半期を終えて 加藤 導男 創立35周年記念行事の概要について 加藤 導男 特 集 梶原景時の言い分 丸山 雅子 小田原北条氏の無念 加藤 導男 松陰の衣鉢を継いだ埶血至誠の 人・前原一誠 竹村 紘一 名族佐竹氏の秋田転封 渡会 裕一 勤皇侠客 黒駒勝蔵の末路 高野 腎彦 鎌倉幕府政所別当 大江広元と 息子たち 長屋 正和 柳田国男の書記官長辞任劇 「倉富日記」にみる柳田の言 い分 近藤 政次 大正地区歴史散歩の会 創立35周 年 記念式典・祝賀会開催 加藤 導男 中国の歴史と文化を学ぶ会 創立

35周年記念式典・祝賀会開催 加藤 導男 江戸の歴史研究会 創立35周年

記念式典・祝賀会開催 加藤 導男 平成28年度《歴史探訪の旅》「戦

国ロマンが薫る真田氏ゆかりの

地を訪ねる」 谷川美代子 戦国真田三代名将伝 竹村 紘一 鎌倉戦乱シリーズ(7)

 宝治合戦
 山崎
 宣晴

 『愚鈍なりしや氏政』
 高尾
 隆

 ヤマト史観雑考(4)
 間淵二三夫

 興福寺の仏頭
 栗
 光行

 平成28年度
 春季歴史散歩「寛永

年間の上野を訪ねる」 前出 郁子 私の旅行記(1) 古谷 多聞 古歌を訪ねて(4) 恋と夢と~斎宮女御の歌 丹下 重明

清水

漠

『梁塵秘抄』に思う 市川 康夫 紅葉の鎌倉名刹を訪ねる 齋木 敏夫 鬼の言い分(生きている桃太郎)

昴(瀬川俊二郎)

中 部

◆頸城文化 上越郷土研究会

〒942-0081新潟県上越市五智6-1-11 花ヶ前盛明方 TELO25-543-4354 1952年創刊

♦64 2016.9 A5 223p

上越地方の古代祭祀遺跡について

一古墳時代の石製模造品祭祀具

の出土例 関 雅之

倭人伝の検証(2)

卑弥呼と宗女台与 鰐渕 好輝 ヒスイ文化衰退の背景(2) 「古語 拾遺」にみる中臣氏と斎部氏の

葛藤 土田 孝雄 「親鸞は自己を語らなかった」と

いうことについて 太田 空賢 戦国期の板倉領主三善氏の変転 三島 義教 越後国至徳寺について

一上杉氏と禅宗 片岡 秀樹 上杉謙信の上洛に関する考察 諸井 幸枝 鳥坂城主について 高橋 勉 上杉景勝と越後時代 花ヶ前盛明 上越歴史散歩(1)

新潟日報カルチャースクール上越教室親鸞聖人上陸の地武田 一郎安国寺跡加藤 浩二至徳寺跡武田 一郎

関東管領 上杉憲政公顕彰之碑

 内上義清建立の供養塔
 式田
 会

 福島城跡
 加藤
 浩二

 春日新田馬市跡
 大澤
 行雄

 史跡
 小林百哺の塾跡
 山田
 宏

 芳澤記念公園
 記念館「米南荘」

大澤 行雄 加藤 浩二 安寿と厨子干供養塔 道標(佐内町) 大澤 行雄 史跡 郷津 山田 川上善兵衛住居跡 武田 一郎 善念寺 山田 「レルヒ少佐像」 武田 一郎 「小川未明生誕の地」 加藤 浩二 居多神社 花ヶ前盛明 乳母嶽明神 花ヶ前盛明 参考文献

石仏の修験彫刻調査 吉川 繁 「黒井村外九ヶ村」について 渡邉 戈樹

◆高志路 新潟県民俗学会

〒950-2022新潟市西区小針6-29-1 鶴巻武則方 TEL025-231-6100 1935年創刊 www.geocities.jp/niigata_minzokugaku/

◇401 2016.8 A5 97p 《351号~400号総目次》

さかべったう考

ー『北越雪譜』昆虫記(1) 鶴巻 武則 小報告集唖 佐藤 和彦 加茂市七谷地区下黒水における寒

倉講寒行(2)-寒念仏信仰につ

 いての考察(5)
 岩野 笙子

 火防せと初牛
 金田 文男

ショウキサマの田圃

一新潟県新発田市浦 石本 敏也 垣間見た中国自治区の民俗 広井 忠男 文化元年十二月 鴻巣村農民の久

離願 中村 義隆

「押し太鼓貝御定書」(八戸市立図 書館蔵) について 野村 憲一

書館蔵)について 野村 憲一 有志見学会報告

有心兄子云和古

笹川邸と月潟まつり 佐藤 和彦

 放浪、巡業芸の民俗 広井 忠男 クジラ・サケの供養 金田 文男 「甲州流陣貝巻秘決」について 野村 憲一 雪蛆の図と験微鏡

一『北越雪譜』昆虫記(2) 鶴巻 武則 小報告集IX 佐藤 和彦

会員出版物 『火防 秋葉信仰の 歴史一遠州 秋葉山、越後 秋 葉三尺防、長岡 蔵王権現一』

石田哲彌著

◆長岡あーかいぶす

長岡市立中央図書館文書資料室 〒940-0065新潟県長岡市坂之上町3-1-20 長岡市立互尊文庫 2階 TELO258-36-7832 2005年創刊

www.lib.city.nagaoka.niigata.jp/monjo/

♦14 2016.3 A4 4p

長岡市災害復興文庫 市内小・中 学校の写真資料を国立国会図書

館 東日本大震災アーカイブ (愛称:ひなぎく)で公開してい

ます 林 朋子

災害と文書資料室(9) 「長岡市災

害復興文庫」の活用事例 下玉利紀子

長岡の碩学(14) 高橋翠村

1854(安政元)~1944(昭和19)

桜井奈穂子

◆新潟史学 新潟史学会

〒950-2102新潟市西区五十嵐二の町8050 新潟大学人文学部史学研究室内 TEI.025-262-6289 1968年創刊

一郡山遺跡と淳足柵 小林 昌二 地方商人資本の近代化と経営展開

-新潟市 齋藤喜士郎家の明治

後期から大正初期 横木 岡

30

「隠し湯」

小林虎三郎訳『察地小言』に関わ る蘭語筆写本 西田 泰民 第55回近世史サマーセミナーの記

録 実行委員会

連携展示「南相馬と長岡〜絆の記憶と記録」の開催一東日本大震災資料を活用する広域連携の一

事例 田中 洋史

書 評

相澤央著『越後と佐渡の古代社 会一出土文字資料の読解一』湊谷 隆弘 矢田俊文・長岡市立中央図書館 文書資料室編『新潟県中越地 震・東日本大震災と災害史研 究・史料保存一長岡市災害復 興文庫を中心に一』 内山 大介

◆まきの木 巻郷土資料館友の会 〒953-0041新潟市西蒲区巻甲3069-1 〒1025-672-6757 年1500円 1978年創刊 ◇105 2016.10 B5 24p 鎧潟に関る若干の考察 近 武郎 農具としての「横杵」の新潟県域 での様相 細井 佳浩 百済観音からメルヘンまで一新し い領分を求め続けた画家 山上 聖子 山上 健 平成28年 寿季視察研修旅行 山賀 誠

◆良寛だより 全国良寛会会報 〒951-8112新潟市中央区南浜通2 北方文 化博物館新潟分館内 1m.025-222-2262 1978年創刊

◇154 2016.10 A4 20p 良寛堂暮色一良寛和上親意に応へ て 棟方志功(良寛記念館蔵) リレーエッセイ 良寛つれづれ(3) 良寛遺墨鑑賞(2)

維馨尼宛書簡 正月十六日夜 折々の良寛(43) 第三十九回全国 良寛会総会糸魚川大会 長谷川義明 第39回全国良寛会総会糸魚川大会

に参加して

 大会参加の楽しみ
 中馬
 淳文

 相馬御風の『還元録』に触れて和田
 英一

 御風の『大愚良寛』で開眼
 会田
 捷夫

 御風も愛飲のバタバタ茶
 中村由紀子

 人間良寛さまを知る
 羽吹
 登

 御風翁の遺徳を学ぶ
 浜田
 明

全国良寛会総会糸魚川大会

参加のお礼 高瀬 衛 設立40周年記念

全国良寛会 長岡大会

相馬御風の良寛(3)

「死にたうなし」 金子善八郎 良寛さんに見倣う 中込 緑 良寛 教えのうた 素描 吉田 福恵 良寛さん、翻身の大解脱 藤田 正夫 新潟とカナダ・ケベックシティ

〜良寛さんにいただいたご縁 寺本 小鳳 良寛の里日本遺産推進会議が発足

/出雲崎小児童の「良寛さん」 新作能「国上」の鑑賞会 会田 捷夫 越後一宮 彌彦神社の神域に良寛 の「いやひこ」歌碑 建立を(全 国良寛会 会員の提案)

良寛を訪ねて(3)

出生の地 出雲崎(下) 吉井 清一

◆富山史壇 越中史談会

〒930-0115富山県富山市茶屋町33-2 富山県公文書館内 Tm:076-434-4050 1954年創刊

(3) ◇181 2016.11 A5 82p 1300円 田主 智彦 斯波宗家の去就一越中国岡成名を 緒に霜月騒動におよぶ 熊谷 隆之 ばんどり騒動と十村杉木家 浦田 正吉 近世石工の出張製作一神通川中・

上流域における動態 古川 知明 加賀藩初期の古城跡調査と幕府巡 見使・国目付一越中国を中心に

高岡 徹

史料紹介 芦峅寺旧宝泉坊の『布 橋灌頂会絵巻』と「布橋灌頂会 配役・配置図」に関する一考察

福江 充

平成28年度研究発表大会発表要旨 史跡上市黒川遺跡群の調査と整

備・活用 三浦 知徳 十六世紀北陸における武家と本 願寺・一向一揆 川名 俊 近世立山における「観光地」的 様相一立山信仰登山集落と地 域社会 高野 靖彦 享保・延享期の加越能地域の朝

鮮人御用 横山 恭子

◆とやま民俗 富山民俗の会 〒930-0881富山市安養坊56甲-1 富山市民 俗資料館内 年3000円 1974年創刊 ◇86 2016.9 A5 28p 佐伯安一先生の訃を悼む 森 俊 黒部市の盆踊り 成川 正幸 大豆栽培の民俗

一富山県南砺市楮の場合 森 俊 カクセツ(会食)と特殊川漁一南砺 市(旧福光町)オ川七石坂の場合

加藤 享子

◆北陸石仏の会会報

〒939-1315富山県砺波市太田1770 尾田武雄方 №0763-32-2772 年3000円 1993年創刊 ♦ 50 2016.8 A4 10p

 阿・阿の狛犬
 文山
 純子

 殿城庵の石仏など
 滝本やすし

 砺波地方の珍しい石仏たち
 尾田
 武雄

 日中の肩掛地蔵
 平井
 一雄

 第52回例会「立山町の石仏めぐり」

報告 松井 兵英

◆「北陸石仏の会」通信

〒939-1315富山県砺波市太田1770 尾田武雄方 TEL0763-32-2772 年3000円 2016年創刊

◇2 2016.8 A4 2p 「石仏の基礎知識 隋身〈1〉ず いしん」/「はがき通信 猿田彦 の石仏」(尾田武雄)(『日本の 石仏』2016夏 №158)

◆石川れきはく 石川県立歴史博物館 〒920-0963石川県金沢市出羽町3-1 TmL076-262-3236 1986年創刊 ishikawa-rekihaku.jp

◇119 2016.9 A4 6p石川県立歴史博物館 開館30周年記念 平成28年度秋季特別展 「城下町金沢は大にぎわい!」

平成28年度秋季特別展「城下町金 沢は大にぎわい!」/関連イベ ント

資料の宝庫「大鋸コレクション」濱岡 伸也一日学芸員奮闘記永井 浩

◆若越郷土研究 福井県郷土誌懇談会 〒918-8113福井市下馬町51-11 福井県立図書館内 IEL0776-33-8860 年3500円 1956年創刊 ◇302 (61-1) 2016.9 B5 90p

新内節 初代鶴賀若狭掾考 小林

32

良實訓

織田信長の越前再征

-殲滅・殺戮を考える 竹間 芳明 大瀧寺の先達衆と安楽寺について

池田 正男

越前白山地区の「自在女」と「解 雷ヶ清水」一伝承の特徴と語り 継ぐ。精神的素地 塩瀬 博子

西尾宗次の生涯一真田信繁を討っ

た「無名の武士」の実像 長野 栄俊

◆飯田市歴研ニュース 飯田市歴史研究所 〒395-0002長野県飯田市上郷飯沼3145 Tm.0265-53-4670

www.city.iida.lg.jp/soshiki/39/

♦83 2016.8 A4 4p

第14回飯田市地域史研究集会

飯田藩と地域社会

飯田・下伊那の歴史と景観(2)

南宮峡の景観 阿南町御供 樋口 貴彦 新刊案内 飯田市歴史研究所年報 ⑭「特集 飯田・下伊那の歴史

的景観| 飯田市歴史研究所編

リレーミニエッセイ(3)

飯田と横浜 多和田雅保

整備された平岡ダム建設犠牲者火

葬場跡への通路 原 英章

♦84 2016.10 A4 4p

第14回飯田市地域史研究集会を開催しました 特集 飯田藩と地域社会

飯田・下伊那の歴史と景観(3) 山里の景観 飯田市下栗

飯田歴研賞2016 受賞者コメント 著作賞 原安治著書『還らざる 夏 二つの村の戦争と戦後 信 州阿智村・平塚』、特別賞 三 輪泰史著「菊池謙一・幸子夫妻 の往復書簡」(大阪教育大学歴 史学研究室『歴史研究』53)

リレーミニエッセイ(4) 学生の 「疑問」から地域史は構成でき

るか? 大串 潤児

旧千代支所行政文書の整理・調査

齊藤 俊江

◆伊 那 伊那史学会

〒395-0081長野県飯田市宮ノ上4048 TELO265-22-6017 年5500円

◇1059 (64-8) 2016.8 A5 50p 550円

口絵 古写真でみる千代・野池神

社の御柱祭 櫻井 弘人

平成二十八丙申年飯田・下伊那の

御柱祭の概要 山内 尚巳

御柱祭あれこれ/建御名方命を祭 神とする神社(諏訪社)一覧/御

柱祭実施神社一覧/御柱祭実施

神社位置図

各神社の御柱祭

 飯沼諏訪神社
 櫛原利喜夫

 麻績神社
 小島 稔

 知久平諏訪神社
 知久 一彦

阿智村の六社 伍和大鹿水無社

/ 伍和寺尾秋葉神社/ 伍和河

内諏訪神社/駒場市の沢諏訪

神社/春日神社/園原神坂神

社 佐々木賢実

各神社の御柱祭

根羽村中野諏訪明神社 片桐 亀十 喬木村阿島北明神社 市瀬 武文

申年御柱祭見て歩き記

柏原明神社/野々宮神社/日枝

神社/和田諏訪神社 原田 望

七久里神社/小野子諏訪神社/

程野正八幡宮/平谷神社/関

口家諏訪大明神 山内 尚巳

御柱祭写真 原田 望

各町村史学会の動き

喬木村史学会の総会

◇1060 (64-9) 2016.9 A5 50p 550円

口絵 飯田古墳群一三基

国指定史跡に 小林 正春 〈伊那谷研究団体協議会 第18回シンポジウム 戦後、伊那谷はどう変わったか一風土 と生活を考える〉

飯田・下伊那の帰化植物 木下 進 伊那谷の土地利用の変遷 伊藤 渉 下伊那における人の死・埋葬など

の変化 橋都 正

駒ヶ根市長岡の生前葬 桃澤 匡行

史料紹介『伊那郷友會雑誌』

中央鉄道伊那谷誘致運動記事を

中心に 竹村 雄次

「第35回全国地名研究者伊那谷大

会 | 伊那谷を全国に発信 盛

会に開催 原 董 下伊那日録(2010年8月~2011年3月)

寺田 一雄

◇1061 (64-10) 2016.10 А5 50p 550円

口絵 過去の時間をとじ込めた昆

虫標本 四方圭一郎 「百年の森造り」に参加して 堤 久 飯伊地域の特定外来生物一ウチダ

ザリガニと向き合った三年間 村上 賢英 飯田・下伊那地域の花こう岩 手塚 恒人 領家帯でタングステンを生産した

神豊太陽鉱山 田中 良南アルプス最古の化石は遠山郷に

あり 坂本 正夫 ◇1062 (64-11) 2016.11 A5 50p 550円 □絵 大鹿村の「矢立木」と「箭

立木大明神」石碑盗難? 橋都 正 古代にみる伊那・九州間交流 桐原 健 商品流通の発展と荷歩銭賦課 伊坪 達郎 原太兵衛利助旅日記(2) — 延享四 年信越・東北・関東巡礼の旅 原 嘉彦 福澤悦三郎(青藍)考 中島 正韶 満洲の中の喬木村 青木 隆幸 下伊那日録(2011年4月~8月) 寺田 一雄

◆伊那路 上伊那郷土研究会

〒396-0027長野県伊那市ますみヶ丘798-7 TEL0265-78-1269 年5000円

◇**715** (60-8) 2016.8 A5 40p 500円 《終戦特集》

ガタルカナルの惨禍と伊那飛行場

の建設 久保田 誼

私の戦争体験

- 東京における学生時代 春日 輝海 少年農兵隊(甲種食糧増産隊)活動

の記録―長野県大隊の―事例 小池 金義 マリアナ諸島バガン島帰還聞き取

り余話 北原 昌弘

日本の子育て(25) 選挙 大槻 武治 文化短信 美篶小学校資料館運営

委員会 長野県文化財保護功労

表彰受賞 伊藤 一夫

◇716 (60-9) 2016.9 A5 40p 500円 『庚子日録』に見る根岸短歌会と

歌人たち 桃澤 匡行

 井月日記甲・乙翻刻(21)
 竹入 弘元

 都に春を(1) 一東大寺の謎
 亀田 武巳

『古今書院』創設者・西春近村出

身の橋本福松(3) 一教員から実 業家へと歩んだその波乱の生涯

に学ぶ 三上 徹也

文化短信 出前講座「防災」

-木下北城地区「あった会」 山本 勝 ◇717 (60-10) 2016.10 A5 40p 500円 《民俗特集》

常円寺丸山公園の二十二夜様 中崎 隆生 赤穂村役場庁舎の建築について

一地方自治の先駆者福澤泰江の

34

「建築小言」 小池 金義 高遠に残るそばの道具―高遠町歴 史博物館・伊那市民俗資料館所

蔵品より 林 洋一 都に春を(2)-東大寺の謎 亀田 武巳 伊那谷のブッポウソウ

一民俗の窓を通して(27) 吉田 保晴 ◇718 (60-11) 2016.11 A5 40p 500円 講演「旬から覗いた井月―酒と食

べ物―| 伊藤伊那男 桃澤 匡行 子規庵以後の歌会 竹入 弘元 井月日記甲・乙翻刻(3) 江戸時代の治水家「伊藤由助」の

生涯と功績 北原 昌弘 日本の子育て(26) 啐啄同時 大槻 武治

◆伊那民俗

柳田国男記念伊那民俗学研究所 〒395-0034長野県飯田市追手町2-655 飯田市美術博物館内 TeL0265-22-8118 年3000円 1990年創刊 inaminkenhome/blogspot.jp **♦106** 2016.9 B5 8p 表紙 大三国/駒ヶ根市・大宮五 十鈴神社の煙火 櫻井 弘人 年番制度が守る祭りと煙火一駒ヶ 根市大宮五十鈴神社の大三国 中崎 隆生 民俗学入門ゼミナール第1期 成 果論文要旨 蓋然論もしくは推 論の学であるべき民俗学 宮下 英治 柳田國男館が国登録有形文化財に

して地域貢献を 松上 清志 フィールドワーク報告 下伊那郡西部と奥三河の旅 平栗 豊久

◆史学 義仲 木曽義仲史学会 〒390-1401長野県松本市波田5904-5

一市民活動や民俗学研究の場と

千村清文方 TELO263-92-6815 年3500円 1999年創刊

www.angl.co.jp/shigakukai.html

♦ 17 2016.8 A5 107p

牧と共に東信濃の諸豪族が如何に

形成されたか 児玉 多聞 平成27年秋の研修会 義賢・義仲

ゆかりの地「上州前橋方面 | に

よせて 角田 正敏 秋季研修会での思わぬ収穫 井上 正明

ひとくちメモ 多治見の今井兼平慰霊碑

(千村) 鎌倉幕府と木曽義仲関係者 西川 早苗 「源義仲に加勢した先祖 五位

源の朝臣勝重しの補稿 安川 治孝 ひとくちメモ 小室太郎光兼の館

に始まる『小諸城』 (千村)

図書紹介 木曽義仲一その生涯と 秘められた真相 田屋久男著/ 旭将軍木曽義仲 その実像と虚 像 高坪守男著

◆信 濃 信濃史学会

〒399-0036長野県松本市村井町南1-28-35 年10200円 www.shinano-shigakukai.jp ♦ 799 (68-8) 2016.8 A5 80p 1150円 幕末期「藍玉通帳」にみる上田地 域の藍玉流通(上) 矢嶋千代子 清盛の出生伝承をめぐる一考察

石川 勝義 関東甲信地域の古代の焼印におけ

る一考察 髙津 希望

研究の窓 現代社会と民俗学

一葬儀と墓に寄せて 福澤 昭司 **◇800** (68-9) 2016.9 A5 82p 1150円 《特集 『信濃』(第三次)第八〇〇号記念》 座談会 信濃史学会の今、そして これから 山浦寿、小松芳郎、

青木隆幸、小野和英、高原正文、 村石正行、太田典孝、浜野安則

編集委員会

学恩の数々 今牧 久 信濃史学会に望むこと 花岡 康隆

平成28(2016)年総会記念講演 歴 史における支配とは何か―戦国

時代を中心に 笹本 正治

幕末期「藍玉通帳」にみる上田地

域の藍玉流通(下) 矢嶋千代子 『信濃』の編集にご協力いただき

たいこと 編集委員長

♦801 (68-10) 2016.10 A5 78p 1150円 年貢割付状からみる榑木成村支配

一延宝期から享保期を中心に 前澤 長野県の歴史の道一その保存活用

へ向けての一視点 櫻井 秀雄 長野県内の上・下伊那、木曽、諏

訪地域の「八景」を探る 山口 通之 近世以降期における浅間根腰三宿

の移動(1) 軽井沢宿一あわせ

て3D地図の有効性を検証する

江川 良武

推論・蘇我氏と筑摩郡 桐原 健 **♦802** (68-11) 2016.11 A5 80p 1150円 満州小特集

「満蒙開拓平和記念館」開館か ら三年半を経て一記念館の現 状と開館の成果、今後の課題

寺沢 秀文 視察新聞記者団の見た満洲大日

向村一富民協会主催満洲開拓 農村視察から 塚田 博之

近世以降期における浅間根腰三宿 の移動(2) 軽井沢宿一あわせ て3D地図の有効性を検証する

江川 良武

書評 福田晃・徳田和夫・二本松

康宏編『諏訪信仰の中世―神話 ・伝承・歴中| 袮津 宗伸

◆長野 長野郷土史研究会

〒380-0905長野市七瀬南部14-7 TELO26-224-2673 年4000円 1964年創刊 www.ianis.or.ip/users/kvodoshi/

◇304 2016.8 A5 72p 800円 表紙・口絵 本会が行う「善光寺 如来絵伝」の絵解きと善光寺参

りの絵解き 小林 玲子

善光寺如来絵伝の絵解き

一文語体・七五調の絵解き 小林 玲子 文語体による善光寺縁起の絵解き

小林 一郎

文語体「善光寺如来絵伝 | 絵解き

台本 小林一郎/小林玲子 「高野辰之日記|を読む(2) 中山裕一郎 瀬下敬忠の未刊稿本(3)

鄙十百韻(乾巻)(2) 矢羽 勝幸

長野市中条出身の諏訪立川流宮大

工一小林歌治 草間 律

森鴎外と信州(3)

山田温泉に滞在 中田 敬三 小松原村 運右衛門評伝 吉岡 知雄

五十嵐梅夫・濱藻父姫と成沢雲帯 雲帯宛て書簡と「草神楽発句部」 から、西国行脚の帰路を考察す

3 塚本 照美

刀八毘沙門天の一考察 土井 重男 生きた町の歴史を知ろう(10) 区

画整理区域周辺の小路・路地一

長野駅前南千歳町界わい 小林竜太郎

矢野恒雄氏を悼む 小林 一郎

◆長野県民俗の会会報

〒399-3301長野県下伊那郡松川町上片桐 2626-24 三石稔方 Tel0265-37-3017

年5000円 1978年創刊 www.k2.dion.ne.jp/ folklore/ ◇39 2016.11 A5 89p

「道祖神」イメージの形成 一石造物を中心に

倉石 忠彦

器物(道具)の供養をめぐって ーその変化と広がり

災害と復興一釜石市両石そして茨

松崎 憲三 堀内 追

長野県の富士信仰

- ЭЩГ I

長野市鬼無里の「財又地区二十戸 共有文書」と諏訪神社の屋台 小森 明里

城県神栖市の復興と日常 日向 繁子

◆長野県民俗の会通信

〒399-3301長野県下伊那郡松川町上片桐 2626-24 三石稔方 TmL0265-37-3017 年5000円 www.k2.dion.ne.jp/~folklore/ ◇255 2016.9 B5 14p

一第200回例会報告 三石 和 「長野県民俗の会 | の先達を訪ねる

(1)—田口光一先生(下) 渡辺

私の一冊 岡野弘彦著『折口信夫 の晩年』 小池 淳一

◇256 2016.11 B5 12p

小串鉱山の暮らし 中崎 隆生 透析室の人びと(承前) 倉石 忠彦 田ごしらえと農具(2) 三石 稔 はがきでつぶやく 大酒供養塔 木下 守

◆岐阜市歴史博物館だより

〒500-8003岐阜市大宮町2-18-1 岐阜公園 内 1元058-265-0010 1985年創刊 ◇94 2016.11 A4 8p 柳津歴史民俗資料室が「原三溪記 念室」にリニューアルオープン しました!

企画展「ちょっと昔の道具たち」 加藤栄三・東一記念美術館「開館 25周年~感謝を込めて~ 所蔵 作品展」

博物館ニュース 夏の子ども教室 「銅鏡を作ろう」を開催しまし

岐阜市歴史博物館蔵「賎ヶ岳合戦

図屛風」雑考(前) 中島 雄彦

三溪画集 第一輯 昭和5年(1930) 岐阜市歴史博物館蔵

◆郷土研究岐阜 岐阜県郷土資料研究協議会 〒500-8368岐阜市宇佐4-2-1 岐阜県図書館 内 TeLO58-275-5111 年2800円 1973年創刊 www.library.pref.gifulgjp/dantai/kyosilen/k_index.htm ◇126 2016.9 B5 28p

美並ふるさと館に保存展示された

小水力発電装置 高橋伊佐夫 平成二十八年度総会講演会「鰻が

京へ運ばれた一近世美濃・尾張

国の鰻の流通・輸送一」 中尾喜代美 瑞龍寺の中世(2) 横山 住雄 里川長良が世界農業遺産に 丸山幸太郎 神戸と河渡地名について 土屋 一 近世における洲原神社の参詣ルー

トを読み解く 養島 一美 故伊藤安男氏を悼む 丸山幸太郎 藤渠漫筆の活字化 横幕 孜 平成二十八年四月二十四日

たかす開拓記念館開館 馬淵 旻修

国府町鶴巣・清峯寺の円空仏を訪

おて 茂住 修中

郷土関係新刊書目録(111)

郷土関係逐次刊行物文献目録(110)

民俗文化研究所 〒438-0086静岡県磐田市見付3532 TELO538-32-3546 年2000円 2007年創刊 www4.tokai.or.jp/child-c.j/ **◇111** 2016.8 A4 4p 300円 遠州の盆行事 吉川 祐子 **◇112** 2016.9 A4 4p 300円 上賀茂神社の重陽の節供 吉川 祐子 **◇113** 2016.10 A4 4p 300円 府八幡宮 命魚奉献の儀 吉川 祐子 **◇114** 2016.11 A4 4p 300円 春岡神社のお神楽 吉川 祐子 **♦ 115** 2016.12 A4 4p 300円

◆月刊通信ふるさとの民俗を語る会

◆静岡県近代史研究 静岡県近代史研究会 〒422-8529静岡市駿河区大谷836 静岡大学人文社会学部法学科 橋本誠一研究室 TEL054-238-4544 年4000円 1979年創刊

吉川 祐子

◇41 2016.10 B5 148p 1500円 第38回総会記念講演録

真宗大谷派の報恩講

今、昭和史から何を学ぶか 保阪 正康 特集 史料紹介・静岡の茶業

フェルケール博物館所蔵「静降

貴族院議員としての業績 清水 実 浜岡原子力発電所佐倉地区対策協

(御前崎市蔵)の内容 竹内 康人 報徳運動の変化

一教化団体としての報徳社 足立洋一郎 藤相鉄道設立における地域利害を

めぐる対立中

7月例会報告要旨 明治初年にお ける西洋法思想の継受ーその日

本的受容の在り方を中心に 橋本 誠一書評 竹内康人『静岡県水平社の

歴史』(解放出版社、2016年) 黒川みどり 静岡県近代史研究会の結成と活動

枝村 三郎



*竹内康人氏の静岡県浜岡原発に関する論考 は、これまで、謂わば闇のように触れられる ことのなかった電力会社から地域への協力金 の流れを、新たに確認された膨大な関係文書 に基づいて追跡したものである。一点は、浜 岡町佐倉地区関係で、金額は40億円にもなる。 文書は浜岡原子力発電所佐倉地区対策協議会 から埼玉大学に寄贈され、その後、移管され た立教大学共生社会研究センターで整理、公 開された。もう一点は、浜岡町が町史編さん 事業で収集した行政文書で、浜岡町と御前崎 町の合併によって御前崎市教育委員会社会課 所蔵の歴史民俗資料となった。この文書から、 36億円の協力金の他に、非公開の確認書や覚 書によって53億円が明らかになった。ところ が、これが発覚すると公開は中止された。 2001年に市情報公開条例が制定されるが、公 開対象はそれ以降のものとされ、この文書は 公開を拒否され、概要を知ることしかできな 中野 希美 い。竹内氏は、資金の実態と真実を公表し、

全貌を市民に説明することは市政への信頼を 生むことにつながるものであり、行政資料は 「重要な歴史資料であるとともに、市民の共 有財産であり、民主主義の根幹とすべきもの である」と指摘する。

◆静岡県近代史研究会会報

〒422-8529静岡市駿河区大谷836 静岡大学人文社会科学部 橋本誠一研究室 年4000円

◇455 2016.8 B5 4p 100円
私立図書館・富士文庫と石橋湛山

加藤 善夫

墓前祭に寄せて 小池 善之

陸軍第三師団経理部・岩田技師史

料 竹内 康人

◇457 2016.10 B5 4p 100円 総会記念講演会レジュメ 近代の 徹底と近代の克服のはざまでー トーマス・マンとルカーチ、亀 井勝一郎と羽仁五郎のことなど

菅山 恭彦

9月例会・大杉栄らの墓前祭報告 小池 善之 『静岡県近代史研究』の国立国会 図書館雑誌記事索引への採録開

始について 橋本 誠一

◇458 2016.11 B5 4p 100円 11月例会レジュメ 「モーゼと呼 ばれた黒人女性─ハリエット・ タブマンの生涯 | に関する研究

上杉 忍

「静近研リポジトリー」の紹介と ご利用のお願い 清水 実 ◇459 2016.12 B5 4p 100円 12月例会レジュメ フェルケール 博物館所蔵「静隆社関係文書」
の史料紹介と国際貿易港指定以
前の清水港について 岡村 龍男
「東京大空襲・戦災資料センター」
を訪問して 鈴木 雅子
計報 初代会長 原口清先生

◆静岡県地域史研究 静岡県地域史研究会 〒412-0043静岡県御殿場市新橋1891-1 厚地淳司気付 年4000円 2011年創刊 ◇6 2016.9 A5 94p シンポジウム記録

近世駿府の歴史的位置 総論 近世駿府・駿河の領主制 や地域社会を考えるために一 「非領国」論の視座から 今村 直樹

基調報告論文 近世初期駿府城下町の構造―

犬山城白帝文庫所蔵の「駿 府絵図」の分析から 増田亜矢乃

会 岡村 龍男 明治前期における静岡藩政と

豪農 杉山 容一

コメント 増田・岡村・杉山報

告について <u></u>
藪田 貫
討論要旨

永正末期~大永期の斯波氏一「東

寺観智院金剛蔵文書」所収永正 十四年歳暮巻数注文の紹介も兼

ねて谷口雄太

今川氏四代と家中への古今伝授に

ついて 土屋比都司

◆静岡県地域史研究会報

〒421-3103静岡市清水区由比750-306 北村啓気付 年4000円 2011年創刊 ◆208 2016.9 B5 4p 例会報告要旨

5月例会 『久能山誌』を読む 近世における久能山東照宮と 惣門番榊原氏 岡村 龍男 6月例会 夏目琢史氏著『近世 の地方寺院と地域社会』の

著者報告 夏目 琢史 夏目琢史氏著『近世の地方寺 院と地域社会』を読んで 杉山 容一 ◇209 2016.11 B5 4p 第36回総会報告 総会/記念講演

「三河から見た今川氏」 愛知大 学教授 山田邦明氏

◆静岡県民俗学会会報

書評会

〒424-0053静岡市清水区渋川1-9-6-101 web.thn.jp/s-folklore/

◇160 2016.8 A4 8p
平成28年度 総会・大会報告

調査報告 沼田の軒花 勝間田仁美 シリーズ食(31) 博物館における

食の体験事業の試み一「農家の 食と年中行事」の事例から 井上 卓哉

♦161 2016.10 B5 6p

ジュニア講座・富士市立博物館共

催 月見団子作り報告 松田香代子 脱穀作業体験と脱穀具

ーせんがまちでの体験から 外立ますみ シリーズ食(31) サクラエビ 川口 円子 静岡県の民俗語彙・方言短信

ゾンキ/ノデバヤ 川口 円子

◆静岡歴研会報 静岡県歴史研究会 〒422-8045静岡市駿河区西島363-55 篠原旭方 TELO54-286-8659 ◇147 2016.11 B5 16p 万歳!! 秩父はまばゆく輝いていた 山高き谷深き神域へ 一泊二日 史跡見学会 大川 誠一 第113回研究会 大畑緑朗氏「十 辺舎一九の父親について」/森 田幸雄氏「琉球の歴史」/松本 検氏「知られざる幕臣高橋泥舟」 暖かい秋日和を楽しむ 蝶が舞う 鞠子巡り 日帰り史跡巡り 大川 誠一

◆あつた 熱田神宮宮庁 〒456-8585名古屋市熱田区神宮1-1-1 ™052-671-4151 www.atsutajingu.or.jp ◇252 2016.10 A5 28p 熱田雑集八 太田 正弘 創祀千九百年記念造営事業の回顧 (9) 小久保雅広

◆郷土研究誌みなみ 南知多郷土研究会 〒470-3412愛知県知多郡南知多町大字豊浜 字須佐ヶ丘5 南知多町教育委員会内 ™0569-65-2880 1966年創刊

◇102 2016.11 A5 88p 500円
表紙 須佐の鯛まつり

「鯛の打ち込み」内田 卓男会長就任あいさつ澤田 利久会長退任のご挨拶相川 成三須佐村の「おきた脇」とお江の記

録 村田 修 南知多町の観光について 内田 恒助

美浜町小野浦境の内海字揚西

内海トンネルの謂れは? 大岩 隆

調達金への春秋(3)

尾張藩の財政事情(1) 加藤喜代吉

信長の「楽市楽座」がなぜ永禄十 年に始められたか一信長の上洛

と経済政策 安原 俊実

原点を振り返る

一内海で過ごした日々 小岩 昌宏

40

四歳児のトラウマ(2012年3月

三和の山里にて) 沢田 誠二 資料紹介 内海尋常高等小学校高 等科女子生徒が書いた明治三八

年夏季の作文(2) 松下 孜

知多半島の雨乞習俗一覧

一記録や伝承から採集したもの

河合 克己

「一色禅門慈雲寺殿恒文」

掛軸の謎を解く 長野修二郎 平成28年度 南知多町豊浜での総

会並びに研修会 鳥居 敏正

ほうろく灸加持祈祷 井際山如意輪寺

万十嵐秀和

◆郷土文化 名古屋郷土文化会

〒466-0064名古屋市昭和区鶴舞1-1-155 名古屋市鶴舞中央図書館

Tel.052-741-9822 年3000円 1946年創刊 ◇**226** (71-1) 2016.8 A5 114p 1500円 拗れる 桶狭間の戦い(1) 屋畑 太三 桶狭間合戦『信長公記』の新解釈

太田 輝夫

武家の婚礼(前編)

- 『鸚鵡籠中記』の記述から 小林 元 『武功夜話』への疑問一吉田家文

書を近世の常識に照らして 松井 雅文 東谷山・尾張戸神社・フルーツパ

ークなどについて 加藤 政雄 史料紹介 瀬戸焼について

一その起源を中心として 大野 哲夫 熱田の近世

一貞享三年告営遷宮にみる 野村 辰美 尾張の秋葉信仰一扶桑町の鷹羽講

を申心にして

小林奈央子

◆新編西尾市史研究 西尾市

〒445-0847愛知県西尾市亀沢町480 西尾 マスイマイと近縁種について

市岩瀬文庫内 西尾市教育委員会文化振興 課 西尾市中編さん担当 TRIO563-56-2459 2015年創刊

♦1 2015.3 A4 83p

『新編西尾市史研究』の発刊につ

榊原 康正

『新編西尾市史』編さんの開始に

あたって 金田 章裕

『新編西尾市史』編さん計画の概要

延暦十八年の昆崙人(天竺人)の参

河国漂着と綿種の伝来 田島 公 付録1 天竹町天竹神社と昆崙人漂

着伝承に関する史料について 神尾 愛子 付録2 西尾市岩瀬文庫蔵『幡豆郡

天竹村旧記』の綿種渡来伝承 林 知左子 付録3 天竹神社所蔵の須恵器壺 三田 敦司 永禄年間の三河国争乱と幡豆小笠

小川 雄

江戸幕府初代京都所司代板倉勝重

の出自と登用 小林輝久彦 小島城について 石川 浩治 資料紹介

板倉重矩編著『自心受用集』

-翻刻と解題 湯谷 祐三

宝永地震の西尾城一『楽只堂年 録』と蓬左文庫所蔵西尾城絵

図 浅岡 優

◇2 2016.3 A4 76p

室遺跡の再検討一掘建柱建物跡の

復元を中心に 鈴木 正貴

地域社会の近代化と農民の"日常"

一幡豆郡幡豆村七番組『牧野日

記』をとおして(1) 岡田 洋司

中世における吉良氏と高氏一室町 期南九州の史料に見る伝承と史

谷口 雄太

西尾市で発見されたヒロマキミズ

松原美恵子/森山昭彦

西尾市の岩石と地質

一主に採石場の岩石から 吉村 暁夫 華蔵寺蔵「禅定尼像」について 本田 光子 常福寺本堂・善光寺堂の仏像一常

福寺阿弥陀如来坐像(本堂本尊)

·阿弥陀如来立像(善光寺堂安

置)の美術史学的調査、ならび

に不動明王立像表面仕上げの自

然科学的調查 山岸公基/青木智史

◆新編西尾市史だより 西尾市

〒445-0847愛知県西尾市亀沢町480 西尾 市岩瀬文庫内 西尾市教育委員会文化振興 課 西尾市史編さん担当 TELO563-56-2459 2015年創刊

♦1 2015.2 A4 8p

鎧池争論裁許絵図 荒木 亮子 『新編西尾市史』の編さん事業に

telt て 榊原 康正 『新編西尾市史』の編さん開始に

ついて 金田 章裕

新編西尾市史編さん計画の概要

こちら考古部会です。 加藤 安信 資料紹介

明治政府の西尾領内巡見 松井 直樹 **♦ 2** 2016.2 A4 8p 蓮池の秋月/矢作古川の帰帆

「江原八景 | より 神谷 浩 田島 公 こちら古代部会です。 こちら民俗部会です。 野本 欽也 こちら自然部会です。 増田 元保

◆人類文化遺産テクスト学研究センター ニューズレター

〒464-8601名古屋市千種区不老町 名古屋大学文学研究科 TEL052-789-5697

川瀬基弘/鳥居亮一/ www.lit.nagova-u.ac.jp/cht/

♦ 2 2016.9 A4 16p

2015年度活動総括 挑戦するCH

T-あらたな人文学の展開へ 阿部 泰郎 2016年度活動凍報

日韓宗教テクスト遺産共同ワー

クショップ 阿部 泰郎

WPI-next

名古屋市蓬左文庫所蔵 朝鮮本

のアーカイヴス化

松山由布子

国際研究集会 日本の文化遺産と

しての絵物語

◆まつり通信 まつり同好会

〒496-8049愛知県愛西市塩田町砂山25 Tel0567-37-0441 年5000円

◇585 (56-5) 2016.9 B5 8p 600円 表紙写真のことば 射名城の豊年

祭 沖縄県大宜味村 坂本 要 東京・南沢の獅子舞 石川 博司

北海道フゴッペ洞窟の線刻岩繪の

解讀上の問題(1) 水原 渭江

第65回全国民俗芸能大会案内/平 成28年度 第58回ブロック別民

俗芸能大会 出演芸能等紹介

資料館の展示と講演情報 豊明市

歷史民俗資料室 企画展 平成 テーマ:オマント-馬を託す神

への祈り

新刊紹介 関東の大凧揚げ習俗

千葉県 無形の民俗文化財記録

第62集 文化庁文化財部

◇586 (56-6) 2016.11 B5 8p 600円

表紙写真のことば 鎌倉光明寺十

夜法要 神奈川県鎌倉市材木座

西米良村の小川神楽印象記(下) 清水 昭男 西都市米良地区・銀鏡神楽の今 田中 青樹

42

坂本 要

北海道フゴッペ洞窟の綫刻岩繪に みる鳥巫の舞蹈―解讀上の問題

幸比古著

水原 渭江 新刊紹介 西賀茂大将軍神社とそ の祭礼 今原嘉麻麿監修 中井

◆伊勢郷土史草 伊勢郷土会 〒516-1103三重県伊勢市津村町786-7 1973年創刊

◇50 2016.9 B5 131p 1500円 本誌五十号の発行にあたって 濱口 主一 伊勢市と近郊の層塔発見 濱口 主一 伊勢市の御師邸遺構 松月 久和 吹上甚句の由来一江戸時代の文献

を申心として 小柴富久子 縄文早期後半の土器相について

一伊勢市周辺を対象として 御村 精治

三重県津市美杉町(旧一志郡美杉 村下多気)漆御壺山経塚と愛知 県新城市(旧鳳来町)鳳来寺山鏡 岩下遺跡出土の経塚遺物の共通

性について 津田 守一

天性の考古学者 豆谷和之くんを

伊勢郷土会だより 松尾観音寺周

恒か 吉田 興治 渡会町歴史散歩拾遺 岡谷 昌行 宮川水運略史補遺 辻村 修一 伊勢郷土会第490回例会 湖北方

面・十一面観音めぐり 阿形智恵子

辺清掃奉仕と学習会 事 務 局

◆皇學館大学研究開発推進センター年報

〒516-8555三重県伊勢市神田久志本町1704 Tel.0596-22-6466 2015年創刊

◇3 2016.11 A4 140p *事業報告のみ

◆織豊期研究 織豊期研究会

〒514-8507三重県津市栗真町屋町1577 三重大学教育学部 日本史研究室内 Tel.059-231-9218 年1500円 1999年創刊 **◇18** 2016.10 B5 88p 1500円 佐竹義宣に見る豊臣大名の出陣と

佐藤 圭 織田信長禁制にみる幕府勢力圏 水野 嶺 合戦時の輸送と宿場一小田原合戦

時の伝馬課役から 山下 智也 書 評

天野忠幸著『三好一族と織田信 長「天下」をめぐる覇権戦争』

津野 倫明

本多博之著『天下統一とシルバ

ーラッシュ』 高木 久史

堀越祐一著『豊臣政権の権力構

藤田 恒寿 跡部信著『豊臣政権の権力構造

と天皇』 尾下 成敏

近 畿

◆湖国と文化 びわ湖芸術文化財団 〒520-0806大津市打出浜15-1 TEL077-523-7133 年2520円 1977年創刊 www.kokoku-bunka-s.ip **◇157** (40-4) 2016.10 B5 92p 584円 《特集 世界にはばたく信楽》 *特集記事略 大津京、万葉をうたう(2)

近江遷都行と額田王

文と曲 林博通/画 鈴木靖将 おもしろ近江考古学(9) 絵馬・

土馬・馬形代(長浜市十里町遺

跡、大津市宇佐山古墳群、高島

松浦 俊和 市上御殿遺跡)

近江の水をめぐる 番外編

文明の水、文脈の水 石川 亮 鳥の目巡游(9)

アナログとデジタル 延木由起子 滋賀文化事情 葛川の太鼓廻し 三宅 貴江 北から南から

懐かしい草津宿本陣 奥野寿美子 雨森芳洲が通った唐人屋敷 赤尾 和美 ラジオ体操が終わるとお寺で朝

清水 貴子

道標は郷土の歴史を語る文化財

直壁 四郎 わたしと湖国(10) 高原鉄道が経

営改善目指し「再出発」した日

に計任 村瀬 優子 白鳥川の秋 吉田 栄治

シリーズふるさと遊彩(11)

北小松・高島 田中陽一郎

歴史の玉手箱(1)

自由民権運動 大月 英雄

三角点の山と私(10)

霊仙山 西山 邦雄 横山岳 二之宮宗太郎

◆彦根城博物館だより

〒522-0061滋賀県彦根市金亀町1-1 Tri.0749-22-6100 1988年創刊 www.hikone-castle-museum.ip **♦114** 2016.9 A4 4p

特別展 コレクター大名 井伊直 亮-知られざる大コレクション の全貌

常設展示"ほんもの"との出会い 一彦根藩井伊家伝来の大名道具 を中心に八○点あまりを展示、 テーマ展 展示室1 井伊家伝 来 狂言の面と装束、企画展 展示室1 参勤交代と彦根藩領 一大名行列を迎えた人々、特別 展 展示室1~3 開館30周年記 念 コレクター大名 井伊直亮 一知られざる大コレクションの 全貌

ガラス乾板写真に写された演能 茨木 恵美

◆民俗文化 滋賀民俗学会

〒520-1121滋賀県高島市勝野1681-5 TeL0740-36-1414 年4800円 1963年創刊 sigaminzoku.fc2web.com

◇635 2016.8 B5 12p 400円

東近江の自然信仰について(前)

一山の神・田の神・野神など 野村 宗一 あやかりの文化 英米日の大衆音

楽と文学の波及(3) 長谷川博美

地蔵さんの涎(よだれ)掛けについ

粕渕 宏昭

木地屋のふるさと 君ヶ畑の民俗

(2) 一東近江市永源寺町 菅沼晃次郎

♦636 2016.9 B5 12p 400円

異郷訪問譚と状況対応リーダーシ

ップ理論の対照一「馴質異化」

と「異質馴化」の観点から 大喜多紀明 東近江の自然信仰について(後)

一山の神・田の神・野神など 野村 宗一 あやかりの文化 英米日の大衆音

楽と文学の波及(4) 長谷川博美 尺貫法時代の「縮尺指し」につい

7 粕渕 宏昭

木地屋のふるさと 君ヶ畑の民俗

(3) 一東近江市永源寺町 菅沼晃次郎

♦637 2016.10 B5 12p 400円

長浜市野村の総沢堀(平成28年度)

と姉川合戦の実像 長谷川博美

異郷訪問譚と状況対応リーダーシ

ップ理論一「崖の上のポニョ」

での宗介の旅を題材に 大喜多紀明

「ウルトラマン」にみられる裏返

し構造一正体を秘匿した異郷へ

の訪問 大喜多紀明

www.kogakkan-u.ac.jp

44

生物の習性を利用(応用)した商品

について 粕渕 宏昭 遺骨を齧った話(補遺) 関 啓司 木地屋のふるさと 君ヶ畑の民俗

た裏返し構造 大喜多紀明 「交差対句法」あるいは「円環詩 法」に見いだされる「対称」の

心性 大喜多紀明穴あきの石について 粕渕 宏昭嫁入り下駄について 粕渕 宏昭米原市役所の書類運搬用自転車に

ついて 粕渕 宏昭 木地屋のふるさと 君ヶ畑の民俗

(5) 一東近江市永源寺町 菅沼晃次郎

◆大山崎町歴史資料館館報

〒618-0071京都府乙訓郡大山崎町大山崎字 竜光3 TmL075-952-6288 1995年創刊 ◇22 2016.3 A4 20p 「摂津名所之図」について 福島 克彦

◆京都民俗 京都民俗学談話会 〒603-8301京都市北区紫野北花ノ坊町96 仏教大学文学部 八木透研究室気付 1m075-491-2141 年4000円 1984年創刊 ◆34 2016.11 A5 100p 「神輿会」研究の課題 一都市祭礼研究の一視点 三隅 貴史 観光まちづくりに地域住民が果た

す役割―長野県遠山郷「神様王 国」への認識と評価を事例に 高木 秀和 1961年頃の〈京都〉における人び との心情―川端康成『古都』の

再検討 常木 佳奈 京都祇園甲部花街の芸 中原 逸郎 書評 橋本章著『戦国武将英雄譚 の誕生』 岡本 真生

◆古代史の海 「古代史の海 | の会 〒573-0084枚方市香里ヶ丘6-4-9 上遠野浩一方 年4000円 1995年創刊 www7.ocn.ne.ip/~kodaishi/ **♦85** 2016.10 A5 64p 1000円 巻頭言 現地の重み 上遠野浩一 高尾山古墳出土鏡とその意義 西川 寿勝 後期群集墳と津とミノ・ミカハ・ ミへ―伊勢神宮はなぜそこに鎮 座するのか 尾関 章 百済観音の飛鳥時代(8) 百済観 音と浄土2(百済観音が阿弥陀三 尊の脇侍であった可能性2) 山下 輝幸 「方~里 | 表記をめぐって(1) 中村 修 古代史研究のレファレンスについ

上遠野浩一

〒606-8048京都市上京区下立売通小川東入西大路町146 中西ビル内
1m:075-462-4292 年8000円 1930年創刊
◇867 (86-7) 2016.8 A5 36p 916円
「京都検定」を検定する(1)
「四神相応の都」 加藤 繁生
日本の塔百選(47) 竹林寺五重塔
中西 亨
「忍性の晩年と遺命」そして「石
エ心阿を考える」(2)(下) 八田 洋子
本会創立八十五周年記念祝賀会記録
第1019回例会 妙心寺の建築 矢ヶ崎善太郎
◇868 (86-8) 2016.9 A5 34p 916円

◆史迹と美術 史迹美術同攷会

文京区本駒込、諏訪山吉祥寺鐘の

鋳物師 日本の塔百選(48) 金剛福寺多宝塔 中西 亨 「京都検定」を検定する(2) 平安京の「洛陽 | と「長安 | 加藤 繁生 第1020回例会 滋賀県・湖東の文 化財を訪ねて 中尾 純子 第1021回例会 京都浄土寺の日吉 神社・直加堂と鹿ヶ谷の文化財 矢ヶ先善太郎 **♦869** (86-9) 2016.11 A5 34p 916円 京都国立博物館蔵「駿馬図」につ いて 寺本 健三 日本の塔百選(49) 石手寺三重塔 中西 亨 「京都検定」を検定する(3) 加藤 繁生 「御池通」の名の由来 第1022回例会 南禅寺境内の文化財を訪ねて 加藤 友規

◆史談福智山 福知山史談会 〒620-0883京都府福知山市本堀1430 中村邦夫方 1至0773-22-2737 ♦ 772 2016.7 B5 4p 福知山史談会 · 緑陰講座 (下篠尾 · 円応寺、8月28日)「福知山藩に 半生を捧げた儒学者・岩渓嵩台 について 講師: 史談会会長 山口正世司 (文責・岡垣) 丸尾山(まるおさん)円応寺 深泥(みぞろ)一人百首 ミツヒデさんの外見(2) 尾松 克巳 ♦ 773 2016.8 B5 6p (株)さとう創業三五〇周年記念年 とその時代状況 河波 司 元伊勢内宮・皇大神社あれこれ(2) 月読神社 岡垣 清己 深泥(みぞろ)一人百首 ミツヒデ

石塚 雄三 | さんの出生(1)/ミツヒデさん の出生(2) 尾松 克巳 ♦ 774 2016.9 B5 4p 大江町の旧平野家に残る史料から 巡見使おもてなし「ある日の献 岡垣 清己 深泥(みぞろ)一人百首 ミツヒデ さんの決意?(1)/ミツヒデさ んの決意?(2) 尾松 克巴 ♦ 775 2016.10 B5 4p 切通しについて 塩見 昭吾 明神鳥居の「額束」について 岡垣 清己 書斎訪問記 塩見行雄氏宅を訪ねる 岡垣 清己 深泥(みぞろ)一人百首 ミツヒデ さんの奥さん(1) / ミツヒデさ んの天下取り(1) 尾松 克巳 ♦ 776 2016.11 B5 4p 舟つなぎ石と七つ森 ~北辰信仰の名残を探る 村上 政市 コラム 江戸時代の辞書「辞林玉 篇大成 | 岡垣 清己 深泥(みぞろ)一人百首 「本能寺 の変」の発端?(1)/ミツヒデ さんの善政(1) 尾松 克巳

> ◆都藝泥布 京都地名研究会通信 〒610-1126京都市西京区大原野上里男鹿町 14-5 入江成治方 №075-331-3431 年3000円 2002年創刊 kyotochimei.wix.com/kyotochimei/ ◇55 2016.9 A4 8p 第43回地名フォーラム報告 大野克二の地名検証シリーズ 京都市域の主要地名検証 大野 克二 私の生まれ育った「紀伊郡伏見 郷の歴史」~不死身の伏見

そこには大池があった 酒井 源弘

プロジェクトワーク「日本の地 名 | 実践報告 山口 均 第44回地名フォーラム開催案内 講演 難読地名・一口(いもあら い)再考/研究発表 相楽の「惣 村 | と地名をめぐって(中津川 敬朗氏)、蟹満寺と雪野寺から 縞田の地名を考える(中島正氏)

北川の川名(4) 小寺 慶昭 修徳地名研究会の歩み 小西 宏之

◆初 音 古代学協会年報 〒604-8131京都市中京区三条通高倉西入ル 菱屋町48 Tri.075-252-3000 2011年創刊 kodaigaku.org **♦6** 2016.8 B5 114p 石蒸し調理実験記録2015-小規模 礫群調理および石器石材加熱実 験(3)をめぐって 鈴木忠司/坂下貴則/ 礫群調理実験グループ

茨城県常陸大宮市赤岩遺跡出土資 料の基本データ 鈴木 忠司 白色土器研究の現状と予察 市川 創

◆立命館大学国際平和ミュージアムだより 〒603-8577京都市北区等持院北町56-1 TEL075-465-8151 1993年創刊 www.ritsumei.ac.jp/mng/er/wp-museum/ **♦68** (24-1) 2016.9 A4 18p スポット ミュージアムの所蔵品 (65) 『あたらしい憲法のはなし』

兼清 順子

巻頭つれづれ

自主規制と配慮の間 安斎 育郎 着任のごあいさつ

敵を制するのは武器と水? 中島 国際平和ミュージアム・平和研究

センターについて

「メディア資料研究会」、始動 田中 聡 新収蔵資料データベース検索シス テム Peace Archives 公開 独立紀念館との交流から東アジア 相互理解への道を考える 勝村 誠 ミュージアムおすすめの一冊 『ナヌムの家のハルモニたち 元日本軍慰安婦の日々の生活』 彗直著 徐滕/金京子訳 **庫浴** 由香

◆歴史民俗学研究 龍谷大学民俗学研究会 〒600-8268京都市下京区七条大宮東入大工 町125-1 龍谷大学 浦西勉究室内 2016年創刊

♦1 2016.11 A5 88p 多田義俊の学問熊度とその影響― 本居官長の学問成立の背景とし

小林 健太 青州龍興寺―その興亡をめぐって

桐原 孝見

東大寺僧徒が見た中世の伊勢神宮

数元 彬

全眞教団と修業一禁忌をめぐって

川股 寛享

貞慶と地蔵信仰について--『沙石 集』巻一の貞慶説話考 吉田 俊介 雨森敬太郎薬房所蔵『覚』につい て一稲生若水との関係に注目し

7 佐古田あい

◆泉佐野の歴史と今を知る会会報

〒596-0845大阪府岸和田市阿間河滝1425 井田寿邦方 TEL0724-28-0204 年1200円 www.eonet.ne.jp/~sanonokai/

♦344 2016.8 B5 12p

和泉の国御家人はなぜ悪党になっ

たか?(下) 堀内 和明 加國 尚志 長滝の中世史(5) 井田 寿邦 滝畑報告(3) 葛城修験の霊場 桶野 修司 たそがれの泉州弁(20) 中野 恒一 **♦345** 2016.9 B5 12p 一休宗純が宿泊した「安松之草舎| - 『一休和尚年譜』の記述の検討

廣田 浩治 長滝の中世史(6) 井田 寿邦 滝畑報告(4) 事務局 たそがれの泉州弁(21) 中野 恒一 **♦346** 2016.10 B5 12p 九条政基の和歌懐紙 廣田 浩治 長滝の中世中(7) 井田 寿邦 各所にみる「役の行者」 北山 理 和泉の中世城郭(43) 井田 寿邦 たそがれの泉州弁(22) 中野 恒一 **♦347** 2016.11 B5 12p 夏の研修旅行の報告 鯖街道から

敦賀そして菅浦へ(1) 勝矢 寛雄 長滝の中世史(8) 井田 寿邦 各所にみる「行基」 北山 理 和泉の中世城郭(44) 井田 寿邦 たそがれの泉州弁(23) 中野 恒一 **♦348** 2016.12 B5 12p

一日本地理志略(1) 岸田 修一 滝畑報告 滝畑の旧社 井田 寿邦 各所にみる「弘法大師」(1) 北山 理 たそがれの泉州弁(24) 中野 怕一 和泉の中世城郭(45) 井田 寿邦

明治初期の地誌書に見る泉州

◆大阪民衆史研究 大阪民衆史研究会 〒599-0223大阪府阪南市光陽台4-5-25 林 耕二 気付 1至072-471-8601 1993年創刊 www.eonet.ne.jp/~minshusi/ ◇**70** 2016.9 A5 132p 1000円 英第37機動部隊による泉州一帯の 空襲-新出資料による 横山 篤夫 忘れられないこと(1931年~1951

森 紀太雄 朝日新聞記者・松崎天民の新聞へ の提言と非戦論一監修・解説 『松崎天民選集 全一〇巻』を 通じて 後藤 正人 大都会に息づく伝統神事一大阪市 福島区海老江八坂神社の宮座 二宮 一郎 日清戦争における軍夫の記録 一大阪直田川旧陸軍墓地から 中下 秀夫 戦後大阪における在日朝鮮人生徒 の教育と公立朝鮮中学校の成立 (下) 赤塚 康雄 グラビア 大阪関帝廟の由緒と年中行事 西宮 一郎

◆大阪歴史懇談会会報

〒536-0008大阪市城東区関目2-3-2 アンテ ィークショップ一兵内 TELO6-6931-1081 年5000円 1984年創刊 osakarekikon.cocolog-niftv.com **♦384** (33-8) 2016.8 B5 8p 巻頭言「神のおやしろのこと | (11) 「神社の守護神 狛犬 |(4) 和久 敦也 平成28年7月例会報告(359) 「二 つの出雲神話 大和朝廷と出雲 国造 | 坂元義種氏 (報告・井川) **♦385** (33-9) 2016.9 B5 8p 「神のおやしろのこと | (12)

ん) | 和久 敦也 平成28年8月例会報告 「海外を夢 見た戦国大名 | (続) - 亀井琉球

「天神(てんじん)と天神(てんし

守:戦国から平和へ 片倉穰氏 (報告・和久)

平成28年度「大阪歴史懇談会定時 総会|開催 **♦386** (33-10) 2016.10 B5 8p

「神のおやしろのこと」(13)

48

「大阪天満宮」 和久 敦也 | 乱」 内田 正雄

平成28年9月例会報告「「満洲」 開拓民の歴史とその問題点 |-満洲農業移民と北海道農法 今

(報告・磯崎)

♦387 (33-11) 2016.11 B5 8円 巻頭言「神のおやしろのこと|(14)

井良一氏

「大阪天満宮」(2) 和久 敦也

平成28年10月例会報告(第362回) 「近世大坂の株仲間と町人社会|

今井修平氏 (報告・朝山)

会員講座・第22回 大谷晃一さん を偲んで 益尾宏之氏

◆大塩研究 大塩事件研究会 〒530-0053大阪市北区末広町1-7 成正寺内 1至06-6361-6212 1976年創刊 ♦ 75 2016.9 A5 75p この言葉(30) 政埜 隆雄

講演録 文政十三年のおかげ参り

・おかげ踊りと大坂周辺地域 山形 隆司 飯嶋和一著『狗賓童子の島』を読

んで 松浦 木遊

天保能勢騒動 首謀者山田大助の 狙いを推理する 首謀者山田大 助と「浮世の有様」の著者との

葛藤を通して(上) 土岐 稔

大塩と私(20)

成正寺 有光友昭師に聞く

聞き手 藪田貫・井上宏・内田正雄 大塩関係資料を読む会テキスト

「難波美家解」について 藪田 貫 資料翻刻「難波美家解 | (1)

大塩の乱関係資料を読む部会

大塩ゆかりの地を訪ねて(5) 「東 海道五十七次 守口宿と大塩平

白井 孝彦 薩摩刀匠 浪平正国一千年秘話

古地図で謎解き!「大塩平八郎の

◆かいづか文化財だより テンプス 貝塚市教育委員会 〒597-8585大阪府貝塚市畠中1-17-1 Tel072-433-7126 1996年創刊

♦60 2016.9 A4 8p

岩橋善兵衛と望遠鏡(1)

- 初めての天体観測

今年からはじまります! 『貝塚市 の70年』を読む会

寄託された吉村家文書(西町)/速 報 上福寺で地蔵堂廃寺の瓦発 見

古文書講座一市内にのこる身近な 古文書 「ぼっかんさんの江戸 参府記|

孝恩寺の仏像―菩薩(5) 文殊菩 薩 重要文化財 木造文殊菩薩 立像 1躯/水間街道沿いの道 しるべ(3) 水間街道道標5

◆家系研究 家系研究協議会

〒675-0101兵庫県加古川市平岡町新在家 1745-203 馬原浩一方 TEL079-424-0921 年5000円 1981年創刊

www.geocities.jp/kakenkyou/

◇62 2016.10 B5 96p 1500円 熊野新宮社家に関する古系図二本

の紹介 宝智 寿男

歌人安原玉樹婚家一族の家系と出

自 安原 繁俊

中田みのる 珍姓のルーツ(27)

比留間氏のあゆみ一三ツ木・比留

間氏編(東京都武蔵村山市) 比留間和憲 三井一族について(上) 馬原 浩一

刀鍛冶の里(8-1) 浪平 博司 ここでちょっとコーヒーブレイク | ◆左海民俗 堺民俗会

募飾柴又の奇跡 馬原 浩一

◆家系研究協議会会報

〒675-0101兵庫県加古川市平岡町新在家 1745-203 馬原浩一方 TELO79-424-0921 年5000円 2002年創刊

www.geocities.jp/kakenkyou/

♦ 58 2016.10 B5 8p

ファミリーヒストリー騒動を考え

馬原 浩一

家系研究協議会 平成28年度夏の 例会報告「石田三成の真実 書 状から見る三成の事績と人柄し オンライン三成会代表幹事 中 井俊一郎氏

珍名さんいらっしゃい(51)

◆近畿文化 近畿文化会

〒543-0001大阪市天王寺区上本町6-5-13 上本町YUFURA 7階

Tel.06-6775-3686 年2200円

♦801 2016.8 A4 10p 300円

高安城と明神山 菅谷 文則 大阪府の戦争遺跡(2) 駒井 正明

◇802 2016.9 A4 10p 300円

大和の禊と垢離の場

池田 淳 一その空間を探る 福井県敦賀市周辺の北陸本線旧線

に残る鉄道構造物 石田 成年 **◇803** 2016.10 A4 10p 300円

飯盛城をめぐる

一龍間・飯盛・野崎 天野 忠幸

奈良市西九条町

倭文神社の蛇祭り 武藤 康弘

◇**804** 2016.11 A4 8p 300円

旧大和鉄道沿線を歩く

〒593-8307堺市西区平岡町268-20 下谷佐吉方 151072-274-1479 年3000円

♦152 2016.9 B5 10p

《特集 母を語る》

母を語る 森井 淳吉 母を語る 下谷 佐吉

母を語る 生駒 道弘

3月例会報告

河内鋳物師の郷を歩く 光田 三生

4月例会報告

桜の和歌山を歩く 山口邦男/尾崎恒夫

5月例会報告 風の森峠から高鴨

神社を経て長柄神社へ 牛駒 道弘

6月例会報告 民話を通して西除

け川を散策する 加藤 孜子

眞野 幹也 7月例会報告 バスツアー

奥琵琶湖を訪ねる 下谷 佐吉 代表退任の挨拶 佐原 浩二 新代表挨拶 下谷 佐吉

◆城だより 日本古城友の会

〒577-0044大阪市西成区玉出中2-11-28 平川大輔方 1至06-6652-4511

webl.kcn.ip/kojyo_tomonokai/

♦ 572 2016.8 B5 22p

7月・第633回例会の報告

伊勢松坂城と城下町を訪ねて 栢木 隆 武蔵・多摩の「お城」巡り 水品 弘樹

別冊 第634回 平成28(2016)年8

月7日 播磨書写山 圓教寺・

秀吉陣所跡 を訪ねて

♦ 573 2016.9 B5 22p

8月・第634回例会の報告 播磨書

写山(圓教寺・秀吉陣所跡)を訪

ねて 川端 義憲

森下 恵介 粟田純司氏から、石積みなどのお

奈良町の石仏をめぐる 狭川 真一 | 話を伺いました 木下 修二

信濃守護小笠原氏城跡・埴原氏探 訪 川端 義憲 別冊 平成28年(2016) 9月4日(第 635回例会) 丹波柏原陣屋と陣 屋町を訪ねる ◇574 2016.10 B5 22p

9月・第635回例会の報告 丹波柏 原陣屋と陣屋町を訪ねる 木下 修二 櫛山城伝説とその真実 田村 紘一 別冊 第636回 平成28年(2016)

10月2日 近江坂本 穴太積みを

探訪する

山を訪ねて

◆つどい 豊中歴史同好会 〒560-0054大阪府豊中市桜の町4-6-27-208 小川滋方 月1000円 1988年創刊 homepage2.nifty.com/toyonakarekishi/ **♦343** 2016.8 B5 20p 高尾山古墳出土鏡とその意義 西川 寿勝 竜山・石の宝殿と周辺の史跡を訪 ねる 山口 久幸 読書室 『河内古文化研究論集』 第二集 柏原市古文化研究会編 一河内地域の考古学・古文化研 究の〈今〉がわかる論文集― **♦344** 2016.9 B5 26p 河内の古道 上读野浩一 **♦345** 2016.10 B5 10p 河内大塚山古墳と安閑・欽明の並

八津川車塚古墳発掘調査
 現地説明会に参加して 小川 滋
 ◇346 2016.11 B5 18p
 学界の動向 現存最古の正史の
 "正式名称"をめぐって
 『つどい』編集委員会
 『日本書紀』と『日本紀』の関係に

『日本書紀』と『日本紀』の関係に ついて一同一史書説の再検討 塚口 義信 古市古墳群北西部の古墳と寺社を 訪ねる 古高 邦子

◆歴史懇談 大阪歴史懇談会 〒536-0008大阪市城東区関目2-3-2 アンティークショップ一兵内 Im:06-6931-1081 年5000円 1987年創刊 osakarekikon.cocolog-nifty.com ◇30 2016.8 B5 111p 1500 《第三十号記念号》

表紙のことば 神楽の衣装 井川 光正 『歴史懇談』第三十号の発刊を迎

えて 片倉 穣 会誌三十号を記念して 田村 紘一 特別寄稿 秀吉朱印「聚楽行幸記」

調査未了を愧ず 渡辺 武 玉山金山(10) 松坂 定徳

石見吉川家十代目 吉川式部少輔

経家(12) 田村 紘一 大坂の陣こぼれ話

一九度山・中山寺の思い出 安居 隆行 松尾芭蕉の人物像

ー漂泊と虚の美学 中澤 祐一 歴史の記録のされ方―モンゴル帝

国の歴史記事から 松田 孝一 弘法大師空海の存在性を検証する

小林 司

浄御ヶ原之皇統之御代 高野天皇

一道祖王廃嫡事件 岩谷 隆行 岸本 直文 日本人はどこから来たのか 道家康之助 山下閣下に投石する捕虜達―細井 末広の「大東亜戦争参戦記」を

読む室田卓雄高野山と説法夏原君代明治の旅日記を読む一肥後熊本か

ノザ 井川 光正

◆神戸女子大学古典芸能研究センター紀要

〒650-0004神戸市中央区中山手通2-23-1 Tex078-231-1061 2007年創刊

◇10 2016.6 B5 198p 《創刊10号記念》

「秀次本謡抄」の面影―養老寺蔵 『養老之注』をめぐって 天野 文雄 土佐少掾段物集と抜本

一付タリ、『建武軍記』紹介 阪口 弘之 役行者千年忌と元禄期の演劇

- 『丹州千年狐』とその関連作

品をめぐって 林 久美子

絵入狂言本『けいせい山椒大夫』 の冷計 豊原 大和小原 都原 川豊 畔

の検討-嵐座·大和山座·都座 川端 咲子もう一つの大典能-大正大礼の京

都における天覧能の頓挫 中嶋 謙昌 神戸湊川能楽堂略史(2)

一大正~昭和初期の神戸 大山 範子 『都誓願寺如来之御本地』紹介と

翻刻 井上 勝志

下田文庫所蔵『謡曲八百番目録

福王盛充奥書』の紹介 関屋 俊彦 江崎家旧蔵資料 横山杣人より江

崎欽次朗直康あて書簡・葉書十

四通(上) 長田あかね

能の教授における「自得空間」 藤田 隆則 書評 橋本裕之著『儀礼と芸能の

民俗誌』 川森 博司

スクナヒコナを顕す神

一案山子薬神考 河田千代乃 私と古典芸能研究センター15年 武藤美也子 神戸女子大学古典芸能研究センタ

- 公開研究会「説教節―情念の

語り物一」報告 井上 勝志

特別講座報告 神戸女子大学古典 芸能研究センター特別講座「説 教節一人は神仏に何を托そうと するのか一」

企画展「わき方福王流の謡と歴史 一江崎家旧蔵資料を中心に一」 展示目録

企画展「京の謡文化とその広がり 一京観世岩井家を中心に一」 報告

◆史料ネット NEWS LETTER

歴史資料ネットワーク 〒657-8501神戸市灘区六甲台町1-1 神戸大学文学部内 TELO78-803-5565 年1000円 siryo-net.jp

♦83 2016.11 A4 12p

熊本における文化財レスキュー 永野 弘明 2016年度歴史資料ネットワーク総

会・シンポジウムの記録 小野塚航一 総会シンポジウム「資料保全と活

用の長い道のり一熊本地震によ

せて」に参加して 澤井 廣次

第11回地域史卒論報告会

地域卒論報告会に参加して 木田 綺音 地域卒論報告会に参加して 嶋 菜津紀 地域卒論報告会に参加して 星 和音

滋賀大学における水損資料簡易修

復ワークショップの実施 前田 結城

立

第2回全国史料ネット研究交流集

会に参加して 小野塚航一

◆摂播歴史研究 摂播歴史研究会 〒676-0004兵庫県高砂市荒井町千鳥2-23-12 Tel.079-442-0658 1986年創刊

♦ 71 2016.11 B5 8p 明治初期守札の発行について一加 東市社鎮座 佐保神社の場合 神崎 壽福

◆丹 波 丹波史談会

〒622-0042兵庫県南丹市園部町栄町3-3-2 上野栄二方 1999年創刊

実業家の目指した学園づくり 城戸 直和

◇18 2016.11 A5 102p 1000円 丹波宍人城跡の評価と小出氏の入

高屋 茂男 大阪の陣と小出氏 河原 信之 永禄12年4月16日付、明智光秀他3

名連署状について 福島 克彦 年表 延徳の丹波一揆(前編) 若江 茂 大福光寺本方丈記の行方 湊 友三郎 日吉町生畑(小畑)多治神社の山の

山本 和美 資料紹介

天神伝説と生身天満宮 パートⅡ

上野 癸二

文化財が伝える京丹波町の魅力

と歴史 浅井 義久

南丹市中世木のせつぶん草紹介

浅田 徹雄

私にとっての学童疎開と終戦詔

小畠 實

◆西宮文化協会会報

〒662-0974兵庫県西宮市社家町1-17 西宮神社内 TELO798-33-0321

♦ 581 2016.8 B5 8p

西宮ゆかりの起業家と公共奉仕・

社会貢献・文化活動の伝統 山下 忠男 「西宮 | 保存箱、玉手箱(32)一情

報公開課資料より 今津灯台 豊田 みか 西宮の田舎に創った、市民ミュー

ジカル劇団『希望』 高井 良純

♦ 582 2016.9 B5 8p

「西宮神社狛犬 | 奉納の氏子達 藤田卯三郎 「西宮 | 保存箱、玉手箱(33)一情

報公開課資料より 甲陽園 大

正時代の建浩物 豊田 みか 六甲山 阿部 達雄

♦583 2016.10 B5 8p

文化講演会「近世西宮神社におけ

る武家の参詣 松本 和明 神々と西宮の神社と杜 山下 忠男 「西宮 | 保存箱、玉手箱(34)一情

報公開課資料より マンボウ 豊田 みか

♦ 584 2016.11 B5 8p

秋の見学会 東播の旅 ご案内 堀内 陽光 「西宮 | 保存箱、玉手箱(35)一情

報公開課資料より チャフラフ

スカ資料 豊田 みか 樽廻船の船名について 藤田卯三郎

◆歴史と神戸 神戸史学会

〒657-0845神戸市灘区岩屋中町3-1-4 田中印刷出版内 151078-871-0555 年3000円 1962年創刊

◇317 (55-4) 2016.8 A5 57p 600円 《特集 前近代のひょうごの風景》

長州藩と「兵庫御備場」(2)

一兵庫津諸寺へ駐屯 竹村 勝昌 『盍簪集』にみる近世北浜の塩浜

風景 歌井 昭夫 江戸川柳による「平家物語」(3) 石川 道子 旧湊川はもう一本あった

一最初の河道は失敗か 中島 豊 | ったのか」を開催して 佐々木健太郎 田岡香逸氏のこと 今村 欣史 わが神職累代の記(15) 自分のこ と(3) 歴史の井戸の奥底へ一 山陰紀行、大震災、そして祝詞 論。 上村 武男 六甲山登山路名称考(3)

一落ちこぼれ集・地名1 阪下 博也 新聞地域版を読む 神戸新聞の文 化財記事(2013年8月27日~10月

17日) 大国正美/有吉康徳 ◇318 (55-5) 2016.10 A5 49p 600円 『播磨国風土記』研究の新動向一

龍宮城から見た『平家物語』成立 の時代一諸本の中の浄土教思想

の変遷を中心に 赤谷 正樹 神の掟と人間の復活 寺本 躬久 「戊辰年五月回銘大刀」と「大徳

山丨 生田 降

六甲山登山路名称考(4)

一落ちこぼれ集・地名2 阪下 博也 江戸川柳による「平家物語|(4) 石川 道子 新聞地域版を読む 神戸新聞の文 化財記事(2013年10月19日~11 月9日) 大国正美/有吉康徳

◆LUCIFFR ルシファー

奈良人権文化財団 水平社博物館 〒639-2244奈良県御所市柏原235-2 TRL0745-62-5588 1999年創刊 www1.mahoroba.ne.jp/~suihei/ **♦19** 2016.10 A5 66p 第16回企画展「親鸞の教えと水平

社運動に関わった人びと | を開

催して 駒井 忠之

第19回特別展「水平社と差別糾弾 闘争―水平社は如何に差別と闘 公開講座報告 2015年度第1回公 開講座「水平社創立と親鸞の思

想 講師:赤松徹眞さん 感想文 博物館実習を終えて 藤

永沙也加さん/訪問感想文 入 賞 山本育子さん

水平社と衡平社の交流

世界の記憶に 駒井 忠之

「全国水平社創立宣言と関係資料」

/世界記憶遺産登録をめざした

取り組みに感謝 駒井 忠之

〒642-0014和歌山県海南市小野田1221-1 前田敬彦方 1998年創刊

♦19 2016.8 B5 100p 2000円 〈小特集 和歌山城研究最前線〉

和歌山城跡における埋蔵文化財調 査の歩み一付 和歌山県の近世

考古学関係主要文献目録 北野 隆亮 文献・絵図からみた和歌山城「三

の丸 | 新谷 和之

和歌山城三の丸整備時の土地利用

とその後の展開 大木 要

和歌山城三の丸東部の造成につい

7 丹野 拓

和歌山城の鯱瓦について 奥村 薫 紀伊半島南部串本町笠嶋遺跡にお

ける津波痕跡の検証―弥生時代

終末から古墳時代初頭の南海ト

ラフ地震について 瀬谷今日子

資料紹介

和歌山県紀の川市貴志川町丸山 古墳出土遺物一旧浦宏収集資

料の図化成果 岩井 顕彦

秋月遺跡出土の淡輪技法をもつ

円筒形埴輪 藤藪 勝理

54

コラム

那智郡内考古学事情 河内 一浩 報告 桃山町元の桃畑から出土し たサヌカイト礫と剥片について

北村 純治

和歌山県の考古学関係文献目録

(2015年)

事 務 局

藤井 寿一

◆熊 野 紀南文化財研究会 〒646-0024和歌山県田辺市学園6-3 濵岸宏一方 TEL0739-25-0657 年3000円 1969年創刊

♦151 2016.11 A5 59p 富田川河口考 山内 恒男 『熊野古道をゆくⅢ一私の備忘録 - 』(2) 「清姫物語 |・その虚実 の狭間から見えてくるもの 宮本 惠司 史料紹介

毛利清雅「奇絶峡保勝に関する 意見書|および県会演説一 「エコロギー」と風景をめぐ る南方能楠書簡(新簡)ととも 岸本 昌也 紀伊新報「人が灰になる火葬場 の話 | (1915年12月7日・9日

◆熊歴情報 熊野歴史研究会 〒647-8555和歌山県新宮市春日1-1 新宮市役所商工観光課 山本殖生 Tel0735-23-3333 年3000円 **◇203** 2016.9 B5 2p 名取市郷土史研究会が来熊/秋の 研修・見学会(11月26日)/「旅 と宗教の文化遺産」関連講演会 / 『祈りの原風景 | / 事務局より

◆国際能野学会会報

付)

〒647-8555和歌山県新宮市春日1-1 新宮市 ―二十世紀初期の波浪地域を中

教育委員会文化振興課 TEL0735-23-3368 年3000円 2005年創刊 **◇26** 2016.9 B5 4p

速玉祭を担う人々

(写真提供:楠本弘児) 蘇理 剛志

◆和歌山地方史研究 和歌山地方史研究会 〒649-6258和歌山県岩出市山980-2-1312 江本英雄方 年3000円 1980年創刊 wakayamachihoshi.hp.infoseek.co.ip **♦71** 2016.9 A5 76p

三上荘別所・願成寺の存立構造 坂本 亮太 紀州吉宗の御座所と御屋敷 藤本清二郎 和歌山藩領における歴史災害の実

熊一沿岸部を事例として 池本 裕行 昭和戦前期 有田郡八幡小学校の

生活綴方教育 田所 顕平 由良洞隧道一日高郡由良町 武内 雅人 薗田香融先生のご逝去を悼む 寺西 貞弘

中国・四国

◆郷土石見

〒697-0034島根県浜田市相生町2139-15 児島俊平方 Tel0855-22-2567 1976年創刊 **◇102** 2016.9 A5 157p 1200円 表紙写真 中国電力株式会社 匹 見発電所本館(益田市匹見町)

文・伯昌俊/写真撮影・森脇晋平 浜田訪問記 丸川久俊(1882~19

58)の足跡を探る 遠部 卓

大田市静間町角津海岸の津波堆積

成瀬 敏郎

森須 和男 天保竹嶋一件顛末

服部之総・佐々田懋と私一佐々田

懋顕彰会・服部之総顕彰会を立

ち上げるまで 飯田 泰三

石東安濃郡における養蚕業の展開

小に 邑智郡の地名の変遷について 富永美恵子 大韓帝国勅令第四十一号と「石島」 の比定問題―「竹島問題100問

100答| 批判(2) 竹内 猛 私の戦中と戦後 鈴木 博也 なつかしさとは波のかなたに一あ

るとしわかいよめイセのものが

たり 山城 健 ヒョウヒョウと 滝本 洋子 町から村から

森川 芳二 伝聞「浜田尽くし」 日本遺産「津和野今昔~百景図

を歩く| 山岡 浩二 石見の博物館を訪ねて(5)一日

原天文台/星と森の科学館 森脇 晋平 郷土で育った昭和の子供 大矢 幸子

◆大社の史話 大社史話会

した上宮の歴史

〒699-0751出雲市大社町杵築西2695-1 稲根克也方 TRLO853-53-4966 年2500円 1974年創刊 www.taisha-shiwa-kai.ip **♦188** 2016.9 B5 52p 出雲大社の建造物シリーズ(4) 出雲大社境外社殿の保存修理工 事について(2) 一調査から判明

文化財建造物保存技術協会 大社神謡とわたし

一大社神謡保存会の二十七年 大国 知正 昭和初年の吉兆さんと番内 馬庭 孝司 出雲糸繰り人形(舌出し三番叟)の

佐藤 収男 中学生出雲弁川柳(平成28年度)

出雲市立大社中学校

消えゆくもの(52)

一出雲弁(灘ことば) 春木 芳子 大社の石造物3 大社沖海難史上

池田 誠一 | 最大の殉難事故の殉難碑 藤原 慧 出雲地域の歴史と文化(11) 立久 恵音頭の由来と現況 立久恵音頭保存会 「日本のわざと美|展 関連企画 展示守り、伝えられた島根の 島根県立古代出雲歴史博物館 田儀櫻井家たたら製鉄遺跡 発掘 調査速報展-越堂たたら跡平成 出雲弥生の森博物館 26・27年度 手錢記念館の四季 今年の「出雲 文化活用プロジェクト | につい 佐々木杏里 書籍紹介 いづも財団叢書第3号 『出雲びとの信仰と祭祀・民俗 芸能 編集部 平成28年(2016)4月~6月出雲市大 社町年表

◆宇喜多家史談会会報

〒700-0826岡山市北区磨屋町6-28 光珍寺内 TRL086-222-2028 年2000円 2002年創刊 **♦60** 2016.10 A4 10p 末裔から見た宇喜多秀家像一関ケ 原·岐阜県白樫村·薩摩牛根郷 を訪ねて 浮田 靖彦 加賀藩前田家による八丈島見継に ついて一享保七年の事例 大西 泰正

第31回 自立(8) 山重十五郎 宇喜多氏関連遺跡の写真展(9) 津下 誠治

◆岡山地方史研究 岡山地方史研究会 〒704-8113岡山市東区西大寺上2-6-36 村上岳方 151.086-942-6156 年1500円 1986年創刊

homepage3.niftv.com/okayama-chiho/chiho/c-main.htm

♦139 2016.9 B5 34p

物語直家記伝 西大寺辺の城

第一七師団の建設をめぐる諸問題

-- 『川陽新聞』にみる

山下

特集・合評会『幕藩政アーカイブ ズの総合的研究』

『幕藩政アーカイブズの総合的

研究』第一編について 山本 太郎 藩政アーカイブズの成果と研究

期待 藤實久美子

「第三編 藩政文書記録の管理

・編纂担当者 | を読んで 小島 「幕藩政アーカイブズ」研究を

考える--『幕藩政アーカイブ

ズの総合的研究』を読んで 三宅 正浩

◆岡山藩研究 岡山藩研究会

〒169-0051東京都新宿区西早稲田 早稲田大学文学部 紙屋研究室内

blogs.yahoo.co.jp/okayamahanwaseda/

◇80 2016.11 B5 10p

〈第23回総会の記録〉 2016.7.9

報告要旨 借財問題と地域社会 日比佳代子 参加記

日々佳代子氏の報告を聞いて 渡辺 尚志 日々報告へのコメント 北村 厚介

◆岡山民俗学会会報

〒703-8421岡山市中区高島新屋敷382-14 難波俊成方 年4000円

okayamaminzokugakkai.web.fc2.com

♦217 2016.11 B5 8p

みんぞく読書会 次田 圭介

池田動物園内 岡山民俗館へ農具

搬入の経緯 次田 圭介 民俗歩く会報告 楫野 史朗

◆きび野 岡山県郷土文化財団 〒700-0822岡山市北区表町1-7-15 702号 Tel086-233-2505

♦143 2016.9 A5 14p

歴中の直実とテレビドラマのはざ

まで 岩谷可奈子 箏の道 星島 淑子

岡山の人物

宇喜多大和守と筑前守 森 俊弘 岡山の自然 枝垂栗 新庄村教育委員会 岡山の文化財

上伊福西公園ラジオ塔 一幡 公平

わが町・わが村の自慢 城西浪漫館(津山市)

ふるさとの想い出 内田百閒記念

碑園標石の片割れ(岡山市)

吉備の国に寄せて

メルヴィオ、ミカ・マルクス

◆芸 備 芸備友の会

〒731-0135広島市安佐南区長東1-4-12-10 小都降方 1973年創刊

♦47 2016.11 B5 80p

三次市段遺跡の再検討 憲明 安芸鈴尾城跡と採集遺物

小都隆/西尾克己/守岡正司

三次市西城川カケハシノ瀬採集の

練鉄 角田 徳幸

講座報告

「考古学から見た郷土の歴史」

講座の報告 芸備友の会 芸備地域の弥生文化の特色 加藤 光臣

資料の検討 広島県北部における 弥生時代中期後半の土器資料に

ついて-土森遺跡・大谷遺跡を

中心に 和田麻衣子

遺跡・文化財の動向-2016(平成

28)年1月~10月 文責・脇坂光彦

◆芸備地方史研究

〒739-8522広島県東広島市鏡山1-2-3 広島

大学大学院文学研究科日本史学研究室内 TELO82-424-6643 年3000円 1953年創刊 **◇303** 2016.10 A5 34p 600円 胎蔵寺本尊胎内施入の元版本『大 乗妙法蓮華経』について 渡邊 誠

書評 和田実著『享保十四年、象、

江戸へゆく 鴨頭 俊宏 新聞記事から(2013年7月~12月) 藤本 理志 広島県の地方史研究

雑誌目録/研究活動

史跡をあるく 長者が原 文・写真 渡邊誠

◆備陽史探訪 備陽史探訪の会

〒720-0824広島県福山市多治米町5-19-8 Tel084-953-6157 bingo-history.net

♦191 2016.8 A4 28p

残された記録・伝承から見た

天文初年の備後国 田口 義之 中世石造物の調査報告 篠原 芳秀 山ノ内城跡簡易測量 山岡 佑佳

福山城の『真田丸』(1) 一城背の寺

社の意味を考える 瀬良 泰三

「備陽史研究 第24集発刊 NEWS」 中国新聞 2016年 (平成28年)6 月2日(木)福山版

田口義之の備後山城50選(6) 典 型的な尾根先端を利用した戦国 山城 大場山城跡

大分便り 四枚の棟札 後藤 匡史 備後国人杉原氏と備中足守藩木下

Æ 木下 和司 古墳講座 指定文化財が語る備後

の歴史(1)(後) 網本 善光

近世福山の歴史講座

水野家臣団(1) 高木 康彦 史料紹介 「福山·松永·尾道 | 地

域の災害について(1) 岡田宏一郎

懐かし写真館 荒川橋

文·写真 岡田宏一郎

1枚の写真から 帝釈で出会った

牛供養碑とやさしさ 文・写真 山本典子 備後史談 榎木峠Ⅳ 明和の一揆

根岸 尚克

辻堂百景(8) 福山市駅家町服部

永谷「中市地蔵堂」 秋山 由実 彦根の山城・佐和山を囲んだ陣城

百々丸山城跡

末森 清司

♦192 2016.10 A4 24p

棟札から見た久代宮氏の系譜 田口 義之 福山城の『真田丸』(2)

一砦としての松廼尾山

瀬良 泰三

山口 哲晶 備後百景 駅家町万能倉 中世石造物の調査報告 篠原 芳秀

近世福山の歴史講座

水野家臣団(2) 高木 康彦

水野家記御預り之覚(1) 根岸 尚克

史料紹介 「福山・松永・尾道|

地域の災害について(2) 岡田宏一郎

辻堂百景(9)

福山市金江町「本谷の堂」

田口義之の備後山城50選(8)

宮氏の拠点のひとつ 亀山城跡

一枚の写真から

石州街道 文・写真 山本典子 大分便り 大友宗麟甚句 後藤 匡史 山城レポ 彦根の山城・佐和山を

囲んだ陣域 物生山城跡 末森 清司 講演会・懇親会に参加して 末森 清司

◆広島民俗 広島民俗学会

〒731-0211広島市安佐北区三入1-26-24 岡崎環方 Tel.082-818-3497 1974年創刊 fs-hiroshima.net

◇86 2016.8 A5 80p 700円 広島県福山市新市町鎮座「素盞鳴

神社」の特殊神事 尾多賀晴悟 尾道・時宗正念寺伝承の「踊り念

仏 林 良司

第87回現地研究会

解説 無形民俗文化の意義 三村 泰臣 講演

「原田のはやし田」の今と昔 松井今日子 報告 「花田植の里を訪ねて | 岡崎 環 参加記

田植行事 石川 律子 日本のお米 松井今日子 はやし田と牛供養 正本眞理子

重要無形民俗文化財「植野神楽|

を拝見する 下畠 信二 沖縄式藍壺による琉球藍製造体験

報告 水野 惠子 弓神楽のCD化にあたり 田中 律子

◆みよし地方史 三次地方史研究会 〒729-4304広島県三次市三良坂町三良坂 2747 中畑和彦方 1510824-44-2753 1987年創刊

♦100 2016.8 A4 12p

《故 藤村耕市氏(本会元会長、顧問)追悼号》

弔 辞 借 別

藤村耕市先生略歴/思い出のアル

バム

私達に伝え残そうとされたもの

山の復権を 藤村 耕市

藤村耕市先生「著作目録」

機関誌100号と101号の内容変更に

ついて

◆わが町三原 みはら歴史と観光の会 〒723-0051広島県三原市宮浦6-9-32 鈴木方 年3600円 FAX0848-63-9932 **♦305** 2016.8 B5 12p 100円 松根油で航空機を 大谷 和弘 会報輯番号一覧

三原市郷土文化研究団体連合会

三原大会の橋本敬一先生講演録

「三原城下町 東町について(要

旨) |(1) 事 務 局

謎の古石塔(2) 大谷 和弘

♦306 2016.9 B5 12p 100円

今月の各地 210日に想うこと 津島 敏子 三原市郷土文化研究団体連合会

三原大会の橋本敬一先生講演録

「三原城下町 東町について(要

旨) | (2) 事務局

歴史に学ぶ野生生物との共存

現代猪鹿垣(ししがき)考(3) 行長 啓三

◇307 2016.10 B5 12p 100円

今月の各地 三原の宝物…遠くに

ありて思うこと 定森 総治

三原市郷土文化研究団体連合会

三原大会の橋本敬一先生講演録

「三原城下町 東町について(要

旨) |(3)

事 務 局

♦308 2016.11 B5 12p

今月の各地

米丸 嘉一

西村 晃

三原市制施行80周年を迎えて 正田 公佑

三原市郷土文化研究団体連合会

三原大会の橋本敬一先生講演録

「三原城下町 東町について(要

旨)|(完結編) 事務局 大谷 和弘

謎の古石塔(完結編)

◇記念号 2016.3 B5 192p

《みはら歴史と観光の会 創立25周年記念輯

索引集(第101輯~第300輯)》

発刊の辞

上田 嘉信

付録 「創立25周年記念行事」の

アルバム 創立25周年記念式典

・講演会のアルバム/創立25周

年記念 湯河原町訪問アルバム

レキカン会報「わが町三原」の記録

表紙集(241~300輯)

目次集(241~300輯)

索引 第一部 101~240輯

索引 第二部 241~300輯

◆山口県地方史研究 山口県地方史学会 〒753-0083山口県山口市後河原150-1 山口県文書館内 TEL083-924-2116 1954年創刊 www.ysflh.jp **♦116** 2016.10 A5 110p 秋穂浦のクルス印文書について 石川 敦彦 長州藩の「公武周旋」と「八・

一八の政変 | への対応一「航海 遠略策 | と「奉勅始末 | の意味

脇村 正夫 長府藩士乃木希典家の系図 田村 貞雄 重盛五六と大浜一国社会主義 布引 敏雄 永代家老益田家の四組について 重田 麻紀 長州藩の山口における幕末・維新

期の住宅事情と『幕末山口市街 図』の性格について一付 小田 村素太郎(楫取素彦)の居宅を尋

ねる 桑原 邦彦

近代招魂社の「人神信仰」につい

7 中原 健

五榜の掲示と木戸孝允 三宅 紹宣 大津郡西深川村における両全教社

の一分社の活動について-板持

村観月分社の迷信打破をめぐる

紛擾史料 木京 睦人

長州鐔チョコレート作り一第一回 歴食 IAPAN サミット in 山口

> 五島淑子/石永雅子 園田純子/北島大輔

萩藩政における役職名「八幡改方」

と機関名「八幡方」 鴨頭 俊宏

「和木町四境の役150年祭記念行事」

を拝聴して

伊藤博文と仏文学者長田秋濤

一新出の古写真を手がかりに 道迫 真吾 岩国吉川氏の婚姻活動

一江戸留守居役の行動と家格 正中 克麿 地方史文庫・受贈図書目録/山口 県地方史管見文献目録

◆徳島県立博物館ニュース

〒770-8070徳島市八万町向寺山 文化の森 総合公園 TeL088-668-3636 1990年創刊 www.museum.tokushima-ec.ed.ip

♦104 2016.9 A4 8p

表紙 唐松に麒麟図 大橋 俊雄

中世の四国辺路と宿一四国八十八

か所の前史をめぐる仮説 長谷川賢二

企画展 徳島藩絵師のすがお一伝 えられた絵手本や写しから―

野外博物館

身の回りの植物を調べよう! 茨木 靖 情報BOX 学校教育とつながる

博物館~教員のための博物館の

直鍋 憲人

Q&A なぜ埴輪は古墳の上に飾 られるようになったのですか?

岡本 治代

◆遺 跡 遺跡発行会

〒791-2101愛媛県伊予郡砥部町高尾田1108 -3 そがめ塾気付 1至089-905-292 1968年創刊

♦50 2016.9 A 4 364p 1900円 巻頭言 『遺跡』第50号の出版に あたって 付・50号発行までの

遺跡発行会

《特集 愛媛の古代装身具》

名本二六雄 古代伊予の装身具

名本二六雄 東予東部の古代装身具

兼田 和弥 東予北西部の古代装身具 正岡 睦夫 道後平野西部の古代装身具 山之内志郎 道後平野東部の弥生・古墳時代の

装身具 西村 直人 道後平野南部と久万高原の古代装

身具 十亀 幸雄 南予における古代装身具 清水 真一 愛媛県古代装身具出土遺跡一覧表

遺跡発行会

松川市丸川古墳の墳丘測量報告 遺跡発行会 松山市(旧北条氏)浅海丸山古墳の

箱式石棺-愛媛県中予地方にお ける特異な花崗岩系箱式石棺群

の抽出 井出 耕二 愛媛県の漢式鏡(4) 名本二六雄 道後平野南部の大型古墳 正岡 睦夫 素鵞神社古墳と米山日記 善永 光一 愛媛県内出土埴輪の胎土分析(4) 白石 愛媛県伊豫市市場南組窯跡出土須

恵器ほかの胎土分析 白石 愛媛県の古墳出土石室石材の産地

推定(1) 白石

別子銅山歓喜間符西採集の備前擂

白石純/十亀幸雄 伊予における凝灰岩製宝塔(2)

道後平野の中世凝灰岩製宝塔 十亀 幸雄 遺跡発行会だより

出版物案内/受贈図書/例会: 会務報告(20151~201512) 『いせきニュースレター』目次 (75号~86号)

◆伊予史談 伊予史談会

〒790-0007愛媛県松山市堀之内 愛媛県立図書館内 1915年創刊 **◇383** 2016.10 A5 49p 750円 《特集 愛媛の災害》

愛媛県の地震史

一昭和南海地震を中心に

考古学から見た愛媛県の地震災害

柴田 昌児

宇和島領御荘組における安政南海

地震の地震・津波被害 柚山 俊夫

新刊紹介 山内讓著『豊臣水軍興

例会記事 第1213回~第1215回

亡史』、矢野徹志著『近世伊予 の画人たち-愛媛近世絵画の諸

流』、松平みな著『穣の一粒』 高須賀康生 編集部(柚川傍夫) 郷土その日その日

> 受視期の地震史 --詳細由海地震を中心に------大 本 秋 久一 l 考古学から見た変観の地震災害------景 田 昌 地-22 字和島領軍石組における 安政市後地震の地震・津波教書 …美 山 女 太…22 383号 平成28年 10 月 号

*特集「愛媛の災害」で、「愛媛県の地震史 一昭和南海地震を中心に|を執筆された大本 敬久氏によれば、一般に愛媛県は気候が温暖 で災害が少ないとの言説が聞かれるという。 三陸海岸の津波は別として、近年大きな自然 災害を被った地域で同様なことが言われた。 そうした言説は、人間の記憶と体験の範囲に 留まるものと思う。大本氏の調査によれば、 主な地震だけでも19回、即ち70年に一度の割 合で発生している。しかも震源の半数は南海 トラフである。さらに、昭和元年から平成28 年までの90年間を細かく見れば、震度4以上 が30回、3以上は173回になる。愛媛県は災 害が少ない県と断言できず、「歴史学や民俗 学等では、これまで愛媛県内の被害状況を具 大本 敬久 体的に集積したり、市民に向けて情報発信し たりするということが充分ではなかった」と 指摘する。柴田昌児氏は、幸の木遺跡の噴 砂・噴礫を分析し、考古学では過去に起こっ た災害の痕跡を抽出し、人間活動の関連性を 明らかにすることができる」と提起する。柚 山俊夫氏も、江戸末期の地震調査から、「地 域史は、過去の大地震・津波による甚大な人 的被害の記録を残していない」と述べる。三 氏の論者は、歴史学、地域史、民俗学、考古 学など学問のあり方と可能性を示したものと いえる。

◆秦史談 秦史談会

〒780-0023高知県高知市東秦泉寺283 松本紀郎方 1至088-875-6671 1984年創刊 **♦187** 2016.8 B5 62p 表紙説明 軒丸瓦出土(中秦泉寺)

松下 政司 私と短歌 大岸由起子 馬糞通り 瀬戸 光 キウリを食べてください 岡林 長冨 山本順三さん 千頭 將宏 「歳月、人を待たず」 田中小夜子 現代の寺田屋騒動 松本 紀郎 田島清、追記 千頭 將宏 ドレー機不時着事件 山本 孝男 谷秦山の家訓に学ぶ 広谷喜十郎 龍馬の剣術修行と千葉佐那(5) 岩崎 義郎 野口雨情作詞の童話など(5) 溝渕 匠 秦・史跡めぐり余滴(20)

(松本) - 秦泉寺古墳群の現況(1) 夏山晚歌 毛利 俊男 紀貫之とその時代 笹原 保博 流人大名顛末記(その残映を求め

て) (1) 三浦 明彦 古記録に見る諸事(3) 刃傷事件

一細川越中守切られる 鍋島 静一 キウリのはなし 岡林 長冨

楠瀬 豊子 吉野山行き(2) 東京下町

昭和三十年代の思い出など 千頭 將宏 秦・史跡めぐり余滴(21)

- 秦泉寺古墳群の現況(2) (松本) ハーモニカ替歌 大岸由起子 永六輔さんと中年御三家 松本 紀郎

中島氏詮(なかじまうじのり)鍛造

秦泉寺廃寺跡発掘(第七次調査)

見聞メモ 松本 紀郎

原田 英祐

永野美智子

猪野々から(3)

記録より

桜と雪を見るたび 今戸 道子

秦・史跡めぐり余滴(22)

一福岡宮内孝茂 (松本)

岡村庄造氏拓本集から(38) **♦188** 2016.11 B5 63p

表紙説明 よさこい秦演舞場(前里) 松本 紀郎 千葉佐那の墓 補足 岩崎 義郎 山川菊栄と中江兆民 千頭 将宏 醤油の話 鍋島 静一 差別暴言 松本 紀郎

(48)北谷の巻 丸岡の地蔵様

(49)北谷の巻 天智天皇伝説

風切り古鎌信仰など 広谷喜十郎 福岡と博多は二つの市街である 笹原 保博 大宰府延寿王院 岩崎 義郎

秦・史跡めぐり余滴(23)

—柏井貞愼妻子墓

寺名のつく町村

秦の昔話

秦泉寺(寺院)はあったのか? 松本 紀郎 旧制城北、海南中学の合併問題に

ついて 大岸由起子

ベースボール 大リーグ見聞記(1)

千頭 將宏

秦・史跡めぐり余滴(24)―大町桂

天武天皇(684)時代から平成13年(2001)まで、

月「三十八年ぶりの故郷」 流人大名顛末記(その残映を求め

 τ) (2) 三浦 明彦

戦史(30) 岸壁の母(1)

新二よ 会いたいよ 毛利 俊男 紀貫之と四国路(1) 溝渕 匠 「許し」

ーモンテンルパの夜は更けて 松本 紀郎 秦ふれあいセンター・高知市生涯

学習課主催「歴史講座」資料 平27.12.5 片岡健吉と自由民権

運動(2) 公文 豪

岡村庄造氏拓本集から(39)

南宗深尾家の墓石修復報告 竹政 修治 お龍の最期は決して不幸ではなか

った… 長島 伸郎

九州・沖縄

◆季刊邪馬台国 梓書院

〒812-0044福岡市博多区千代3-2-1 麻生ハ ウス3階 151092-643-7075 年5400円 1979年創刊

◇130 2016.8 A5 208p 1250円 めでたさも、中くらいなり 河村 哲夫 考古学から見た邪馬台国大和説へ

の疑問(3) 関川 尚功

時事古論(4) 再論詳説・洛陽で発

見された「三角縁神獣鏡」

連載(1) これは、やはり、現代

中国での捏造鏡である 安本 美典 〈総力特集 奴国の時代 第3弾!〉

奴国の時代(3)

―北部九州のクニグニ 編集部 遠賀川流域と「奴国」の関係

嶋田 光一 一立岩遺跡を中心に 奴国の南東、朝倉地域の「王(首

長)| 川端 正夫

伊都国の墓制とその展開 岡部 裕俊

考古学最前線レポート 佐賀平野 の拠点集落 弥牛時代後期の吉 野ヶ里遺跡の様相を周辺遺跡の

動向 細川 金也 考古学入門(4) 甕棺墓(下) 澤田 康夫 物部氏と尾張氏の系譜〜上代古典

の神・氏族・自然~(3) 饒速日

命と三十二神の東遷 志村 裕子 ブッダへの道(16)一法題が見た五

世紀初頭のアジア 河村 哲夫 オトナ女子のコラム 晴れ、とき

どき、古代史 藤江かおり

筑前一宮住吉神社における祭祀空

東 久仁政 間の原像

諏訪大社御柱祭及び信濃と越の国

をたどる旅 森本 保孝

◆九州史学 九州史学研究会

〒812-8581福岡市東区箱崎6-19-1 九州大学文学部日本史学研究室内 Tri.092-642-2375 1956年創刊

www2.lit.kyushu-u.ac.jp/~his_jap/kyushusigaku/

♦175 2016.11 B5 63p

鎮西における御家人制の受容一宗

像大宮司職相伝論理の確立 野木 雄大 2015年度九州史学研究会大会公開講演

近世大名の成立過程

一徳川政権の武家編成 三宅 正浩 制度論的政治史試論

- 4つの制度から考える 清水唯一朗 2015年度九州史学研究会大会

研究発表要旨

対馬藩朝鮮方の成立について

藤本健太郎

日露戦後の海軍拡張問題

一斎藤実海相を中心に 小倉 徳彦 伊波普猷の1900~1920年代に

おける思想について 竹内 太郎

満州における在来農法と北海

道農法 海 阿虎

律令国家による勲位制度の運

古川 順大

蒙古襲来における宗像大宮司 家一宗像長氏による大宮司

相伝論理の確立 野木 雄大

肥前龍造寺氏の起請文利用と

その受容 津江 聡実

◆末鷹国 松浦史談会

〒847-0824佐賀県唐津市神田2118-1 Tel0955-73-3549 年2000円 1962年創刊

♦207 2016.9 B5 20p

木造観世音菩薩坐像 志佐 惲彦 善達司先生の死を悼む 志佐 惲彦

戦後七○年郷土史の視点 中里 紀元

初回の遺唐使は筑紫首長国連合が

派遣した? 末盧国はその連合

の重要な構成員であった 堀川 勝英

松浦文書類に見える寺沢広高関係

中料 寺沢 光世 「松浦潟」、諸相に見る風景賞翫 田島 龍太 原田伊予と天草島原の乱一原田氏

の流転と唐津藩の行方(2) 寺村 朋輝 松島の歩み(ロザリオとオリーブ

が結ぶイタリアンレストラン) 熊本 典宏 庄屋文書を読む(1)

―その魅力と意義 山田 洋

◆浜木綿 五島文化協会

〒853-0052長崎県五島市松山町604-10

筑田俊夫方 TELO559-74-2667 ♦ 102 2016.11 A5 120p

虚子句碑建立・除幕式ドキュメン

ト/虚子句碑建立記念祝賀会(抄)

東京に坐して五島に通う日々 松原

謡曲との出会い-60余年来の趣味

の世界に想う 山中 彦昭

大坪 昇平 思い出のある風景

タヒロ先生の診療所 石田ちとえ

五島の潜伏キリシタン史

一久賀島の集落形成をたどる 内海 紀雄

二〇二〇国際ツバキ会議五島大会

・全国サミット五島大会開催に

当たり五島文化協会会員の皆様

にお願い 比留木忠治

五島を通った遺唐使(5)一大使不 在の宝亀の遺唐使と送唐客使の

派遣 櫻井 隆

近況報告 「わたしの この頃 |-「五島を世界遺産の島に」掲示

活動 片山 圭弘

コラム 直葬/「俳句交流大会」

始末記/合掌/ハラハラ男 (盆)

◆宮崎県地域史研究

宮崎県地域史研究会

〒880-8520宮崎市船塚1-1-2 宮崎公立大学 大賀研究室気付 TeL0985-20-2000

罐の比較をめぐって 石黒ひさ子

相一東臼杵郡と北諸県郡 竹村 茂紀

年3000円 1993年創刊

♦32 2016.11 B5 43p

宮崎出土の経筒と陶製経筒・墓誌

宮崎県における実業補習学校の諸

2015年度宮崎大学・宮崎公立大学

卒業論文要旨

2015年度宮崎県地域中研究会研究

発表題目

◆宮古郷土史研究会会報

〒906-0013沖縄県平良市下里1223-8 下地和宏気付 TEL0980-72-9963 1977年創刊

♦216 2016.9 B5 8p

9月定例会レジュメ 『根馬氏系図 家譜正統』の記録「年数久遠而 勉職位階生卒不詳」を考える 下地 利幸 10月定例会レジュメ

伊良部島の文化財を巡ぐる 久貝 春陽 「貢反布の賦課」について

~7月定例会を終えて 下地 和宏 忠導氏仲宗根家関連史跡巡りをお

えて~8月定例会のまとめ 久貝 弥嗣 第11回市民総合文化祭郷土史部門

伊良部地区の史跡巡り 久貝 弥嗣 宮古島市総合博物館 第30回企画

展 「宮古の危険生物」の紹介 寺崎 香織 浦底遺跡発掘調査概報

一沖縄国際大学考古学研究室 宮城 弘樹 稲村賢敷『倭寂史跡の研究』に学

ぶ(2) 下地 和宏

埋蔵文化財公開活用事業 第2回文 化講座 グスク時代に拓かれた 新たな交易ルートー出土陶磁器 から考えるグスク時代の物流 久貝 弥嗣 ◇217 2016.11 B5 8p

11月定例会レジュメ 発掘調査に みる宮古島市内の自然災害への

考察 久貝 弥嗣

12月定例会レジュメ 太平洋戦争 における宮古島市内の三つの飛

行場利用と関連戦争遺跡 久貝弥嗣/他 9月定例会まとめ 『根馬氏系図家

譜正統』の記録 「年数久遠而

勉職位階生卒不詳」を考える 下地 利幸 10月定例会まとめ

大和神屋御嶽・国仲砂川の壕 久貝 弥嗣 子ども博物館第四回講座「貝でア

クセサリー作り」の紹介 寺崎 香織 第11回市民総合文化祭郷土史部門

伊良部地区の史跡巡りを開催 久貝 弥嗣 稲村賢敷『倭寇史跡の研究』に学 ぶ(3) 下地 和宏

高い評価の文化協会 鳴りとうゆ ん宮古方言大会 県表彰で盛大

な祝賀会 仲宗根將二

追悼 松原清吉大兄を悼む 仲宗根將二

寄贈図書紹介

◆3.11 震災地にて「被災」をたねる

『道鏡を守る会』36号別冊として 本田義幾著(〒989-6156 宮城県古川市古川 西館3-4-35 TeL0229-22-7364)2016年9月 A 5 76頁 500円

1985年4月に発足した道鏡を守る会の事務局を担当している著者が、東日本大震災の被災地を訪ね歩いた記録。5年間ほぼ月刊で発行している「通信」を中心にまとめる。被災地をたねるなかで(2013年7月)/東日本大震災の現地を歩いて(2011年)/震災をじかに見て知って頂きたいです一被災地を回って(2011年)/通信を発行してきて(2011年)/三陸はどこ?(2012年)/再度大川小のことで(2012年、16年追加)/あの時を今(2016年)/掌編創作(2011~2016) けいれい、あんこ、こいのぼり、シャボン玉、サインボール/ふくしま(2013~2014)

◆図書館指定管理者制度

北方風土ブックレット1

稲雄次編著 北方風土社(〒019-1541 秋田 県仙北郡美郷町土崎字上野乙1-254 TEL0187-85-4027)2016年8月 A5 37頁

広域自治体の都道府県の公立図書館への調査 を中心に、全国各地の公立図書館における図 書館指定管理者制度の実態をまとめる。図書 館指定管理者制度の生成/図書館指定管理者 制度の展開/図書館指定管理者制度のガバナ ンス/図書館指定管理者制度のリスクマネジ メント/図書館指定管理者制度導入状況/表 図書館指定管理者制度導入館名簿、図書館指 定管理者制度種別統計

◆自在院史料集6 会津と大願憲海

仏教図像·田村月樵道釈画調査報告 松尾芳樹著 阿住義彦編 真言宗豊山派自在 院(〒965-0031 福島県会津若松市相生町2-18) 2016年9月 A4 189頁

会津有縁の律僧「林岳房憲海 号 無言蔵 大願」の事績を顕彰するとともに、大願師の 門弟「大成憲里」「田村宗立 号月樵」について、京都市立芸術大学芸術資料館学芸員の 著者が紹介する。〔解説篇〕 第一部 会津と 憲海(はじめに、資料は語る、会津の憲海、 田村宗立の道釈画、おわりに)/第二部 自 在院の絵画(憲海に連なる絵図、自在院の仏 画、田村月樵の道釈画、近代会津の仏画)/ 資料目録(憲海に関わる絵画・版木、自在院 所蔵仏画、田村月樵作品、会津作家による近 代仏画)/付表 田村宗立月樵の主要印

●"大学诵信・講座"集録

福島自由民権大学25周年記念出版 福島自由民権大学25周年記念出版事務局編・刊(〒966-0007 福島県喜多方市東桜ガ丘 2-89 山崎四朗方 TELO241-23-3479)編集: 山崎四朗・森田鉄平 発行責任者:赤城弘 2016年10月 A4

第 I 集 2000年~2003年 270頁 第 II 集 2004年~2006年 328頁

第Ⅲ集 2007年~2010年 224頁

1981年(昭和56年)の「自由民権百年運動」(横浜・東京・高知における全国集会)をうけて開学された福島自由民権大学25周年記念出版。開学10周年記念出版「"大学通信集録1991年~1999年)」(2001年9月30日)の続刊として、2000年(平成12)~2010年(平成22)の11年間の活動を三分冊にて刊行する。福島自由民権大学開学25周年に寄せて(安在邦夫)/福島自由

民権大学入会の頃と今(鈴木吉重)/福島自由 民権大学に期待すること一「大学通信集録」 第二集の刊行によせて(小島喜一)/25年目の 福島自由民権大学にまなぶ(高島千代)/福島 自由民権大学いわき分校(郷武夫)/福島自由 民権大学25年の想い(田崎公司)/付表1 福 島自由民権大学・開講講座一覧

◆古文書解読集9

守谷古文書サークル編・刊 (TeLO297-45-2161) 2016年10月 A4 298頁

茨城県守谷市において、市内に保存されている古文書の解読を中心に活動している守谷古文書サークルによる古文書解読集第9集。齋藤家文書(守谷町)の中から安政5年(1858)「御用留」を、影印版と解読文・読み下し文、用語の解説を付して収録する。コレラ(暴瀉病)の流行、井伊直弼の大老就任、将軍徳川家定薨去と家茂将軍就任という幕末への大きな動きを象徴した安政5年の公私の出来事を書き留めた貴重な記録である。はじめに(大湊徳治)/御用留(原文、解読文・読み下し文、用語の説明)

◆黒羽藩主大関氏の教養と文化交流 大田原 市黒羽芭蕉の館平成28年度企画展図録

大田原市黒羽芭蕉の館・刊(〒324-0234 栃木県大田原市前田980-1 Tan 0287-54-4151) 2016年10月 A4 79頁

黒羽芭蕉の館の企画展(10月26日~12月11日)の展示図録。大田原市黒羽芭蕉の館所蔵の黒羽藩主大関氏伝来「大関家文書」約2300点を中心に、歴代藩主の伝書類・和歌・絵画・書状・書籍など132点を展示し、大名の基本的な嗜みであった学問・武芸といった教養や文化交流の一端を紹介する。戦国武将大関高増と大蟲宗宸、黒羽藩三代藩主大関高増と里村玄仲、七代藩主大関増興の文武二道と幅広い文化交流、八代藩主大関増備と弓道・軍学、九代藩主大関増輔の剣術修業と「楽訓|書写、

十代藩主大関増陽の文武二道と蔵書(漢籍)、 十一代藩主大関増業の教養と文化活動、十二 藩主大関増儀と小泉斐の交流、十四代藩主増 徳の蔵書(漢籍)、十五代藩主大関増裕の宝蔵 院流修業と西洋兵学、十六代藩主大関増勤の 蔵書(和書)/資料解説/釈文

◆企画展示 身体をめぐる商品史

国立歴史民俗博物館編・刊 (〒285-8502 千 葉県佐倉市城内町117 Tm:043-486-0123) 2016年12月 A4 125頁

国立歴史民俗博物館の企画展示の展示解説図 録。身体に関わる生活習慣や美意識をテーマ に、近代以降のさまざまな関連商品の実物と 広告を通して、時代とともに変わっていく健 康・衛生・美容観を紹介する。百貨店の誕生 と身体の商品化(百貨店の誕生と消費文化の 広まり、商品の多様化と規格化、地方への普 及と大衆化)/流行の創出と「伝統」の発見 (花開く流行、「江戸」の発見)/健康観の変 遷(レジャーの流行、体操とスポーツの流 行)/衛牛観の芽牛え(「衛牛」以前、洗う習 慣と石鹸の多様化、磨く習慣の変化)/美容 観の変遷(伝統的な美意識の中の美容、欧米 化による美意識の変化、個性化の時代へ)

◆季節の民俗誌

野本寛一著 玉川大学出版部 (〒194-8610 東京都町田市玉川学園6-1-1 1至042-739-8935) 2016年7月 A5 465頁 4800円

人びとが生活・生業の時宜判断を自然の変化 のなかに求め、伝承されてきた「自然暦」 と、季節の民俗誌を語る上で欠かすことので きない雪と人とのかかわり、「もうひとつの 雪国の春 | についての聞き取りを柱にした環 境民俗学の礎を担う書。平成27年度文化功労 者顕彰受彰。序章 めぐりくる季節のなかで /雪国の春(堅雪の気配-春微動、キドい山 菜を食べる、ツララの長さとその変化、渡り

| まいのくふう、ムケの朔日を追う)/籠る季 節の民俗(生きものの冬籠り、トコロの力、 ナマハゲ・カセドリ、始原の年とり食、冬に 備える食)/冬を迎え、冬を送る一その行事 の深層(大師講、膝塗り、コト八日と太陽) /自然暦と季節の伝承(自然暦、季節の伝 承) /終章 季節の風を受けて

◆空襲被災者運動関連資料目録2

全国戦災傷害者連絡会『傷痕』記事総目録 大岡聡・植野真澄・山辺昌彦・赤澤史朗・松 田英里著 政治経済研究所付属東京大空襲・ 戦災資料センター 戦争災害研究室 (〒136-0073 東京都江東区北砂1-5-4 1至03-5857-5631) 2016年9月 A4 66頁

共同研究「戦後都市社会における空襲被害者 運動の歴史学的研究 | の成果のひとつとして 東京大空襲・戦災資料センターが収集してき た空襲被災者運動関連資料についての目録第 2集。空襲被災者運動の中で最も活発な運動 を続けてきた全国戦災傷害者連絡会の機関誌 『傷痕』の記事をまとめた総目録である。生 き證人のつぶやき(杉山千佐子)/口絵 『傷 痕』表紙、全国戦災傷害者連絡会の活動風 景、全国戦災傷害者連絡会などの書籍/はじ めに(大岡聡)/解題 全国戦災傷害者連絡会 『傷痕』について(植野真澄)/『傷痕』刊行一 覧 No.1~37、全傷連ニュース1・2

◆品川歴史館特別展 品川産業事始

一日本を支えた近代産業群

品川区立品川歴史館編・刊(〒140-0014 東 京都品川区大井6-11-1 ™03-3777-4060) 2016年10月 A4 152頁

品川区立品川歴史館の平成28年度特別展(10 月9日~12月4日)の図録。明治から昭和にか けての近代化・現代化推進の中心となったさ まざまな品川区の産業の足跡をたどる。幻の 県 品川県/目黒川に開けた近代産業誕生の 鳥の去来、ブナと熊) / 季節対応の民俗(住 │ 地一ガラス・耐火煉瓦 / 江戸野菜の地から大

規模農園の地へ一妙華園・三井農園/大崎駅 と目里川周辺に広がる丁場・会社―大崎地域 の工場・会社/鉄道院大井工場誕生と大井地 域の発展-大井地域の工場・会社/その後の 工場の行方一クリスマス電球・品川区の産業 製品/付録「最新調査 東京府下 大崎町全 圖・品川町一部 │ 大正14年12月25日発行

◆地名でたどる水害大国・日本

祥伝社新書471

楠原佑介著 祥伝社(〒101-8701 東京都千 代田区神田神保町3-3 TELO3-3265-2081) 2016 年7月 新書 247頁 800円

古い地名や伝承からみる歴史上の地震・災害 についての関心が高まるなか、地名研究の第 一人者である著者が『この地名が危ない 大 地震・大津波があなたの町を襲う』(2011年 12月、幻冬舎新書)などで提唱する「災害地 名学 | の観点から、さまざまな地名に刻まれ た水害の歴史を紹介し警鐘を鳴らす。はじめ に なぜ、水害は頻発するのか/古代以来の 沼地を都市化した愚/地下街・地下室"水青 め"の恐怖/『岸辺のアルバム』の悪夢/古 代都宮の周辺は"水浸し"の地だった/災害 のデパート・名古屋の宿命/"坂の町"長崎 がなぜ危ないか? / 「緑の丘 | 願望の破綻/ 江戸前期、熊沢蕃山の先見の明/シラス台地 で繰り返される悲劇

◆東京復興写真集1945-46

文化社がみた焼跡からの再起

東京大空襲・戦災資料センター監修 山辺昌 彦・井上祐子編 勉誠出版 (〒101-0051 東 京都千代田区神田神保町3-10-2 ™03-5215-9021) 2016年7月 A4 410頁 10000円 東京大空襲・戦災資料センター所蔵「青山光 衛氏旧蔵東方社・文化社関係写真コレクショ ン」と、東方社・文化社に所属した菊池俊吉・ 林重男両カメラマン所蔵の写真から、敗戦直 後の東京の人々の暮らしと復興の様子を撮影

した約750点の未公開写真を含む840点の写真 を収録。戦争中の東方社の後継として1945年 10月頃から2年ほど活動した文化社の日本人 カメラマンによる貴重な写真集である。『決 定版 東京空襲写真集―アメリカ軍の無差別 爆撃による被害記録』(2015年1月刊)の続編に あたる。街頭風景1 (露店・通行人)/街頭風 景2 (駅·商店看板)/復興祭·行事/社会事 業, 戦災者/教育, 文化/公園, 寺社, 建物 /解説・資料 文化社の足跡と文化社写真の 歴史的意義(井上祐子)、文化社の写真にみる 東京空襲(山辺昌彦)、占領期における映像 の戦線一戦後写真の見失われた視点、あるい は、写真家たちの戦後(原田健一)、「焼跡」 を歩く一『東京 一九四五年・秋』への視角(大 岡聡)、関係写真リスト、1945年当時の地図、 地名・施設名索引

◆日本民家建築学会平成28年度公開シンポ ジウム 保存民家の活用と市民参加一保存 から展示そして活用へ 科学研究費研究成 果発表助成事業

日本民家建築学会編・刊 (〒162-0843 東京 都新宿区市谷田町2-33 法政大学デザインエ 学部建築学科内) 2016年10月 A4 16頁 2016年10月22日に日本民家集落博物館で開催 された公開シンポジウム記録。基調講演 地 域住民の暮らしにいきづく世界の野外博物館 (民家園)(杉本尚次)/事例報告 吹田市の旧 庄屋屋敷の保存と活用・市民の活動松岡要三) /事例報告 原田しろあと館の保全と活用― 史跡・文化財をまちづくりの拠点として活用 する豊中市初の試み(吉岡正起)/事例報告 博物館運営を支えるボランティア(松田久仁 子)/パネルディスカッション 杉本尚次・ 松岡要三・吉岡正起・松田久仁子、コーディ ネーター 小島久美、総合司会 千森督子

◆海馬島脱出 子どもたちの敗戦記

永井豪著 まつお出版 (〒500-8415 岐阜市

加納中広江町68 横山ビル Tel058-274-9479) 2016年11月 B6 214頁 200円

1945年8月のソ連軍の侵攻による悲劇に見舞われた海馬島島民の脱出劇を、当時子どもだった人々の記憶をもとに再現する。失われつつある樺太史の一隅を照らす貴重な光としての証言集である。失われた島/ある引き揚げ一高橋フサ子/宝の島の子どもたち一一区(鴎沢)/港があった村の中心部一二区(南古丹・北古丹)/取り残された集落一三区(泊皿)/故郷を遠く離れて/そして誰もいなくなった/おわりに

◆丹羽長秀文書集 戦国史研究会史料集4 功刀俊宏·柴裕之編 戦国史研究会(〒215-0017 川崎市麻生区王禅寺西1-4-7 小川方 http://www.sengokushi-kenkyukai.jp)2016 年12月 A5 149頁

戦国史研究会史料集の第4集として、織田権力の軍事・内政に活動し、若狭・越前両国の統治に携わった重臣丹羽(惟住)長秀に関わる文書等をまとめる。発給文書(181点)・受給文書(24点)、長秀家臣たちによる発給・受給文書(25点)、さらに長秀が副状などを発給したことが確認できる(「猶惟住可申候」)など、長秀の活動をより知るための関係文書(75点)を参考文書として、総305点を収録する。

◆重須の民俗一静岡県沼津市内重須 神奈川大学歴史民俗調査報告18

小熊誠編 神奈川大学大学院歷史民俗資料学研究科 (〒221-8686 横浜市神奈川区六角橋 3-27-1 Tel045-481-5661) 2016年3月 A4 72頁

2013年8月5日から8月8日までを中心に行われ た民俗資料実習の成果の記録。沼津市重須地 区は東日本大震災以後、自主的に高台への集 団移転を検討している集落でもある。重須の 民俗 沼津市内浦重須の概況(小熊誠)、重須 の青年宿(王蕾・坂本亮太)、熊野神社祭典

(陳軼舟)、大瀬祭りと内浦漁港祭(王蕾)、重 須の葬送について(陳軼舟)/重須の墓地 重 須の墓地を考える(小熊誠)、墓地の説明(墓 地A-1からA-4まで(潘金福)、墓地A-6から A-9まで(陳軼舟)、墓地A-10からA-13まで (王蕾))/感想文(潘金福・陳軼舟・王蕾)

◆火 防 秋葉信仰の歴史 遠州 秋葉山、越 後 秋葉三尺坊、長岡 蔵王権現

石田哲彌著 新潟日報事業社発売(〒950-8546 新潟市中央区万代3-1-1 Tm.025-383-8020)2016年9月 A5 393頁 2300円 火防の神として広く信仰を集める秋葉信仰について、静岡県浜松市の秋葉山、新潟県栃尾市の秋葉三尺坊や長岡蔵王権現の歴史を中心にまとめる。序章「火事と喧嘩は江戸の華」/総集編 秋葉三尺坊大権現の歴史概観/秋葉三尺坊/栃尾蔵王権現と秋葉三尺坊/矢田の蔵王権現/長岡蔵王権現/遠州秋葉山/上杉謙信と秋葉信仰/秋葉裁判と栃尾常安寺/秋葉信仰の歴史的特異性

◆上町のあゆみ一高岡市指定無形民俗文化財 伏木曳山祭

上町花山車保存会編・刊(〒933-0103 富山 県高岡市伏木中央町1-6 土肥慶一郎方) 2014年3月 B5 128頁

富山県内外を問わず山車同士をぶつけあう勇壮な奇祭で知られる「伏木けんか山車」の山町である上町花山車保存会の過去から現在、未来を展望するため、祭りに関わる住民の営みの記録をまとめたもの。曳山写真集/刊行にあたり(高橋元也)/創始(伏木神社、上町山の創建)/神事(祭神、唐子人形、山宿)/花山車(高欄、幕、標識、地山)/けんかやま(提灯山、かっちゃ)/運営・その他(法被、曳山囃子、勝関歌、飾り花製作、山車の維持運営、イベント参加、十七軒町について、伝承と逸話、伏木曳山祭の今後について)/年ま/ト町アーカイブス(写真像)

◆縄文人が目撃した富士山噴火 約五千~四 千五百年前の火山災害と復興への歩み

平成28年度ふじさんミュージアム企画展 ふじさんミュージアム編・刊(〒403-0005 山梨県富士吉田市上吉田288-1 TEL0555-24-2411)2016年10月 A4 18頁

平成28年度ふじさんミュージアム(富士吉田市歴史民俗博物館)の企画展(2016年10月19日~2017年1月30日)の展示図録。上中丸遺跡、上暮地新屋敷遺跡、宮の前遺跡、久保地遺跡、大月遺跡、牛石遺跡など市内の遺跡発掘による縄文時代中期の富士山の火山災害の実態と、遺跡から見える復興の過程を紹介する。

◆奥三河のまつりごと

古橋懐古館編・刊(〒441-2513 愛知県稲武 町タヒラ8 Tex.05465-82-2100)2016年10月 A4 31頁

古橋懐古館の企画展(2016年10月18日~2017年3月31日)の図録。毎年11月から翌年3月まで、奥三河を中心に繰り広げられる民俗学・歴史学・文化人類学などの学際的研究対象である「花祭」を取り上げ、まつりにおける「宗教的職能者」と地域社会との深い関わりを紹介する。図版 山岳信仰へのいざない/奥三河の花祭/奥三河の念仏と盆踊り/奥三河の田楽・地狂言・棒の手/奥三河と勧進者たち/解説 奥三河のまつりごと~修験・神楽・木食・念仏そして花祭りへ(西海賢二)

◆JR奈良線120年 進め!奈良鉄道

字治市歴史資料館編·刊 (〒611-0023 京都 府字治市折居台1-1 TEL0774-39-9260) 2016年 10月 A4 96頁

字治市歴史資料館の特別展(2016年10月1日~11月20日)の図録。明治22年(1889)創立の奈良鉄道により同29年(1896)4月18日に京都・奈良間の全線が開通した奈良線120年を記念して、明治から大正時代にかけての奈良鉄道・奈良線と、京都を中心とした全国的な鉄道

の状況、鉄道から宇治に及ぼした影響などを、 さまざまな資料から紹介する。

◆京西陣鱗形屋中井家史

一近世の質屋・俳諧・墓標を中心に 中井幸比古著 京の歴史文化記録会(〒603-8401 京都市北区大宮上ノ岸町45 TELO75-495-2261)2016年8月 A4 75頁 京都西陣に近世期から居住した中井家の歴史 について、質屋関係・鳥丸町絵図関係、俳諧 関係、墓標関係資料などから記録する。はじ めに/本書の概要・使用する資料・歴代質商 の当主について/近世質屋株仲間古文書にみ る鱗形屋忠兵衛/鳥丸町・古久保家文書の鳥 丸町絵図類/近世中期京都俳諧資料/墓標・ 過去帳など/引用文献/付録1 本書掲載織 物の拡大写真/付録2 返書掲載織物の解説

◆丹後国多気郡和田村石田家文書目録

(現兵庫県篠山市和田)

菅原憲二編 千葉大学文学部史学科菅原研究 室(〒263-8521 千葉市稲毛区弥生町1-33) 2013年3月 A4 299頁

近世後期に篠山藩和田村の庄屋、畑組大庄屋、同年番、郡取締などを歴任し、近代初期には戸長、信用販売購買組合理事、村惣代などを勤めた石田家の所蔵文書目録。1983年からの第一次(1983~1987)・第二次(1991~2013) 調査によって得られた4100点余(約4150点)を収録する。はじめに(菅原憲二)/ご挨拶(石田力)/解説(菅原憲二)/石田家文書日録

◆堺と大山崎―自治都市の系譜 第24回企画展

大山崎町歴史資料館編・刊(〒618-0071 京都府乙訓郡大山崎町大山崎竜光3 大山崎ふるさとセンター内 Tel.075-952-6288) 2016年 10月 A4 40頁

大山崎町歴史資料館の第24回企画展(10月22日~11月27日)の図録。中世後期の自治的な

都市であり、商業が発達した街として多くの 共通項がみられる堺と大山崎について、商人 に嘉津山や祭礼をめぐる人間関係から、どの ような自治権を獲得したかを文書や美術資料 から考える。中世後期の代表的な自治都市・ 堺と大山崎/堺における祭礼/商業・流通の 拠点へ/政治都市としての堺/堺における産 業と文化/大山崎における祭礼/荏胡麻油を 交易していた集落/荏胡麻油をめぐる抗争/ 堺と大山崎一自治都市の系譜/資料解説

◆享保期新大和川支配替関係史料 大阪市中中料83

大阪市史編纂所編 大阪市史料調査会 (〒550-0014 大阪市西区北堀江4-3-2 大阪市立中央図書館内 Tel06-6539-3333) 2016年9月 A5 133頁 1800円

享保3年(1718)7月に畿内河川支配における管轄範囲が変更されたことをうけて作成された 堺奉行の川方支配に関する職務マニュアル2 点を翻刻・収録する。「川方御用目録」(たつの市立龍野歴史文化資料館所蔵・若狭野浅野家文書)/「川役手鑑」(大阪市史編纂所蔵)/解説(松本望・内海寧子)

◆研究報告書 近世堺の茶陶、谷焼の研究 谷家文書・伝世作品による再検証

五福伊八郎著 河内長野市郷土研究会 (〒586-0032 大阪府河内長野市柴町21-11 椋本進方 TELO721-52-3394) 2016年5月 B5 76頁近世堺の茶陶である谷焼について、正徳年間から享保年間にかけて樂焼の窯を運営していたと言われる堺の豪商 谷善右衛門(斎泉)の活動を中心に、『谷氏徳恵伝』の記述などから検討する。谷焼について…文献の検討/調査作品について/樂宗入の谷焼への関与について

◆研究報告書 近世堺の茶陶、谷焼の研究Ⅱ 谷家菩提寺の什物に見る、作陶の思想的背 景 五福伊八郎著 河内長野市郷土研究会(同上) 2016年9月 B5 121頁

近世堺の茶陶である谷焼について、前著で深く触れることが出来なかった谷善右衛門(斎泉)の菩提寺である林昌寺文書(堺市博物館蔵)の調査をふまえ、『谷氏徳恵伝』の記載と寺物との照合を通して谷焼の宗教的背景を考察する。堺市博物館蔵谷家文書について/現地調査について/善右衛門の信仰・道徳観と作陶

◆小児を救った種痘学入門―ジェンナーの贈り物 緒方洪庵記念財団・除痘館記念資料 室撰集

加藤四郎著 創元社 (〒541-0047 大阪市中央区淡路町4-3-6 Tell-06-6231-9010) 2016年8月 B6 144頁 2000円

加藤四郎著『ジェンナーの贈り物―天然痘か ら人類を守った人々一』(菜根出版、1997年) の内容を一部加筆修正し、「幕末日本の蘭方 医一天然痘との闘い― | を増補する。ジェン ナーの贈り物(ワクチンの名づけ親、人類は 天然痘と闘い続けた、ジェンナーの生い立 ち、「牛痘種痘法」はこうして開発された、 コラム ウイルスをめぐる謎、ジェンナーと 博物学、日本での天然痘対策、現実となった ジェンナーの予言、コラム 天然痘予防ワク チンと道具、コラム 全世界天然痘根絶官 言、ワクチンはなぜきくのか、ジェンナーの 贈り物、ロンドン・グロスター・東京・そし てイタリア・ジェノバ ジェンナー像をめぐ る旅)/幕末日本の蘭方医たち-天然痘との 闘い 楢林宗建(米田該典)、伊東玄朴(古西 義麿)、笠原良策(淺井允晶)、コラム 大阪 除痘館の種痘場風景(川上潤)、桑田立斎(古 而義麿)/年表

◆尼崎市制100周年記念

たどる調べる尼崎の歴史 上下 尼崎市立地域研究史料館編(〒660-0881 兵 庫県尼崎市昭和通2-7-16 尼崎市総合文化センター7階 Tm.06-6482-5246) 尼崎市刊 2016年10月 A4 上:255頁 下:277頁 4500円

大正5年(1916)の市制施行から100年を迎える 尼崎市の記念出版。昭和5年(1930)から10年 にかけて刊行した『尼崎志』(全3巻)、昭和 10年代の未刊「尼崎市政史」、昭和41年から 63年までの市制50周年『尼崎市史』(全13巻・ 別冊1)をふまえて、平成8年(1996)に開始さ れた新「尼崎市史」事業による市制90周年記 念『図説 尼崎の歴史』(上下)につづく「学 ぶ市史から調べる市史へ」の集大成。

〔上巻〕 第 I 部グラビア・バーチャル・ツアー/第 II 部尼崎市クロニクル 一○○年のあゆみ/第 II 部ガイダンス 調べる 尼崎の歴史(第 II 部総論 尼崎市の歴史編さん事業、第一章 尼崎の地理・地形、第二章 尼崎の古代)

[下巻] 第Ⅲ部ガイダンス 調べる 尼崎の 歴史(第Ⅲ部特論 1 土地形成史 図版でた どる尼崎地域の土地形成、第三章 尼崎の中 世、第四章 尼崎の近世、第五章 尼崎の近 代、第六章 尼崎の現代、特論 2 文化財・ 民俗、特論 3 尼崎の歴史・文化財施設)

◆ダイジェスト版 尼崎の歴史

尼崎市立地域研究史料館·尼崎市都市魅力創造発信課編(同上) 尼崎市 2016年10月 A4 22頁 100円

市制100周年を記念して古代以来の尼崎の歴史をわかりやすく解説するコンパクトな小冊子。「尼崎」という地名の由来/原始・古代土地が生まれ、人々が暮らしはじめる/マンガ☆歴史のひとコマ「弥生時代の人々のくらし」/中世・戦国時代 田畑を切り拓き、港町を造る/マンガ☆歴史のひとコマ「名月姫の話」/マンガ☆歴史のひとコマ「信長と尼崎」/近世 大坂の西の守り、活発な経済

活動/マンガ☆歴史のひとコマ「尼崎城の築城」/マンガ☆歴史のひとコマ「尼崎を通ったゾウ!」/近代・現代 工業地帯の形成、都市の課題(尼崎運河)/マンガ☆歴史のひとコマ「二人の市長」/尼崎地域歴史年表

◆楯縫郡(全) 妙見山麓遺跡調査会紀要22 神崎勝著 妙見山麓遺跡調査会(〒679-1214 兵庫県多可郡多可町加美区的場294 ™0795-35-0555 www.eonet.ne.jp/~myouken-iseki) 2016年10月 A4 27頁

妙見山麓遺跡調査会が隔月に行っている講座 「出雲風土記」の記録。語釈・注釈(楯縫郡 の構成、楯縫郡号、郷・里、寺院、神社、山、河川・池、海辺、幹道、編集者)/付論 神 無月と神在月

◆神崎郡(その1) 一語釈・注釈(全)

妙見山麓遺跡調査会紀要23

神崎勝著 妙見山麓遺跡調査会 (同上) 2016 年12月 A4 23頁

妙見山麓遺跡調査会主催の風土記講座『播磨 風土記』の記録。神前郡号/塡岡里/川辺里 /高岡里/多駝里/蔭山里/的部里/質疑応 答(講座『播磨風土記』第22回 2016.3.26. 柳田國男記念館にて)/付図 神埼郡図

◆神社について 妙見山麓遺跡調査会紀要24 神崎勝著 妙見山麓遺跡調査会(同上)2016 年12月 A4 23頁

妙見山麓遺跡調査会主催の風土記講座『播磨風土記』第18回「神社の話」(2015.8.1 於安田稲荷神社)の記録。稲荷神社の由来と年間行事等の解説/神官が着る装束の種類・着付けと作法/その他(神社数・神官数など)/中井権次一統の彫刻/付録季節の話題(播磨風土記第7回平成25年9月28日講座前の雑談の中から)喜谷進一朗、宮崎和明、神崎勝、神崎惠子祭りの屋台(兵庫県多可町加美区的場)

◆近世日向の修験道 日向各藩における修験 と藩政 みやざき文庫121

前田博仁著 鉱脈社(〒880-8551 宮崎市田 代町263 7m:0985-25-1758)2016年12月 B6 146頁 1500円

近世日向諸藩の宗教政策をさまざまな資料や 霊山、修験者の痕跡などから解明し、修験道 の歴史に新たな光を当てる。序の章 山岳信 仰と修験道/本編 近世日向の修験道一日向 各藩における修験者の活動と藩政とのかかわ り(佐土原藩と修験、飫肥藩と修験、高鍋藩 と修験、延岡藩と修験、幕府領と修験、優遇 された修験寺院一日向各藩における修験の地 位、領内安寧の他に治安維持も?一佐土原藩 にみる修験のもう一つの役割)/終の章 廃 仏と復興一明治期以降の修験道/語彙解説

◆論文集 宇喜多秀家の周辺 増補版

大西泰正著 宇喜多家史談会 (〒700-0826

岡山市北区磨屋町6-28 光珍寺内) 2016年12 月 A5 109頁 非売品

宇喜多秀家の内室樹正院豪姫、二人の息子 (孫九郎・小平次)、側近中村家正(次郎兵衛、 のち刑部)それぞれについて検討した『論文 集 宇喜多秀家の周辺』(同刊行会、2015年12 月)に、加筆訂正と新たな論考3編を加えた増 補版。樹正院の後半生/宇喜多孫九郎秀隆の 基礎的考察/中村家正関係史料目録稿/『乙 夜之書物』にみる宇喜多騒動/明石掃部の娘 /明暦二年の浮田小平次/加賀潘前田家と八 丈島宇喜多一類

◆お詫びと訂正

前号 131(26頁)掲載の「髙志路」の URL に 誤りがありました。お詫びして訂正します。 正「www.geocities.ip/niigata minzokugaku/

◆後記----

本誌121(2014年10月)に、明大時代の同僚中村隆、中田義三さんと、福島県浜通りを回ったこ とを記した。それから2年半が経った状況を知りたいと、この3月初旬、再び出かけた。今回 は宮城県石巻市や女川町にも足を延ばした。どちらもダンプカーや重機が忙しく動き回ってい た。気のせいか、宮城県では高台移転や住宅・商店建設、圃場整備が、福島県では除染と放射 線廃棄物の山、建物解体が目につき、情景が違って見えた。石巻市の門脇小学校と大川小学校 は、後方に高台を抱えた似た立地にありながら、避難の判断で大きく明暗が分かれた。80名近 い犠牲者を出した大川小学校の検証と情報公開は十分とは思われない。現場に立ち、言葉もな かった。福島県では、南相馬市小高区(2016年避難指示解除)から、浪江町(2017年3月31日ー 部解除)、双葉町、大熊町、冨岡町(同4月1日一部解除)、楢葉町(2015年9月解除)、広野町 まで南下した。既に避難指示の解除された町でも帰還率は10%強である。小高区は多くの商 店、病院、美容院が閉ざされ、静まり返っていた。準備中の町では、除染のためか里山や田 畑、農家の庭先は手入れされていたが、家の周辺には廃棄物を詰めたフレコンバックが積み上 げられ、損壊したままの建物も多く見られた。未だ帰還困難地域の双葉町では、ダンプカーの 行き交う国道6号線をイノシシが力なく歩いていた。住民の故郷への切なる思い、「この6年 間、町民の塗炭の苦しみを振り返ると、悲しみ、悔しさ、無念の思いがあふれ、言葉にするこ ともできない。その中で誰もが強く願ってきたのは、浪江をなくしてはいけないということ だ」(「毎日新聞」2017年2月28日)と避難指示解除へ「苦渋の決断」をした町長の思い。胸に こたえるが、地域として本当に維持していけるのか、複雑な思いで浜通りを後にした。(飯澤)

地方史情報 132 2017年(平成28年) 5 月 発行 http://www.iwata-shoin.co.jp 定価0円(送料90円) 年間購読料 税込1000円(送料として) 振替口座00100-2-564137 発行所: 岩田書院 〒157-0062 東京都世田谷区南島山4-25-6-103 Tx103-3326-3757